

令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事

建築本体工事			電気設備工事			機械設備工事		
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-00	表紙 図面リスト		E-01	電気設備工事特記仕様書		M-01	機械設備工事特記仕様書	
(意匠)			E-02	動力分電盤・照明器具姿図		M-02	配置図・凡例・機器表	1/500
A-01	改修工事特記仕様書(1)		E-03	幹線設備図	1/100	M-03	現況機械設備平面図	1/50
A-02	改修工事特記仕様書(2)		E-04	動力・コンセント設備図	1/50	M-04	改修後機械設備平面図	1/50
A-03	改修工事特記仕様書(3)		E-05	電灯設備図	1/50			
A-04	改修工事特記仕様書(4)		E-06	弱電・自動火災報知設備図	1/50			
A-05	解体工事仕様書							
A-06	配置図・仮設計画図	1/500						
A-07	工事概要・仕上表							
A-08	現況平面詳細図・部分詳細図	1/50・1/10						
A-09	改修後平面詳細図・部分詳細図	1/50・1/10						
A-10	屋根伏図・天井伏図	1/100						
A-11	立面図	1/50						
A-12	欠番							
A-13	矩計図	1/30						
A-14	展開図(1)	1/50						
A-15	展開図(2)	1/50						
A-16	建具表	1/100・1/50						
A-17	一般図・家具詳細図	1/100 1/20・1/10						
							計26枚(表紙を除く)	



5 建具 改修 工事	1 改修工法	[5. 1. 3] 建具の種類 かぶせ工法 撤去工法 適用箇所 ・アルミニウム製建具 ・樹脂製建具 ・鋼製建具 ・ステンレス製建具 新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 新規建具周囲の補修工法及び範囲	8 鋼製軽量建具	[5. 2. 2][5. 2~4] 性能等級 簡易気密型 防音ドアセット 断熱ドアセット 耐震ドアセット 鋼板 鋼板の厚さ 召合せ	15 軽量シャッター	[5. 11. 2~4] 開閉形式 耐風圧強度 スラットの材質 めっき付着量 めっき付着量 めっき付着量 スラットの形状	19 ガラス用フィルム	名称 種類 張り面 性能値 ・ガラス飛散防止フィルム ・日射調整フィルム 品質
	2 防火戸	[5. 1. 4] ・適用する ・適用しない	9 ステンレス製建具	[5. 2. 2][5. 4. 2][5. 6. 2~4] 性能等級 簡易気密型 外部に面する建具の耐風圧性 防音ドアセット 断熱ドアセット 耐震ドアセット 鋼板 鋼板の厚さ ステンレス鋼板の曲げ加工	16 オーバーヘッドドア	[5. 12. 2, 3] セクション材料 ※スチールタイプ ※アルミニウムタイプ ※ファイバーグラスタイプ	① 改修範囲	既存開口切替の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より側面 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま
	3 見本の製作等	[5. 1. 5] 建具見本の製作 建具見本の程度 特殊な建具の仮組	⑩ 建具用金物	[5. 7. 2, 3] 金物の種類 樹脂製建具に使用する丁番 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置	⑪ ガラス	[3. 7][5. 13. 2~4][表5. 13. 1] ・合わせガラス ・フロート合わせガラス ・網入磨き合わせガラス	② 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 合成樹脂塗床材の除去工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4層外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲
	4 防犯建物部品	[5. 1. 7] ・適用する ・適用しない	⑪ 鍵	[5. 7. 4] マスターキー その他の鍵 鍵箱	12 自動ドア開閉装置	[5. 8. 2, 3] 自動ドア ・SLED-1 ・SLED-2 ・SLED-1 ・SLED-2 ・SND-1 ・SND-2 ・図示	③ 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補修)
	⑤ アルミニウム製建具	[5. 2. 2, 4, 5][表 5. 2. 2] 性能等級 外部に面する建具 防音ドアセット 断熱ドアセット 耐震ドアセット 枠の見込み寸法 表面処理 屋内の建具 結露水の処理方法 水切り板、ぜん板 網戸等	13 自閉式上吊り引戸装置	[5. 9. 3] 性能 (試験) 工事建築材料等品質性能表による	14 重量シャッター	[5. 10. 2, 3] シャッターの種類 ・一般重量シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター 開閉機能による種類 一般重量シャッターのシャッターケース スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 めっきの付着量	4 木下地等の表面仕上げ	表面仕上げの種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種
	6 樹脂製建具	[5. 3. 2~5] 性能等級 外部に面する建具 防音ドアセット 断熱ドアセット 枠の見込み寸法 表面色 水切り板、ぜん板 ガラス	14 重量シャッター	[5. 10. 2, 3] シャッターの種類 ・一般重量シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター 開閉機能による種類 一般重量シャッターのシャッターケース スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 めっきの付着量	18 ガラスブロック	[5. 13. 5] 表面形状 ・正方形 ・長方形 曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。 壁用金属枠及び補強材 方骨 化粧目地モルタルの色 金属製化粧カバー 工法	5 製材	・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 ・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 ・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 ・「製材の日本農林規格」以外の製材 ・代用樹種を使用できない箇所 ・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 ・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 ・「集材材の日本農林規格」以外の製材
	7 鋼製建具	[5. 2. 2][5. 4. 2~4][表 5. 4. 2] 性能等級 外部に面する建具 防音ドアセット 断熱ドアセット 耐震ドアセット 鋼板	18 ガラスブロック	[5. 10. 2, 3] シャッターの種類 ・一般重量シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター 開閉機能による種類 一般重量シャッターのシャッターケース スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 めっきの付着量	18 ガラスブロック	[5. 13. 5] 表面形状 ・正方形 ・長方形 曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。 壁用金属枠及び補強材 方骨 化粧目地モルタルの色 金属製化粧カバー 工法	⑥ 造作用集成材	ホルムアルデヒド放散量 ・「集材材の日本農林規格」による造作用集成材 ・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 ・「集材材の日本農林規格」以外の製材

7	造作用単板積層材 [6.5.2]	ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・有り (加工 ・天然木加工 ・塗装加工) ・無し (等級 :)</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・</td> </tr> </table> 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・有り (加工 ・天然木加工 ・塗装加工) ・無し ()</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>※14%以下</td> <td>・</td> </tr> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用			・有り (加工 ・天然木加工 ・塗装加工) ・無し (等級 :)	・適用する ・適用しない	・	施工箇所	厚さ (mm)	表面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用			・有り (加工 ・天然木加工 ・塗装加工) ・無し ()	・適用する ・適用しない	※14%以下	・																																		
	施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用																																																					
			・有り (加工 ・天然木加工 ・塗装加工) ・無し (等級 :)	・適用する ・適用しない	・																																																					
	施工箇所	厚さ (mm)	表面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用																																																				
		・有り (加工 ・天然木加工 ・塗装加工) ・無し ()	・適用する ・適用しない	※14%以下	・																																																					
8	床張り用合板等 [6.5.2]	ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・普通合板 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>防火処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※5.5</td> <td></td> <td>※1類 ・2類</td> <td>広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・</td> </tr> </table> ・構造用合板 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>等級</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>有効断面係数比</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※12 ・1級</td> <td>※2級以上 ・1級</td> <td>※1類 ・特類</td> <td>※C-D以上</td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table> ・パーティクルボード <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※15</td> <td>※13タイプ</td> <td>※P又はM</td> <td></td> </tr> </table> ・構造用パネル <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>等級</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1級 ・2級 ・3級 ・4級</td> </tr> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理	間伐材等の適用		※5.5		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・	施工箇所	厚さ (mm)	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数比	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用			※12 ・1級	※2級以上 ・1級	※1類 ・特類	※C-D以上		・適用する ・適用しない		・適用する ・適用しない	施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分			※15	※13タイプ	※P又はM		施工箇所	厚さ (mm)	等級			・1級 ・2級 ・3級 ・4級
施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理	間伐材等の適用																																																		
	※5.5		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・																																																		
施工箇所	厚さ (mm)	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数比	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用																																																	
		※12 ・1級	※2級以上 ・1級	※1類 ・特類	※C-D以上		・適用する ・適用しない		・適用する ・適用しない																																																	
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																					
		※15	※13タイプ	※P又はM																																																						
施工箇所	厚さ (mm)	等級																																																								
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級																																																								
9	接着剤 [6.5.3] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]	接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 ホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外																																																								
10	防菌・防蟻処理 [6.5.5]	・防菌、防蟻処理が必要な樹種による製材及び集成材 適用部位： () ・薬剤の加圧注入による防菌・防蟻処理 <table border="1"> <tr> <th>適用部位</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2 ・K3 ・K4 ・K2 ・K3 ・K4 ・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> </table> ・薬剤の塗布等による防菌・防蟻処理 <table border="1"> <tr> <th>適用部位</th> <th>処理の方法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による ※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による ※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による</td> </tr> </table>	適用部位	保存処理性能区分		・K2 ・K3 ・K4 ・K2 ・K3 ・K4 ・K2 ・K3 ・K4	適用部位	処理の方法		※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による ※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による ※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による																																																
適用部位	保存処理性能区分																																																									
	・K2 ・K3 ・K4 ・K2 ・K3 ・K4 ・K2 ・K3 ・K4																																																									
適用部位	処理の方法																																																									
	※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による ※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による ※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による																																																									

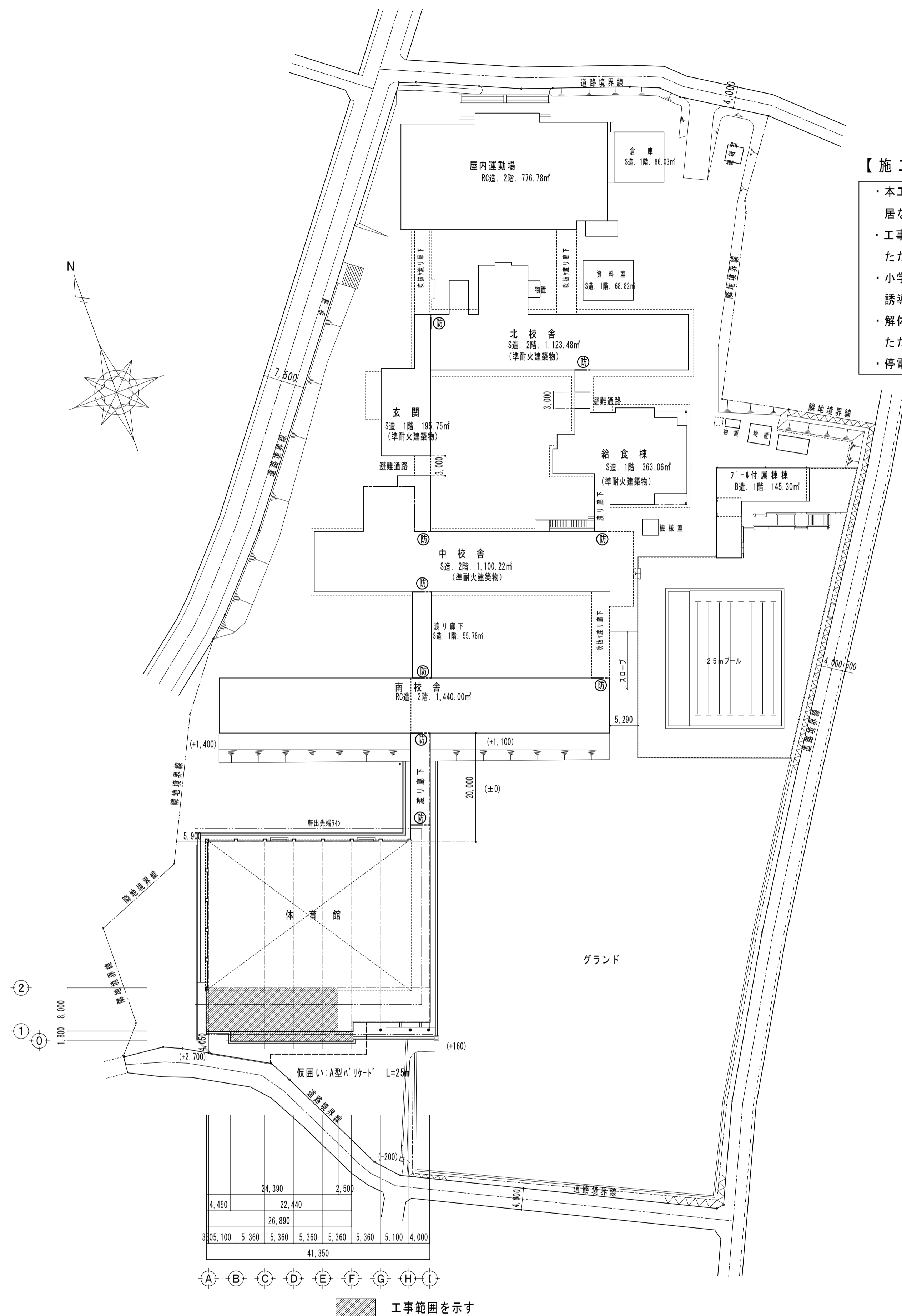
13	ビニル床シート [6.8.2.3]	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>JIS 記号</th> <th>施工箇所</th> <th>色柄</th> <th>特殊機能</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○ 発泡層のないもの</td> <td>※FS (複層ビニル床シート)</td> <td></td> <td>○ 無地 ・マーブル柄</td> <td>・帯電防止 ・耐動荷重性</td> <td>※ 2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・発泡層のあるもの</td> <td></td> <td></td> <td>・無地 ・マーブル柄 ・柄物</td> <td>・耐薬品性</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 工法 ※ 熱溶接工法 ・ 突付け (施工箇所 :) 特殊機能 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は静電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 ¹⁰ ~1×10 ¹¹ Ω程度	種類	JIS 記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考	○ 発泡層のないもの	※FS (複層ビニル床シート)		○ 無地 ・マーブル柄	・帯電防止 ・耐動荷重性	※ 2.0		・発泡層のあるもの			・無地 ・マーブル柄 ・柄物	・耐薬品性									
	種類	JIS 記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考																							
	○ 発泡層のないもの	※FS (複層ビニル床シート)		○ 無地 ・マーブル柄	・帯電防止 ・耐動荷重性	※ 2.0																								
	・発泡層のあるもの			・無地 ・マーブル柄 ・柄物	・耐薬品性																									
14	ビニル床タイル [6.8.2]	<table border="1"> <tr> <th>JIS記号</th> <th>施工箇所</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>特殊機能</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ FT (複層ビニル床タイル)</td> <td></td> <td>・ 無地 ・ 柄物</td> <td>・ 300×300 ・ 450×450</td> <td>・ 帯電防止 ・ 防滑性</td> <td>※ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ KT (コブシシボビニル床タイル)</td> <td></td> <td>・ 無地 ・ 柄物</td> <td>・ 300×300 ・ 450×450</td> <td>・ 帯電防止 ・ 防滑性</td> <td>・ 2.0 ・ 3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ FOA (置敷きビニル床タイル)</td> <td></td> <td>・ 無地 ・ 柄物</td> <td>・ 500×500</td> <td>・ 帯電防止 ・ 防滑性</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> 特殊機能 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は静電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 ¹⁰ ~1×10 ¹¹ Ω程度 防滑性	JIS記号	施工箇所	色柄	寸法	特殊機能	厚さ (mm)	備考	・ FT (複層ビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450	・ 帯電防止 ・ 防滑性	※ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0		・ KT (コブシシボビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450	・ 帯電防止 ・ 防滑性	・ 2.0 ・ 3.0		・ FOA (置敷きビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 500×500	・ 帯電防止 ・ 防滑性	・	
JIS記号	施工箇所	色柄	寸法	特殊機能	厚さ (mm)	備考																								
・ FT (複層ビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450	・ 帯電防止 ・ 防滑性	※ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0																									
・ KT (コブシシボビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450	・ 帯電防止 ・ 防滑性	・ 2.0 ・ 3.0																									
・ FOA (置敷きビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 500×500	・ 帯電防止 ・ 防滑性	・																									
15	ビニル幅木 [6.8.2]	材質 ○ 軟質 ・ 硬質 高さ (mm) ※60 ○100 厚さ (mm) ※1.5以上																												
16	ゴム床タイル [6.8.2]	色柄 () 厚さ (mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 寸法 (mm) ()																												

19	フローリング張り [6.11.2~7]	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>大きさ</th> <th>仕上塗装</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>・ フローリングボード</td> <td>・ 釘留め工法 (根太張り)</td> <td>※ なら</td> <td>15</td> <td>板幅75 板長さ500以上</td> <td>・ 塗装品 ・ 無塗装品</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 釘留め工法 (直張り)</td> <td>※ なら</td> <td>・ 12以上</td> <td>板幅75 板長さ300以上</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 接着工法</td> <td>※ なら</td> <td>・ 12以上</td> <td>板幅75 板長さ300以上</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ フローリングアロー</td> <td>・ 接着工法</td> <td>※ なら</td> <td>15</td> <td>303×303</td> <td>・ 塗装品 ・ 無塗装品</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ モルタル埋込工法</td> <td>※ なら</td> <td>※15</td> <td>※303×303</td> <td>・ 塗装品 ・ 無塗装品</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ゼアバーコート</td> <td>・ 接着工法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 塗装品 ・ 無塗装品</td> <td>・</td> </tr> </table> 天然木化粧複合フローリング <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ/大きさ (mm)</th> <th>種別</th> <th>防湿処理</th> <th>塗装仕上げ</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>・ 複合1種フローリング</td> <td>・ 釘留め工法 (根太張り)</td> <td>※ なら</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>・ 塗装品 ・ 無塗装品</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 複合2種フローリング</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 複合3種フローリング</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 接着工法</td> <td>※ なら</td> <td>板厚 ・ 8以上 ・ 板幅 ・ 75以上 ・ 板長さ ・ 900以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放数量 ※ 規制対象外 接着工法の場合の緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上げ ・ 行う (施工箇所 :) ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステインの上、ワニス塗り ・ 生地のままワニス塗り ・ 行わない	種類	工法	樹種	厚さ (mm)	大きさ	仕上塗装	間伐材等の適用	・ フローリングボード	・ 釘留め工法 (根太張り)	※ なら	15	板幅75 板長さ500以上	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・		・ 釘留め工法 (直張り)	※ なら	・ 12以上	板幅75 板長さ300以上		・		・ 接着工法	※ なら	・ 12以上	板幅75 板長さ300以上		・		・ フローリングアロー	・ 接着工法	※ なら	15	303×303	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・		・ モルタル埋込工法	※ なら	※15	※303×303	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・		・ ゼアバーコート	・ 接着工法	・	・	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・	種類	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の適用	・ 複合1種フローリング	・ 釘留め工法 (根太張り)	※ なら		・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 適用する ・ 適用しない	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・	・ 複合2種フローリング								・ 複合3種フローリング									・ 接着工法	※ なら	板厚 ・ 8以上 ・ 板幅 ・ 75以上 ・ 板長さ ・ 900以上																																															
	種類	工法	樹種	厚さ (mm)	大きさ	仕上塗装	間伐材等の適用																																																																																																																																
	・ フローリングボード	・ 釘留め工法 (根太張り)	※ なら	15	板幅75 板長さ500以上	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・																																																																																																																																
		・ 釘留め工法 (直張り)	※ なら	・ 12以上	板幅75 板長さ300以上		・																																																																																																																																
	・ 接着工法	※ なら	・ 12以上	板幅75 板長さ300以上		・																																																																																																																																	
	・ フローリングアロー	・ 接着工法	※ なら	15	303×303	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・																																																																																																																																
	・ モルタル埋込工法	※ なら	※15	※303×303	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・																																																																																																																																	
	・ ゼアバーコート	・ 接着工法	・	・	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・																																																																																																																																	
種類	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の適用																																																																																																																																
・ 複合1種フローリング	・ 釘留め工法 (根太張り)	※ なら		・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 適用する ・ 適用しない	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・																																																																																																																																
・ 複合2種フローリング																																																																																																																																							
・ 複合3種フローリング																																																																																																																																							
	・ 接着工法	※ なら	板厚 ・ 8以上 ・ 板幅 ・ 75以上 ・ 板長さ ・ 900以上																																																																																																																																				
20	畳敷き [6.12.2]	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (畳床 : KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N) 下地の種類 ・ 標準仕様書 表12.6.1による床組 ・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム)																																																																																																																																					
21	せっこうボードその他のボード張り [6.13.2~3]	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>JIS 記号</th> <th>厚さ (mm)、規格等</th> </tr> <tr> <td>・ 硬質木毛セメント板</td> <td>HW</td> <td>・ 15 ・ 20 ・ 25 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 中質木毛セメント板</td> <td>MW</td> <td>・ 15 ・ 20 ・ 25 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 普通木毛セメント板</td> <td>NW</td> <td>・ 15 ・ 20 ・ 25 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質木片セメント板</td> <td>HF</td> <td>・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 普通木片セメント板</td> <td>NF</td> <td>・ 30 ・</td> </tr> <tr> <td>・ けい酸カルシウム板 (フレキシブルボード)</td> <td>GB-R 1.0FK</td> <td>タイプ 2 (無石棉) ○ 6 ・ 8</td> </tr> <tr> <td>・ ロックウール化粧吸音板</td> <td>DR</td> <td>・ フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 ・) ・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 ・ 19 ・)</td> </tr> <tr> <td>・ ロックウール吸音板 1号</td> <td>RW-B</td> <td>・ 25 ・</td> </tr> <tr> <td>・ グラスウール吸音板 32K</td> <td>GW-B</td> <td>・ 25 (5ヶ所2包)</td> </tr> <tr> <td>○ せっこうボード</td> <td>GB-R</td> <td>○ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 不燃構造せっこうボード</td> <td>GB-NC</td> <td>9.5 (不燃)化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラバーチン模様)</td> </tr> <tr> <td>・ シーリングせっこうボード</td> <td>GB-S</td> <td>12.5 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 強化せっこうボード</td> <td>GB-F</td> <td>・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ せっこうラスボード</td> <td>GB-L</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>・ 化粧せっこうボード (木目)</td> <td>GB-D</td> <td>12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・ 柱目 ・ 板目) 専用下地材有り</td> </tr> <tr> <td>○ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様)</td> <td>GB-D</td> <td>9.5 (準不燃)</td> </tr> <tr> <td>○ 普通合板</td> <td></td> <td>表面の材質 生地、透明塗料塗り (※初年度) () 不透明塗料塗り (※1年程度) () 板面の品質 () 厚さ (mm) () 接着の程度 () ・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防火処理</td> </tr> <tr> <td>○ 天然木化粧合板</td> <td></td> <td>樹種名 () 厚さ (mm) () 接着の程度 () ・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防火処理</td> </tr> <tr> <td>・ 特殊加工化粧合板</td> <td></td> <td>化粧加工の方法 (・ オイルステイン ・ フリット ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 厚さ (mm) () 接着の程度 () ・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防火処理</td> </tr> <tr> <td>・ メラミン樹脂化粧板</td> <td></td> <td>JIS K 6903 による (※ 1.2 ・)</td> </tr> <tr> <td>・ メラミン樹脂化粧板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ミディアムデンシティファイバーボード</td> <td>MDF</td> <td>・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12</td> </tr> <tr> <td>・ 単板張りパーティクルボード</td> <td></td> <td>・ 無研磨板 VN ・ 研磨板 VS ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18</td> </tr> <tr> <td>・ 化粧パーティクルボード</td> <td></td> <td>・ 単板パーティクルボード V・V・V・V・V DO ・ 塗装 DC ・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃)</td> </tr> <tr> <td>・ ハードボード (素地)</td> <td>HB</td> <td>・ 未研磨板 (・ スパナード ・ フォルミド) RN ・ 研磨板 (・ スパナード ・ フォルミド) RS</td> </tr> <tr> <td>・ ハードボード (化粧)</td> <td></td> <td>・ 内装用 D1 ・ 外装用 DE ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7</td> </tr> <tr> <td>・ インシュレーションボード</td> <td>IB</td> <td>A級 (・ 天井仕上 ・ 内装仕上) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18</td> </tr> </table> 下敷き材 ※ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ タフテッドカーペット <table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>バイル長さ (mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ カットバイル</td> <td>・ 5~7</td> <td>※全面接着工法</td> <td>・ 適用する (性能 : ※人体帯電電圧 3kV以下 ・)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ループバイル</td> <td>・ 4~6</td> <td>・ グラウバ工法</td> <td>・ 適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ レベルバイル</td> <td>・ 4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ カット、ループ併用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 下敷き材 (グリッパー工法の場合) ※ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ ニードルパンチカーペット 厚さ (mm) () 帯電性 ・ 適用する (性能 : ※人体帯電電圧 3kV 以下 ・) ・ 適用しない 備考 () ○ ใยカーペット <table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ ループバイル</td> <td>※ 第一種 ・ 第二種</td> <td></td> <td>※ 500×500</td> <td>※ 6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ カットバイル</td> <td>・ 第一種 ・ 第二種</td> <td></td> <td>※ 500×500</td> <td>※ 6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ カット、ループ併用</td> <td>・ 第一種 ・ 第二種</td> <td></td> <td>※ 500×500</td> <td>※ 6.5</td> <td></td> </tr> </table> タイルカーペットの敷き方 平 場 ※市松敷き ・ 模様流し ・ 階段部分 ※模様流し ・ 市松敷き 見切り、押え金物 ・ 適用する (材質、形状等 ※図示 ・) ・ 適用しない	種類	JIS 記号	厚さ (mm)、規格等	・ 硬質木毛セメント板	HW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・	・ 中質木毛セメント板	MW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・	・ 普通木毛セメント板	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・	・ 硬質木片セメント板	HF	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・	・ 普通木片セメント板	NF	・ 30 ・	・ けい酸カルシウム板 (フレキシブルボード)	GB-R 1.0FK	タイプ 2 (無石棉) ○ 6 ・ 8	・ ロックウール化粧吸音板	DR	・ フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 ・) ・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 ・ 19 ・)	・ ロックウール吸音板 1号	RW-B	・ 25 ・	・ グラスウール吸音板 32K	GW-B	・ 25 (5ヶ所2包)	○ せっこうボード	GB-R	○ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)	・ 不燃構造せっこうボード	GB-NC	9.5 (不燃)化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラバーチン模様)	・ シーリングせっこうボード	GB-S	12.5 (不燃)	・ 強化せっこうボード	GB-F	・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)	・ せっこうラスボード	GB-L	9.5	・ 化粧せっこうボード (木目)	GB-D	12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・ 柱目 ・ 板目) 専用下地材有り	○ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	GB-D	9.5 (準不燃)	○ 普通合板		表面の材質 生地、透明塗料塗り (※初年度) () 不透明塗料塗り (※1年程度) () 板面の品質 () 厚さ (mm) () 接着の程度 () ・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防火処理	○ 天然木化粧合板		樹種名 () 厚さ (mm) () 接着の程度 () ・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防火処理	・ 特殊加工化粧合板		化粧加工の方法 (・ オイルステイン ・ フリット ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 厚さ (mm) () 接着の程度 () ・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防火処理	・ メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による (※ 1.2 ・)	・ メラミン樹脂化粧板			・ ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12	・ 単板張りパーティクルボード		・ 無研磨板 VN ・ 研磨板 VS ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18	・ 化粧パーティクルボード		・ 単板パーティクルボード V・V・V・V・V DO ・ 塗装 DC ・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃)	・ ハードボード (素地)	HB	・ 未研磨板 (・ スパナード ・ フォルミド) RN ・ 研磨板 (・ スパナード ・ フォルミド) RS	・ ハードボード (化粧)		・ 内装用 D1 ・ 外装用 DE ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7	・ インシュレーションボード	IB	A級 (・ 天井仕上 ・ 内装仕上) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18	バイル形状	バイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考	・ カットバイル	・ 5~7	※全面接着工法	・ 適用する (性能 : ※人体帯電電圧 3kV以下 ・)		・ ループバイル	・ 4~6	・ グラウバ工法	・ 適用しない		・ レベルバイル	・ 4				・ カット、ループ併用					バイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ (mm)	備考	※ ループバイル	※ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6.5		・ カットバイル	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6.5		・ カット、ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6.5	
種類	JIS 記号	厚さ (mm)、規格等																																																																																																																																					
・ 硬質木毛セメント板	HW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・																																																																																																																																					
・ 中質木毛セメント板	MW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・																																																																																																																																					
・ 普通木毛セメント板	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・																																																																																																																																					
・ 硬質木片セメント板	HF	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・																																																																																																																																					
・ 普通木片セメント板	NF	・ 30 ・																																																																																																																																					
・ けい酸カルシウム板 (フレキシブルボード)	GB-R 1.0FK	タイプ 2 (無石棉) ○ 6 ・ 8																																																																																																																																					
・ ロックウール化粧吸音板	DR	・ フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 ・) ・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 ・ 19 ・)																																																																																																																																					
・ ロックウール吸音板 1号	RW-B	・ 25 ・																																																																																																																																					
・ グラスウール吸音板 32K	GW-B	・ 25 (5ヶ所2包)																																																																																																																																					
○ せっこうボード	GB-R	○ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)																																																																																																																																					
・ 不燃構造せっこうボード	GB-NC	9.5 (不燃)化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラバーチン模様)																																																																																																																																					
・ シーリングせっこうボード	GB-S	12.5 (不燃)																																																																																																																																					
・ 強化せっこうボード	GB-F	・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)																																																																																																																																					
・ せっこうラスボード	GB-L	9.5																																																																																																																																					
・ 化粧せっこうボード (木目)	GB-D	12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・ 柱目 ・ 板目) 専用下地材有り																																																																																																																																					
○ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	GB-D	9.5 (準不燃)																																																																																																																																					
○ 普通合板		表面の材質 生地、透明塗料塗り (※初年度) () 不透明塗料塗り (※1年程度) () 板面の品質 () 厚さ (mm) () 接着の程度 () ・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防火処理																																																																																																																																					
○ 天然木化粧合板		樹種名 () 厚さ (mm) () 接着の程度 () ・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防火処理																																																																																																																																					
・ 特殊加工化粧合板		化粧加工の方法 (・ オイルステイン ・ フリット ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 厚さ (mm) () 接着の程度 () ・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防火処理																																																																																																																																					
・ メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による (※ 1.2 ・)																																																																																																																																					
・ メラミン樹脂化粧板																																																																																																																																							
・ ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12																																																																																																																																					
・ 単板張りパーティクルボード		・ 無研磨板 VN ・ 研磨板 VS ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18																																																																																																																																					
・ 化粧パーティクルボード		・ 単板パーティクルボード V・V・V・V・V DO ・ 塗装 DC ・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃)																																																																																																																																					
・ ハードボード (素地)	HB	・ 未研磨板 (・ スパナード ・ フォルミド) RN ・ 研磨板 (・ スパナード ・ フォルミド) RS																																																																																																																																					
・ ハードボード (化粧)		・ 内装用 D1 ・ 外装用 DE ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7																																																																																																																																					
・ インシュレーションボード	IB	A級 (・ 天井仕上 ・ 内装仕上) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18																																																																																																																																					
バイル形状	バイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考																																																																																																																																			
・ カットバイル	・ 5~7	※全面接着工法	・ 適用する (性能 : ※人体帯電電圧 3kV以下 ・)																																																																																																																																				
・ ループバイル	・ 4~6	・ グラウバ工法	・ 適用しない																																																																																																																																				
・ レベルバイル	・ 4																																																																																																																																						
・ カット、ループ併用																																																																																																																																							
バイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ (mm)	備考																																																																																																																																		
※ ループバイル	※ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6.5																																																																																																																																			
・ カットバイル	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6.5																																																																																																																																			
・ カット、ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6.5																																																																																																																																			
18	合成樹脂塗床 [6.10.2~3]	・ 厚膜型塗床材 <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上りの種類</th> </tr> <tr> <td>・ 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・ 厚膜型塗床材 Eポキシ樹脂系塗床</td> <td></td> <td>・ 薄膜流し展べ工法 ・ 厚膜流し展べ工法 ・ 樹脂モルタル工法</td> <td>・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・ 薄膜型塗床材 7794樹脂塗床 (JIS K 5970)</td> <td></td> <td></td> <td>工程 塗布量 (kg/m²) ・ 表面仕上げ ・ 平滑 ・ 防滑 溶剤 ・ 水性色 ・ 溶剤系 ・ 無溶剤系 仕上げ色 ・ 標準色</td> </tr> </table> 塗料のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外	種別	施工箇所	工法	仕上りの種類	・ 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ	・ 厚膜型塗床材 Eポキシ樹脂系塗床		・ 薄膜流し展べ工法 ・ 厚膜流し展べ工法 ・ 樹脂モルタル工法	・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ	・ 薄膜型塗床材 7794樹脂塗床 (JIS K 5970)			工程 塗布量 (kg/m ²) ・ 表面仕上げ ・ 平滑 ・ 防滑 溶剤 ・ 水性色 ・ 溶剤系 ・ 無溶剤系 仕上げ色 ・ 標準色																																																																																																																					
種別	施工箇所	工法	仕上りの種類																																																																																																																																				
・ 厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ																																																																																																																																				
・ 厚膜型塗床材 Eポキシ樹脂系塗床		・ 薄膜流し展べ工法 ・ 厚膜流し展べ工法 ・ 樹脂モルタル工法	・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ																																																																																																																																				
・ 薄膜型塗床材 7794樹脂塗床 (JIS K 5970)			工程 塗布量 (kg/m ²) ・ 表面仕上げ ・ 平滑 ・ 防滑 溶剤 ・ 水性色 ・ 溶剤系 ・ 無溶剤系 仕上げ色 ・ 標準色																																																																																																																																				

22	壁紙張り [6.14.2~3]	せっこうボード等の下地は図示による。 遮音シール材 ・ 適用する (・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド) ・ 適用しない 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 合板類の張付け ※B種 ・ A種 せっこうボードの目地工法 ・ 仕上げ表による																																																																																																																							
	1	材料 [7.1.3]	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所 :)																																																																																																																						
	2	下地調整 [7.2.2~7]	塗替えR種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※塗替え面積の30% ○ 図示																																																																																																																						
	3	錆止め塗料塗り [7.3.2~3]	錆止め塗料塗りの種別 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">下地の種類</th> <th colspan="2">下地調整の種別</th> <th rowspan="2">ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>※ R 種</td> <td>・ R A 種 ・ R B 種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※ R 種</td> <td>・ R A 種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>垂れめつき面</td> <td>※ R 種</td> <td>・ R A 種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>垂れめつき面 (鋼製建具)</td> <td>※ R 種</td> <td>・ R C 種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>モルタル、プaster面</td> <td>※ R 種</td> <td>・ R A 種 ・ R B 種</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面</td> <td>※ R 種</td> <td>・ R A 種</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP)、押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・ R A 種</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>※ R 種</td> <td>・ R A 種 ・ R B 種</td> <td>・</td> </tr> </table>	下地の種類	下地調整の種別		ひび割れ部の補修	塗替え	新規	木部	※ R 種	・ R A 種 ・ R B 種	・	鉄鋼面	※ R 種	・ R A 種	・	垂れめつき面	※ R 種	・ R A 種	・	垂れめつき面 (鋼製建具)	※ R 種	・ R C 種	・	モルタル、プaster面	※ R 種	・ R A 種 ・ R B 種	・ 行う ・ 行わない	コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面	※ R 種	・ R A 種	・ 行う ・ 行わない	コンクリート面 (DP)、押出成形セメント板面		・ R A 種	・ 行う ・ 行わない	せっこうボード面及びその他ボード面	※ R 種	・ R A 種 ・ R B 種	・																																																																																
下地の種類	下地調整の種別		ひび割れ部の補修																																																																																																																						
	塗替え	新規																																																																																																																							
木部	※ R 種	・ R A 種 ・ R B 種	・																																																																																																																						
鉄鋼面	※ R 種	・ R A 種	・																																																																																																																						
垂れめつき面	※ R 種	・ R A 種	・																																																																																																																						
垂れめつき面 (鋼製建具)	※ R 種	・ R C 種	・																																																																																																																						
モルタル、プaster面	※ R 種	・ R A 種 ・ R B 種	・ 行う ・ 行わない																																																																																																																						
コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面	※ R 種	・ R A 種	・ 行う ・ 行わない																																																																																																																						
コンクリート面 (DP)、押出成形セメント板面		・ R A 種	・ 行う ・ 行わない																																																																																																																						
せっこうボード面及びその他ボード面	※ R 種	・ R A 種 ・ R B 種	・																																																																																																																						
4	塗装 [7.3.2~3]	錆止め塗料塗りの種別 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th colspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td>・ 合成樹脂顔合ペイント塗り (SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※B種 ・ ※A種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>木部屋内</td> <td>※B種 ・ ※B種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>塗料の種別 ※1種 ・ 2種</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種 ・ ※B種 ・ A種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>垂れめつき鋼面 (鋼製建具)</td> <td>※A種 ・ ※B種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>垂れめつき鋼面 (鋼製建具以外)</td> <td>※B種 ・ ※B種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○ クリヤラッカー塗り (CL)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)</td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○ 耐熱性塗料塗り (DP)</td> <td>鉄鋼面 上塗り等級 (3) 級</td> <td>・</td> <td>A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>垂れめつき鋼面</td> <td>・</td> <td>A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>上塗り等級 () 級</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>コケシ面及び押出成形セメント板面</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)</td> <td>コケシ面等</td> <td>※B種 ・ ※B種 ・ A種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋内の木部</td> <td>※B種 ・ ※A種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種 ・ ※B種 ・ A種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋内の垂れめつき鋼面</td> <td>※B種 ・ ※B種 ・ A種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</td> <td></td> <td>※B種 ・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)</td> <td></td> <td>※B種 ・ ※B種 ・ A種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ ラッカーエナメル塗り (LE)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○ オイルステイン塗り (OS)</td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ 木材保護塗料塗り (WP)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コケシ面、鉄鋼面、ガラス面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしきり ※改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしきりシーラーとする 合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしきり ※改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしきりシーラーとする ・ 高日射反射塗料塗り (S) 下地調整 (改修標準仕様書表7.2.2) ・ R A 種 ・ R B 種 ・ R C 種	塗装の種類	塗装面		工程		塗替え	新規	塗替え	新規	・ 合成樹脂顔合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※B種 ・ ※A種	・	・		木部屋内	※B種 ・ ※B種	・	・	塗料の種別 ※1種 ・ 2種	鉄鋼面	※B種 ・ ※B種 ・ A種	・	・		垂れめつき鋼面 (鋼製建具)	※A種 ・ ※B種	・	・		垂れめつき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種 ・ ※B種	・	・	○ クリヤラッカー塗り (CL)		※B種 ・ A種	・	・	・ フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)		—	—	—	・ アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)		※B種 ・ A種	・	・	○ 耐熱性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り等級 (3) 級	・	A種			垂れめつき鋼面	・	A種			上塗り等級 () 級	・				コケシ面及び押出成形セメント板面	・			○ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コケシ面等	※B種 ・ ※B種 ・ A種	・	・		屋内の木部	※B種 ・ ※A種	・	・		屋内の鉄鋼面	※B種 ・ ※B種 ・ A種	・	・		屋内の垂れめつき鋼面	※B種 ・ ※B種 ・ A種	・	・	・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		※B種 ・	・	・	・ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)		※B種 ・ ※B種 ・ A種	・	・	・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		※B種 ・ A種	・	・	・ ラッカーエナメル塗り (LE)		※B種 ・ A種	・	・	○ オイルステイン塗り (OS)		—	—	—	・ 木材保護塗料塗り (WP)		※B種 ・ A種	・	・
塗装の種類	塗装面			工程																																																																																																																					
	塗替え	新規	塗替え	新規																																																																																																																					
・ 合成樹脂顔合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※B種 ・ ※A種	・	・																																																																																																																					
	木部屋内	※B種 ・ ※B種	・	・																																																																																																																					
塗料の種別 ※1種 ・ 2種	鉄鋼面	※B種 ・ ※B種 ・ A種	・	・																																																																																																																					
	垂れめつき鋼面 (鋼製建具)	※A種 ・ ※B種	・	・																																																																																																																					
	垂れめつき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種 ・ ※B種	・	・																																																																																																																					
○ クリヤラッカー塗り (CL)		※B種 ・ A種	・	・																																																																																																																					
・ フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)		—	—	—																																																																																																																					
・ アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)		※B種 ・ A種	・	・																																																																																																																					
○ 耐熱性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り等級 (3) 級	・	A種																																																																																																																						
	垂れめつき鋼面	・	A種																																																																																																																						
	上塗り等級 () 級	・																																																																																																																							
	コケシ面及び押出成形セメント板面	・																																																																																																																							
○ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コケシ面等	※B種 ・ ※B種 ・ A種	・	・																																																																																																																					
	屋内の木部	※B種 ・ ※A種	・	・																																																																																																																					
	屋内の鉄鋼面	※B種 ・ ※B種 ・ A種	・	・																																																																																																																					
	屋内の垂れめつき鋼面	※B種 ・ ※B種 ・ A種	・	・																																																																																																																					
・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		※B種 ・	・	・																																																																																																																					
・ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)		※B種 ・ ※B種 ・ A種	・	・																																																																																																																					
・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		※B種 ・ A種	・	・																																																																																																																					
・ ラッカーエナメル塗り (LE)		※B種 ・ A種	・	・																																																																																																																					
○ オイルステイン塗り (OS)		—	—	—																																																																																																																					
・ 木材保護塗料塗り (WP)		※B種 ・ A種	・	・																																																																																																																					

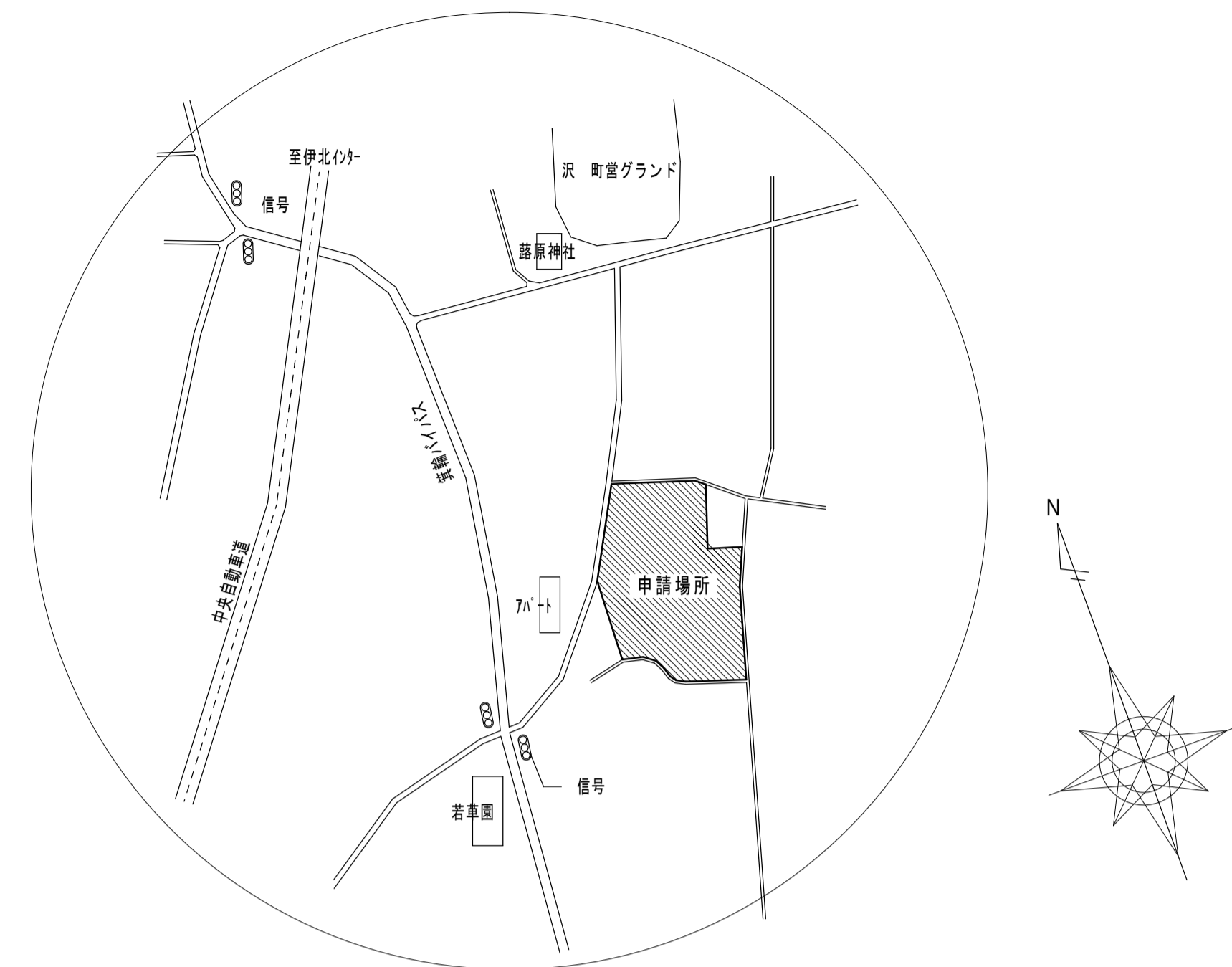
<p>8 鉄筋コンクリート工事</p> <p><一般事項> ① 適用範囲</p> <p><鉄筋> ② 鉄筋の種類</p> <p>3 溶接金網</p> <p>4 鉄筋の継手</p> <p>⑤ 帯筋</p> <p>⑥ 鉄筋のかぶり厚さ</p> <p>7 圧接完了後の試験</p>	<p>※改修特記仕様書 1 仕様書 1 工事概要 3 工事種目に掲げる下記の工事種目番号 [8.1.1] (番号○～番号○までの工事種目)のうち、改修標準仕様書8.1.1適用範囲に定める工事内容 ・改修特記仕様書 1 仕様書 1 工事概要 3 工事種目に掲げる下記の工事種目番号 ・番号○～番号○までの工事種目)のうち、改修標準仕様書8.1.1適用範囲に定めるもの以外の工事内容</p> <table border="1"> <tr> <th>規格の名称</th> <th>種類の記号</th> <th>呼び径 (mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)</td> <td>・ SD295A</td> <td>※ D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD345</td> <td>※ D19以上</td> <td></td> </tr> </table> <p>形状等 [8.2.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>・ 溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>継手方法 [8.3.4]</p> <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>継手方法と適用径の範囲</th> </tr> <tr> <td>・ 柱主筋</td> <td>・ ガス圧接継手 (D19以上) ・</td> </tr> <tr> <td>・ 梁主筋</td> <td>・ ガス圧接継手 (D19以上) ・</td> </tr> <tr> <td>・ 耐力壁</td> <td>・ 重ね継手 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 基礎スラブ、耐圧スラブ、土圧壁など</td> <td>・ ガス圧接継手 () ・ 重ね継手 ()</td> </tr> </table> <p>鉄筋の継手位置 [8.3.4][表8.3.2][表8.3.3]</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示 <p>重ね継手 主筋及び耐力壁の重ね長さ ・ 図示 ・ 改修標準仕様書 表8.3.2による</p> <p>組立の形 [8.3.4] ○ 図示</p> <p>⑥ 鉄筋のかぶり厚さ [8.3.5][表8.3.6] 最小かぶり厚さ(目地處から算出を行う) ※標準仕様書 表8.3.6による ・ 図示</p> <p>柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ○ 無し ・ 有り 適用箇所() 主筋のかぶり厚さ ・ 最小かぶり厚さ () mm 特殊な要求性能におけるコンクリートの部分 (耐久性上不利な部分) ○ 無し ・ 有り 適用箇所() ・ 改修標準仕様書 表8.3.6に加える厚さ () mm</p> <p>・ 超音波探傷試験 [8.3.8](5.4.9)(5.4.10) 箇所数 ・ 全圧接部 適用箇所 ・ 図示 ・ 標準仕様書5.4.9(2)(i)による箇所数 適用箇所 ・ 図示 ・ 引張試験 (5.4.9)(5.4.10) 適用箇所 ・ 図示</p>	規格の名称	種類の記号	呼び径 (mm)	適用箇所	鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)	・ SD295A	※ D16以下		・ SD345	※ D19以上		種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	・ 溶接金網				・ 鉄筋格子				適用箇所	継手方法と適用径の範囲	・ 柱主筋	・ ガス圧接継手 (D19以上) ・	・ 梁主筋	・ ガス圧接継手 (D19以上) ・	・ 耐力壁	・ 重ね継手 ・	・ 基礎スラブ、耐圧スラブ、土圧壁など	・ ガス圧接継手 () ・ 重ね継手 ()	<p>⑬ 混和材料 [8.2.5][8.5.8]</p> <p>12 モルタル及びグラウト材 [8.2.11]</p> <ul style="list-style-type: none"> 混和剤の種類 (JIS A 6204によるA E剤、A E減水剤又は高性能A E減水剤とし、化学混和剤の塩化イオン量による区分はI種とする。 また、防錆材を併用する場合はJIS A 6205による防錆材とする。) 混和剤の種類 (JIS A 6201によるフライアッシュのI種、II種若しくはI種、JIS A 6206による高炉スラグ微粉末、JIS A 6207によるシリカフューム又はJIS A 6202による膨張剤とする。) <p>・ 構造体用モルタル [8.2.11] 材料 ・ 改修標準仕様書[8.2.5] 圧縮強度 ・ 図示 ・ フロー値 ・ 図示 ・ グラウト材 [8.2.11] 無収縮グラウト材の材質等</p> <p>混和材 セメント系(酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。 セメント JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。 砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。 無収縮グラウト材の品質及び試験方法 コンシステンシー Jロートによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒 ブリージング 練り混ぜ2時間後のブリージング率 : 2.0%以下 凝結時間 凝結開始時間 : 1時間以上 終結時間 : 10時間以内 無収縮性 材齢7日 収縮しない 圧縮強度 材齢 3日 20.0N/mm²以上 材齢 28日 40.0N/mm²以上 塩化物量 0.30kg/m³以下 試験方法 1) NEXCO試験方法 試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。</p> <p>⑬ 型枠 [8.2.7]</p> <p>せき板の材料 [8.2.7] ○ 合板 コンクリート及びグラウト打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督職員と協議すること ・ 床型枠用鋼製デッキプレート</p> <p>スリーブの材質 [8.2.7][表8.2.6] ・ 改修標準仕様書 8.2.7(f)(2)及び改修標準仕様書 表8.2.6による</p> <p>打増し厚さ [8.7.8] ・ 打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・ 20mm ・ 打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・ 10mm ・ 20mm ・ 外装タイル後張り面の打増し処理 ・ 20mm 打増し範囲 ・ 図示 (床型枠用鋼製デッキプレートの梁側面の打増し部に限る。)</p> <p>14 無筋コンクリート (6.14.1~3)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 F_c (N/mm²)</th> <th>スラブ (cm)</th> <th>セメントの種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※18</td> <td>※15 又は18</td> <td>・ 普通ポルトランドセメント 又は混合セメントのA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種</td> <td>・ 捨てコクリト 保護コクリト ・ 設備基礎 ・ 捨てコクリト 保護コクリト ・ 設備基礎</td> </tr> </table> <p><あと施工アンカー></p> <p>⑮ あと施工アンカーの材料 [8.2.4][表8.2.1]</p> <p>あと施工アンカーの材料 [8.2.4][表8.2.1] ○ 金属系アンカー(耐震補強用) ※ 接着系アンカー アンカーの種類 ※カプセル形回転・打撃式 接着剤の品質 ※有機系 アンカー筋の種類 ○改修標準仕様書8.2.1の異形棒鋼 ・ 全ねじボルト</p> <p>⑯ あと施工アンカーの穿孔 [8.11.2]</p> <p>穿孔前の既存鉄筋および埋設配管・配線等の探査範囲 ・ 図示 ※あと施工アンカー施工範囲全て 方法 ※穿孔前に電磁波レーダー法又は電磁誘導法による既存鉄筋および埋設配管・配線等の探査を行い、位置の裏出しを行う ・ はつり出しによる 穿孔機械 (金属検知により電源供給が停止できる付属装置等を使用する) ※ハンマードリル ・ コアドリル 既存コンクリートの不良箇所の確認 ※アンカー施工部位の既存コンクリートは目視した後、目視及び打診により状況を確認し、じゃんか等不良箇所を発見した場合には、監督職員と協議すること。</p> <p>⑰ あと施工アンカーの施工確認試験 [8.11.5]</p> <p>試験方法 ○ 引張試験 ・ 確認強度 ・ 図示</p>	設計基準強度 F _c (N/mm ²)	スラブ (cm)	セメントの種類	適用箇所	※18	※15 又は18	・ 普通ポルトランドセメント 又は混合セメントのA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種	・ 捨てコクリト 保護コクリト ・ 設備基礎 ・ 捨てコクリト 保護コクリト ・ 設備基礎	<p><鉄骨></p> <p>⑱ 鉄骨製作工場 [8.1.5]</p> <p>製作工場の加工能力 [8.1.5] ※建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国建築工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(M)グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ○ 監督職員の承諾する製作工場</p> <p>施工管理技術者 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>⑲ 線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8.1.6]</p> <p>鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・ 図示 ・ 適用箇所 ・ 図示 ・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部</p> <p>⑳ 鋼材 [8.2.8][表8.2.7]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>SKR400</td> <td>柱</td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td>S S 400</td> <td>形鋼・板鋼</td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td>S S 400</td> <td>D. PL ・ B. PL</td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td>S S C 400</td> <td>鋼線</td> <td>※JIS規格による</td> </tr> </table> <p>㉑ 高力ボルト [8.2.9]</p> <p>区分 ○ トルシア形高力ボルト 2種 (S10T) ○ JIS形高力ボルト 2種 (F10T) 高力ボルトの径 ※ 図示 すべり係数試験 ※ 行わない ・ 行う</p> <p>23 溶融垂れつき高力ボルト [7.2.2][7.12.4]</p> <p>セットの種類 ・ 1種 (F8T相当) 摩擦面の処理 ※ プラスト処理 (表面粗度50μmRz以上) 摩擦面の確認方法 ・ 図示 ・ 試験片によるすべり耐力試験</p> <p>⑳ 溶接接合 [8.14.7]</p> <p>スクラップの形状 ○ 改良型 エンドタブの切除 ・ 行なう 適用箇所 ・ 全て ・ 図示 ・ 行わない</p> <p>㉒ 溶接部の試験 [8.14.11~12]</p> <p>完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※ 行う</p> <p>㉓ 錆止め塗装 [8.16.2][8.16.3][7.3.2][表7.3.1][表7.3.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 改修標準仕様書 表7.8.1 A種</td> <td>・ 屋外 (改修標準仕様書8.16.2の範囲以外)</td> </tr> <tr> <td>○ 改修標準仕様書 表7.3.1 B種</td> <td>・ 屋内 (改修標準仕様書8.16.2の範囲以外)</td> </tr> </table> <p>垂れつき面</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 改修標準仕様書 表7.3.2 A種</td> <td>・ 屋外、屋内</td> </tr> </table> <p>鋼製スリーブの内側(鉄骨に溶接されたもの)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 改修標準仕様書 表7.3.1 A種</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>種類等 (7.9.2~7)[8.17.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>適用箇所 (部位・部分)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ 耐火材吹付け</td> <td>・ 乾式吹付けロックウール</td> <td rowspan="3">・ 屋外、屋内</td> </tr> <tr> <td>・ 半乾式吹付けロックウール</td> </tr> <tr> <td>・ 湿式ロックウール</td> </tr> <tr> <td>・ 耐火板張り</td> <td>・ 繊維混入型酸カルシウム板</td> <td rowspan="2">・</td> </tr> <tr> <td>・ 耐火材巻付け</td> <td>・ 高耐熱ロックウール</td> </tr> <tr> <td>・ 75張り砂吹き塗り</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする。</p> <p>性能</p> <table border="1"> <tr> <th>性能</th> <th>適用箇所 (部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>・ 30分耐火</td> <td rowspan="3">・</td> </tr> <tr> <td>・ 1時間耐火</td> </tr> <tr> <td>・ 2時間耐火</td> </tr> <tr> <td>・ 3時間耐火</td> <td>・</td> </tr> </table>	種類の記号	適用箇所	規格等	SKR400	柱	※JIS規格による	S S 400	形鋼・板鋼	※JIS規格による	S S 400	D. PL ・ B. PL	※JIS規格による	S S C 400	鋼線	※JIS規格による	種類	適用箇所	・ 改修標準仕様書 表7.8.1 A種	・ 屋外 (改修標準仕様書8.16.2の範囲以外)	○ 改修標準仕様書 表7.3.1 B種	・ 屋内 (改修標準仕様書8.16.2の範囲以外)	種類	適用箇所	・ 改修標準仕様書 表7.3.2 A種	・ 屋外、屋内	種類	適用箇所	・ 改修標準仕様書 表7.3.1 A種	・	種類	材料・工法	適用箇所 (部位・部分)	・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付けロックウール	・ 屋外、屋内	・ 半乾式吹付けロックウール	・ 湿式ロックウール	・ 耐火板張り	・ 繊維混入型酸カルシウム板	・	・ 耐火材巻付け	・ 高耐熱ロックウール	・ 75張り砂吹き塗り	・	・	性能	適用箇所 (部位・部分)	・ 30分耐火	・	・ 1時間耐火	・ 2時間耐火	・ 3時間耐火	・	<p>㉔ アンカーボルト (7.2.4)(表7.2.3)(7.10.3)</p> <p>適用 ・ 構造用アンカーボルト ・ JIS B 1220 又は JSS II 13-2004 ABR400 ・ JIS B 1220 又は JSS II 13-2004 ABR490 ・ ○ 建方用アンカーボルト 材質 ○ S400 アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級の規格及び仕上げの程度 ・ 標準仕様書 表7.2.3による ・</p> <p>保持及び埋込み工法 (7.10.3)(表7.10.1) ・ 構造用 ※ 図示 ・ 建方用 ・ 標準仕様書 表7.10.1 (・ A種 ・ B種 ・ C種) による</p> <p>㉕ 柱底均しモルタル (7.2.9)(7.10.3)(表7.10.1)[8.2.11]</p> <p>モルタルの種類 ○ 無収縮モルタル 圧縮強度 ・ 図示 無収縮モルタルの材料及び調合 材料、調合等 ・ 標準仕様書 7.2.9による ・ 品質及び試験方法 ・ 標準仕様書 表7.2.6による ・ 工法の種類 ・ 標準仕様書 表7.10.2 ・ A種 [モルタル厚さ50] ・ B種 [モルタル厚さ30]</p> <table border="1"> <tr> <th>径 (呼び名)</th> <th>長さ (呼び長さ)</th> <th>mm</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>16φ</td> <td>・ 80</td> <td>・ 100</td> <td>・ 120</td> </tr> <tr> <td>19φ</td> <td>・ 80</td> <td>・ 100</td> <td>・ 130</td> </tr> <tr> <td>22φ</td> <td>・ 80</td> <td>・ 100</td> <td>・ 130</td> </tr> <tr> <td>22φ</td> <td>・ 80</td> <td>・ 100</td> <td>・ 150</td> </tr> </table> <p>30 スタッドボルト (7.2.5)</p> <p>31 溶融垂れつき [7.12.3](表14.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類等</th> <th>材料</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>垂れつきの種類</td> <td>・ 最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板</td> <td>・ 適用箇所</td> </tr> <tr> <td>A種 (HDZ55)</td> <td>・ 最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板</td> <td>・ ※ 図示</td> </tr> <tr> <td>B種 (HDZ45)</td> <td>・ 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>C種 (HDZ35)</td> <td>・ 最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>外観検査 ・ 行う ・ 行わない めっき付着量の検査 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>32 製作精度 (7.3.3) ※(一社)日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」付則6「鉄骨精度検査基準」による。 ※ 通しダイアグラムの許容誤差 ・ 全てのダイアグラムはH12建告第1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること ・ ダイアグラムをH12建告第1464号第二号イ(1)(2)に規定するただし書きの計算確認有り補強方法 ・ 「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・</p> <p><耐震> 33 既存部分の処理 [8.19.3][8.20.3][8.21.3]</p> <p>適用範囲 [8.19.3][8.20.3][8.21.3] ※ 既存コンクリートとの打継ぎ面 ※ 既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充てり部の接合面 ・ 既存コンクリートの目視上の範囲 ・ 平均高さ 2~5mm (最大7mm) 程度の凹面を、全体にわたってつける。 ・ 既存コンクリートの目視上の程度 ・ 既存柱、梁面 打継ぎ面の15~30%程度 ・ 既存壁 打継ぎ面の10~15%程度 ・</p> <p>34 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 [8.19.8][8.21.5]</p> <p>35 柱補強 [8.21.5][8.21.6][8.21.7] ・ 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 [8.21.5] ・ 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 [8.21.6] ・ 連続繊維補強工法 [8.21.7]</p> <p>36 連続繊維シート巻き [8.2.12]</p> <p>材料・形状 採用した工法の規定を満足するもの 材質 引張り強度 (含浸硬化後) ・ 2500N/mm² 以上 ・ 3000N/mm² 以上 ヤング係数 (含浸硬化後) ・ 2.35×10⁵ N/mm² 程度 ・ 2.00×10⁵ N/mm² 以上 工法 [8.21.7] ※(一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法 ・ 下地調整 [8.21.7] ひび割れ部の改修工法の種類 ・ 樹脂注入工法 ・ リカットシール材充填工法 ・ シール工法 柱の隅角部の面取り [8.21.7] ※ 工法の評価内容による</p> <p>37 スリットの施工 [8.22.2]</p> <p>スリット部の配管等の探査 ※ 探査器により探査し、配管等の位置の裏出しを行う ・ はつり出し</p>	径 (呼び名)	長さ (呼び長さ)	mm	適用箇所	16φ	・ 80	・ 100	・ 120	19φ	・ 80	・ 100	・ 130	22φ	・ 80	・ 100	・ 130	22φ	・ 80	・ 100	・ 150	種類等	材料	適用箇所	垂れつきの種類	・ 最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板	・ 適用箇所	A種 (HDZ55)	・ 最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板	・ ※ 図示	B種 (HDZ45)	・ 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類	・	C種 (HDZ35)	・ 最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板	・
規格の名称	種類の記号	呼び径 (mm)	適用箇所																																																																																																																																		
鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)	・ SD295A	※ D16以下																																																																																																																																			
	・ SD345	※ D19以上																																																																																																																																			
種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																																																																																																																																		
・ 溶接金網																																																																																																																																					
・ 鉄筋格子																																																																																																																																					
適用箇所	継手方法と適用径の範囲																																																																																																																																				
・ 柱主筋	・ ガス圧接継手 (D19以上) ・																																																																																																																																				
・ 梁主筋	・ ガス圧接継手 (D19以上) ・																																																																																																																																				
・ 耐力壁	・ 重ね継手 ・																																																																																																																																				
・ 基礎スラブ、耐圧スラブ、土圧壁など	・ ガス圧接継手 () ・ 重ね継手 ()																																																																																																																																				
設計基準強度 F _c (N/mm ²)	スラブ (cm)	セメントの種類	適用箇所																																																																																																																																		
※18	※15 又は18	・ 普通ポルトランドセメント 又は混合セメントのA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種	・ 捨てコクリト 保護コクリト ・ 設備基礎 ・ 捨てコクリト 保護コクリト ・ 設備基礎																																																																																																																																		
種類の記号	適用箇所	規格等																																																																																																																																			
SKR400	柱	※JIS規格による																																																																																																																																			
S S 400	形鋼・板鋼	※JIS規格による																																																																																																																																			
S S 400	D. PL ・ B. PL	※JIS規格による																																																																																																																																			
S S C 400	鋼線	※JIS規格による																																																																																																																																			
種類	適用箇所																																																																																																																																				
・ 改修標準仕様書 表7.8.1 A種	・ 屋外 (改修標準仕様書8.16.2の範囲以外)																																																																																																																																				
○ 改修標準仕様書 表7.3.1 B種	・ 屋内 (改修標準仕様書8.16.2の範囲以外)																																																																																																																																				
種類	適用箇所																																																																																																																																				
・ 改修標準仕様書 表7.3.2 A種	・ 屋外、屋内																																																																																																																																				
種類	適用箇所																																																																																																																																				
・ 改修標準仕様書 表7.3.1 A種	・																																																																																																																																				
種類	材料・工法	適用箇所 (部位・部分)																																																																																																																																			
・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付けロックウール	・ 屋外、屋内																																																																																																																																			
	・ 半乾式吹付けロックウール																																																																																																																																				
	・ 湿式ロックウール																																																																																																																																				
・ 耐火板張り	・ 繊維混入型酸カルシウム板	・																																																																																																																																			
・ 耐火材巻付け	・ 高耐熱ロックウール																																																																																																																																				
・ 75張り砂吹き塗り	・	・																																																																																																																																			
性能	適用箇所 (部位・部分)																																																																																																																																				
・ 30分耐火	・																																																																																																																																				
・ 1時間耐火																																																																																																																																					
・ 2時間耐火																																																																																																																																					
・ 3時間耐火	・																																																																																																																																				
径 (呼び名)	長さ (呼び長さ)	mm	適用箇所																																																																																																																																		
16φ	・ 80	・ 100	・ 120																																																																																																																																		
19φ	・ 80	・ 100	・ 130																																																																																																																																		
22φ	・ 80	・ 100	・ 130																																																																																																																																		
22φ	・ 80	・ 100	・ 150																																																																																																																																		
種類等	材料	適用箇所																																																																																																																																			
垂れつきの種類	・ 最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板	・ 適用箇所																																																																																																																																			
A種 (HDZ55)	・ 最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板	・ ※ 図示																																																																																																																																			
B種 (HDZ45)	・ 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類	・																																																																																																																																			
C種 (HDZ35)	・ 最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板	・																																																																																																																																			
MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	SHEET NO.																																																																																																																																
	令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事	改修工事特記仕様書(4)		H32.2	A-04																																																																																																																																

<p style="text-align: center;">令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事 解体工事仕様書</p> <p>I 解体工事概要</p> <p>1. 工事場所 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪475</p> <p>2. 敷地面積 (㎡) 19,721.99㎡</p> <p>3. 除却対象物</p> <table border="1"> <tr> <th>除却対象建築物等</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>梁間(m)</th> <th>桁行(m)</th> <th>建築面積(㎡)</th> <th>延面積(㎡)</th> </tr> <tr> <td>屋内運動場の内外装の一部</td> <td>S</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>195.12</td> <td>195.12</td> </tr> </table> <p>II 解体工事仕様</p> <p>1. 共通仕様 (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁業務部監修「建築物解体工事共通仕様書(平成24年版)」(以下、「解体共仕」という。)により、解体共仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁業務部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成25年版)」(以下「標準仕」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成25年度版)」(以下、「改修標準仕」という。)による。</p> <p>2. 特記仕様 (1) 項目は、番号に 印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、・印の付いたものを適用する。 ・印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ・印と※印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の()内の表示番号は、解体共仕の当該項目を示す。</p>	除却対象建築物等	構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(㎡)	延面積(㎡)	屋内運動場の内外装の一部	S	1			195.12	195.12	<p style="text-align: center;">建設廃棄物の処理</p> <p>① 一般事項</p> <p>② 再資源化等</p> <p>3 現場利用する再資源化された建設廃棄物</p> <p>4 産業廃棄物広域認定制度の活用</p> <p>5 最終処分する建設廃棄物</p> <p>6 処理に注意を要する建設廃棄物</p> <p>7 特別管理産業廃棄物等の処理等</p>	<p>・冷媒を回収した後撤去を行う機器は下記による。</p> <table border="1"> <tr> <th>図面番号</th> <th>記号</th> </tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>⑤ 屋外設備等</p> <p>6 解体後の整地</p> <p>① 一般事項 本工事は「建設副産物情報交換システム」を活用する。 総合施工計画作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合、速やかに当該システムにデータ入力を行う。また、同システムにより工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を工事完了時に同計画書の実施報告書(書式は同一)を作成し、監督職員に提出するものとする。</p> <p>② 再資源化等 建設廃棄物の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>建設廃棄物の種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・コンクリート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート及び鉄からなる建設資材(PC板、コンクリート平板、コンクリート二次製品)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○木材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・木材(縮減)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○アスファルトコンクリート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○金風類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・小形二次電池</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・蛍光灯ランプ、HIDランプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質塩化ビニル管、継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>※中間処理施設又は再資源化施設等の名称、所在地は現場説明書による</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>仕様</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>④ 現場利用する再資源化された建設廃棄物</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>仕様</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>⑤ 最終処分する建設廃棄物</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>仕様</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>⑥ 処理に注意を要する建設廃棄物</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>仕様</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>※最終処分施設の名称、所在地は現場説明書による</p> <p>⑦ 特別管理産業廃棄物等の処理等</p> <p>分別調査を行う特別管理産業廃棄物等の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>分別調査を行う特別管理産業廃棄物等の種類</th> <th>採取する部位又は箇所等</th> <th>採取する数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 図示</td> <td>・ 箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 図示</td> <td>・ 箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 図示</td> <td>・ 箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 図示</td> <td>・ 箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>PCB含有シーリング分析調査</p> <p>・第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。</p> <p>・第二次判定 専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。</p> <p>・絶縁油のPCB含有量の分析は、「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検計方法(平成4年7月3日厚生省告示第192号)」又は「絶縁油中のポリ塩化ビフェニルの分析方法規定(電気技術規定JEAC1201-1991)」により行う。</p> <p>・焼却炉のダイオキシン類汚染物質の調査は、「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類暴露防止対策要綱(平成13年4月25日付基発第401号)」により行う。</p>	図面番号	記号									建設廃棄物の種類	備考	・コンクリート		・コンクリート及び鉄からなる建設資材(PC板、コンクリート平板、コンクリート二次製品)		○木材		・木材(縮減)		○アスファルトコンクリート		○金風類		・小形二次電池		・蛍光灯ランプ、HIDランプ		・硬質塩化ビニル管、継手		名称	仕様	数量	備考																	名称	仕様	数量	備考																	名称	仕様	数量	備考																	名称	仕様	数量	備考																	分別調査を行う特別管理産業廃棄物等の種類	採取する部位又は箇所等	採取する数量	備考	・ 図示	・ 箇所			・ 図示	・ 箇所			・ 図示	・ 箇所			・ 図示	・ 箇所			<p>2 特別管理産業廃棄物の処理</p> <p>3 PCBを含む機器類</p> <p>4 PCB含有シーリング材</p> <p>5 特殊な建設副産物の改修及び処分</p> <p>6 アスベスト含有建材の除去等</p> <p>1 アスベスト含有分析調査</p> <p>2 7μm以下じん濃度測定</p>	<p><4.4.1></p> <table border="1"> <tr> <th>特別管理産業廃棄物の種類</th> <th>仕様</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>※処理施設の名称、所在地は現場説明書による</p> <p>引渡しを要する機器類</p> <p>撤去方法</p> <p>・「標準施工要領書(日本シーリング工業協会同組合連合会/日本シーリング材工業会)」による。</p> <p>撤去範囲</p> <p>※(図示 / 図による)</p> <table border="1"> <tr> <th>回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類</th> <th>対象機器名称</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>※回収業者又は処分場の名称、保管場所・処分場の名称は現場説明書による</p> <p>分析によるアスベスト含有建材の調査</p> <p>・行う(下表による)</p> <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>調査方法(1材料あたりの試料数:3サンプル)</th> </tr> <tr> <td>外壁 アクリルリシン</td> <td>※定性分析 ・定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※定性分析 ・定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※定性分析 ・定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※定性分析 ・定量分析</td> </tr> </table> <p>採取箇所 ※図示</p> <p>分析対象</p> <p>※アスベスト 6種類(アモサイト、クリソタイル、クロソライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト)</p> <p>分析方法</p> <p>※JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による</p> <p>分析結果については、監督職員に提出すること。</p> <p>アスベスト粉じん濃度測定</p> <p>・行う(測定名称及び測定点は下表による)</p> <p>アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法—第1部:光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。</p> <p>測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。</p> <p>測定箇所 ※図示</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点(各施工箇所ごと)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>各点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・測定2</td> <td>処理作業前</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>計点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>各点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・測定4</td> <td>処理作業中</td> <td>出入口</td> <td>各点</td> <td>空気の流れを確認</td> </tr> <tr> <td>・測定5</td> <td>処理作業中</td> <td>負圧・除じん装置の排出口(処理作業室外の場合)</td> <td>各点</td> <td>除じん装置の性能確認</td> </tr> <tr> <td>・測定6</td> <td>処理作業中</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>計点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・測定7</td> <td>処理作業後(作業発生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>各点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・測定8</td> <td>処理作業後(作業発生中)</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>計点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・測定9</td> <td>処理作業後(作業発生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>各点</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・測定10</td> <td>撤去後1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計点</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>アスベスト粉じん濃度測定方法</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>測定3</th> <th>測定1,2,4,6,7,8,9,10</th> <th>測定5</th> </tr> <tr> <td>計数機器</td> <td>位相差顕微鏡</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ノズル径</td> <td>25mm</td> <td></td> <td>47mm</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td> <td>1 l/min</td> <td>5 l/min</td> <td>10 l/min</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>5min</td> <td>120min</td> <td>240min</td> </tr> <tr> <td>試料の透明化</td> <td>アセトノートリアセチレン法又は、シュウ酸エチル法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計数条件</td> <td>総アスベスト繊維数200本又は視野数50視野</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計数アスベスト</td> <td>直径3μm未満、長さ5μm-0.3μm以上、長さと直径比3:1以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>50 f/l</td> <td>0.5 f/l</td> <td>0.3 f/l</td> </tr> </table>	特別管理産業廃棄物の種類	仕様	数量	備考																	回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類	対象機器名称	備考													材料名	調査方法(1材料あたりの試料数:3サンプル)	外壁 アクリルリシン	※定性分析 ・定量分析		※定性分析 ・定量分析		※定性分析 ・定量分析		※定性分析 ・定量分析	測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備考	・測定1	処理作業前	処理作業室内	各点	—	・測定2	処理作業前	施工区画周辺又は敷地境界	計点	—	・測定3	処理作業中	処理作業室内	各点	—	・測定4	処理作業中	出入口	各点	空気の流れを確認	・測定5	処理作業中	負圧・除じん装置の排出口(処理作業室外の場合)	各点	除じん装置の性能確認	・測定6	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	計点	—	・測定7	処理作業後(作業発生中)	処理作業室内	各点	—	・測定8	処理作業後(作業発生中)	施工区画周辺又は敷地境界	計点	—	・測定9	処理作業後(作業発生中)	処理作業室内	各点	—	・測定10	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計点	—		測定3	測定1,2,4,6,7,8,9,10	測定5	計数機器	位相差顕微鏡			ノズル径	25mm		47mm	試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min	試料の吸引時間	5min	120min	240min	試料の透明化	アセトノートリアセチレン法又は、シュウ酸エチル法			計数条件	総アスベスト繊維数200本又は視野数50視野			計数アスベスト	直径3μm未満、長さ5μm-0.3μm以上、長さと直径比3:1以上				50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l	<p>報告書の作成(記録する項目)</p> <p>ア、測定結果 イ、測定時間 ウ、測定位置(測定高さとともに図面上に記載する。) エ、サンプリング条件(メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量) オ、マウンティング方法 カ、顕微鏡視野面積、計数視野数 キ、測定時(各測定場所ごと)天候、温度、湿度、外気の風速及び風向</p> <p>アスベスト含有吹付け材の除去</p> <p>・行う 除去方法は6.3.2)による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門事業者の仕様とする。</p> <p>除去物及び汚染物質等 処理方法 ※密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・セメント固化工</p> <p>アスベスト含有保温材の除去</p> <p>・行う 作業上の隔離 ・行う ・行わない</p> <p>アスベスト含有成形板の除去</p> <p>・行う</p> <p>7 その他</p> <p>1. 工事現場の環境改善について</p> <p>2. 産業廃棄物の取扱いについて</p> <p>産業廃棄物処理状況記録及び写真を次のように整備すること。</p> <p>(i) 搬出された産業廃棄物の処理状況記録</p> <p>① 処理の全部又は一部を委託した場合</p> <p>ア 収集運搬車両ごとの産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。)A票、B票、D票及びE票(建Ⅱの場合はB4票を加える。)の写し、建設廃棄物処理委託契約書の写し並びに搬出解体材の数量集計表</p> <p>イ 最終処分場の案内図及び処分状況の写真(中間処理にあっては中間処理施設の案内図及び中間処理状況の写真)</p> <p>② 請負者が自ら処理した場合</p> <p>ア マニフェストに準じた解体材の種類ごとの数量集計表</p> <p>イ 最終処分場の案内図及び処分状況の写真(中間処理にあっては中間処理施設の案内図及び中間処理状況の写真)</p> <p>③ 特別管理産業廃棄物の場合</p> <p>①又は②に準ずる。ただし産業廃棄物管理票とあるを特別管理産業廃棄物管理票と読み替える。</p> <p>(ii) 産業廃棄物の再資源化実施状況記録</p> <p>再生資源利用促進実施措置に記載する事項</p> <p>発生量、搬出先名称、区分、施工条件の内容、搬出先名称、運搬距離、搬出先の種類等</p> <p>(iii) 写真</p> <p>① 工事着手前の現場全景、周辺及び対象建築物等の現況写真</p> <p>② 仮設物、安全措置状況及び工程写真(除却作業状況、埋設配管等及び基礎掘削は入念に撮影すること。)</p> <p>③ 使用機械類</p> <p>④ 産業廃棄物収集運搬車両への積込み時及び積降し時の写真</p> <p>⑤ しゅん工時の全景写真(着手時と同一アングルとする。)</p> <p>⑥ その他監督職員の指示による</p> <p>3. 騒音、振動調査</p> <p>調査の有無 ※無 ・有 調査方法については設計図書による。</p> <p>4. 土壌調査</p> <p>調査項目 ・土壌調査 ・土壌調査(含有量試験) ・揮発性有機化合物抽出調査 ・廃棄物含有調査 土壌汚染に係る環境基準に準拠すること。 調査箇所については設計図書による。</p> <p>⑤ 官公庁その他への届出手続等</p> <p>(1) 工事の着手、施工、完成にあたり、関係機関への必要な手続等を遅延なく行う。 (2) 前項に規定する届出手続等を行うにあたっては、届出内容についてあらかじめ監督職員に報告する。</p> <p>⑥ 疑義に関する協議等</p> <p>設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で、設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、監督職員と協議する。</p> <p>⑦ 文化財その他の埋蔵物</p> <p>工事の施工にあたり、文化財その他の埋蔵物を発見した場合は、直ちにその状況を監督職員に報告する。その後の措置については、監督職員の指示に従う。また、当該埋蔵物の発見者としての権利は、法律の定めるところにより、発注者が保有する。</p> <p>8. 埋蔵文化財調査</p> <p>「周知の埋蔵文化財包蔵地」の該当</p> <p>掘削作業時の教育委員会等の立会い</p> <p>埋蔵文化財調査の時期</p> <p>・該当する ・有 ・解体工事終了後</p> <p>・該当しない ・無 ・解体工事中</p>
除却対象建築物等	構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(㎡)	延面積(㎡)																																																																																																																																																																																																																																																																																							
屋内運動場の内外装の一部	S	1			195.12	195.12																																																																																																																																																																																																																																																																																							
図面番号	記号																																																																																																																																																																																																																																																																																												
建設廃棄物の種類	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・コンクリート																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・コンクリート及び鉄からなる建設資材(PC板、コンクリート平板、コンクリート二次製品)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○木材																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・木材(縮減)																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○アスファルトコンクリート																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○金風類																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・小形二次電池																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・蛍光灯ランプ、HIDランプ																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・硬質塩化ビニル管、継手																																																																																																																																																																																																																																																																																													
名称	仕様	数量	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																										
名称	仕様	数量	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																										
名称	仕様	数量	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																										
名称	仕様	数量	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																										
分別調査を行う特別管理産業廃棄物等の種類	採取する部位又は箇所等	採取する数量	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・ 図示	・ 箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 図示	・ 箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 図示	・ 箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 図示	・ 箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																												
特別管理産業廃棄物の種類	仕様	数量	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																										
回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類	対象機器名称	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																											
材料名	調査方法(1材料あたりの試料数:3サンプル)																																																																																																																																																																																																																																																																																												
外壁 アクリルリシン	※定性分析 ・定量分析																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	※定性分析 ・定量分析																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	※定性分析 ・定量分析																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	※定性分析 ・定量分析																																																																																																																																																																																																																																																																																												
測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・測定1	処理作業前	処理作業室内	各点	—																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・測定2	処理作業前	施工区画周辺又は敷地境界	計点	—																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・測定3	処理作業中	処理作業室内	各点	—																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・測定4	処理作業中	出入口	各点	空気の流れを確認																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・測定5	処理作業中	負圧・除じん装置の排出口(処理作業室外の場合)	各点	除じん装置の性能確認																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・測定6	処理作業中	施工区画周辺又は敷地境界	計点	—																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・測定7	処理作業後(作業発生中)	処理作業室内	各点	—																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・測定8	処理作業後(作業発生中)	施工区画周辺又は敷地境界	計点	—																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・測定9	処理作業後(作業発生中)	処理作業室内	各点	—																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・測定10	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計点	—																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	測定3	測定1,2,4,6,7,8,9,10	測定5																																																																																																																																																																																																																																																																																										
計数機器	位相差顕微鏡																																																																																																																																																																																																																																																																																												
ノズル径	25mm		47mm																																																																																																																																																																																																																																																																																										
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min																																																																																																																																																																																																																																																																																										
試料の吸引時間	5min	120min	240min																																																																																																																																																																																																																																																																																										
試料の透明化	アセトノートリアセチレン法又は、シュウ酸エチル法																																																																																																																																																																																																																																																																																												
計数条件	総アスベスト繊維数200本又は視野数50視野																																																																																																																																																																																																																																																																																												
計数アスベスト	直径3μm未満、長さ5μm-0.3μm以上、長さと直径比3:1以上																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l																																																																																																																																																																																																																																																																																										
<p>MEMORANDUM</p>	<p>TITLE</p> <p style="text-align: center;">令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事</p>	<p>ITEM</p> <p style="text-align: center;">解体工事仕様書</p>	<p>SCALE</p>	<p>DATE</p> <p style="text-align: center;">H32.2</p>	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">箕輪町</p> <p style="text-align: right;">SHEET NO.</p> <p style="text-align: right;">A-05</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																								



【施工条件】

- ・本工事は小学校の屋内運動場の一部を改修する工事であり通常の学習活動を行っている中で居ながら工事である為、児童の安全確保・授業中の騒音等に特に留意する。
- ・工事期間中は学童クラブの活動は別室にて予定しているため、仮間仕切等の仮設は不要とする。ただし工事範囲以外の部分との取合部の工事は土日祝日等の休校日または放課後の施工とする。
- ・小学校の登下校時と工事車両の搬出入が重複しないよう時間帯の分離を図ると共に必要により誘導員等を配置し安全確保に努める。
- ・解体撤去工事等の騒音を伴う工事については、土日祝日等の休校日の作業を基本とする。ただしやむをえない場合は学校側を含め監督員・監理者と協議を行い決定する。
- ・停電及び断水を伴う工事については、事前に学校側と協議を行い日程を確認すること。



付近見取図

面積表					
	改修建物(体育館)	改修部分	左記計	その他建物	合計
敷地面積					19,721.99 ㎡
建築面積	1,426.96 ㎡	195.12 ㎡	1,622.08 ㎡	3,886.52 ㎡	5,508.60 ㎡
延べ面積	1階	1,295.39 ㎡	195.12 ㎡	3,556.64 ㎡	5,047.15 ㎡
	2階	71.26 ㎡	0 ㎡	2,005.45 ㎡	2,076.71 ㎡
	合計	1,366.65 ㎡	195.12 ㎡	1,561.77 ㎡	5,562.09 ㎡

【概略工事工程表】

工事種目	1					2					3				
	1	7	14	21	30	1	7	14	21	30	1	7	14	21	30
仮設工事	準備(書類整備・施工計画等)					仮設事務所等整備					外部足場				
解体撤去工事	請負契約締結					仮囲い					内部足場				
テラス庇工事						外壁・外部建具					内部仕上				
鉄骨工事						外壁下地					庇設置				
内外装工事						外部建具製作					外部建具・外壁				
塗装工事											内部LGS・ホート・クマ				
家具・ユニット工事											内部				
電気設備工事						仮設・撤去					製作				
機械設備工事						仮設・撤去					製作				
											配線・器具付け				
											配管配線・機器設置				

【改修工事建物概要】

建物名称	箕輪町北小学校屋内運動場
住所	箕輪町大字中箕輪475
用途地域	都市計画地域内 区域区分非設定
防火地域	指定なし
敷地面積	19,721.99 m ²
建築面積	5,508.60 m ²
延べ面積	7,123.86 m ² (屋内運動場 1,366.65m ² 内改修部分195.12m ²)
建ぺい率	27.93% / 60%
容積率	36.12% / 200%
防火性能	ロ-2準耐火建築物
最高の高さ	17.80 m
最高の軒高	11.83 m

解体特記事項	・改修工事にかかわる施工範囲は余幅30cmを標準とする。ただし定尺物等については適宜とする。
--------	--

【仕上特記事項】

塗装凡例	建材凡例
SOP・・・合成樹脂調合ペイント3回塗り EP・・・合成樹脂エマルジョンペイント3回塗り VE・・・塩化ビニル樹脂エナメル3回塗り FUE・・・フッ素樹脂エナメル3回塗り UC・・・ウレタン樹脂ワニス3回塗り CL・・・クリヤラッカー3回塗り(3分艶) OS・・・オイルステイン2回塗り AE・・・アクリル樹脂エナメル(トップコート)	GB-R・・・石膏ボード GB-S・・・シーリング石膏ボード GB-F・・・強化石膏ボード FK・・・ケイ酸カルシウム板 GW・・・グラスウール HGW・・・高性能グラスウール RW・・・ロックウール FS・・・複層ビニル床シート TS・・・単層ビニル床シート FT・・・複層ビニル床タイル TT・・・単層ビニル床タイル KT・・・コンポジションビニル床タイル

【改修工事概要】


1.内装改修	・現ミーティング室及び器具庫1を学童クラブ室を3室に改修する。 またそれに伴う建具の取替及び新設と内装改修をおこなう。 ・新設学童クラブ室(3)に収容人員に対応する児童ロッカーの新設 ・学童クラブ(1)、(2)間に建具を新設しフレクスの使用に対応する。
2.外部改修	・学童クラブ室南側屋根ハ「ラ」部に7mm製底を新設 ・既存アルミサッシの取替に伴う外壁面の改修
3.外構改修	・なし
4.電気設備改修	・今回改修工事に伴う電気設備機器の整備及び更新 ・新規照明設備のLED化
5.機械設備改修	・今回改修工事に伴う機械設備の整備及び更新 ・既存冷房機器(2台)及び新規空気調和設備(冷暖房)の整備
6.その他	

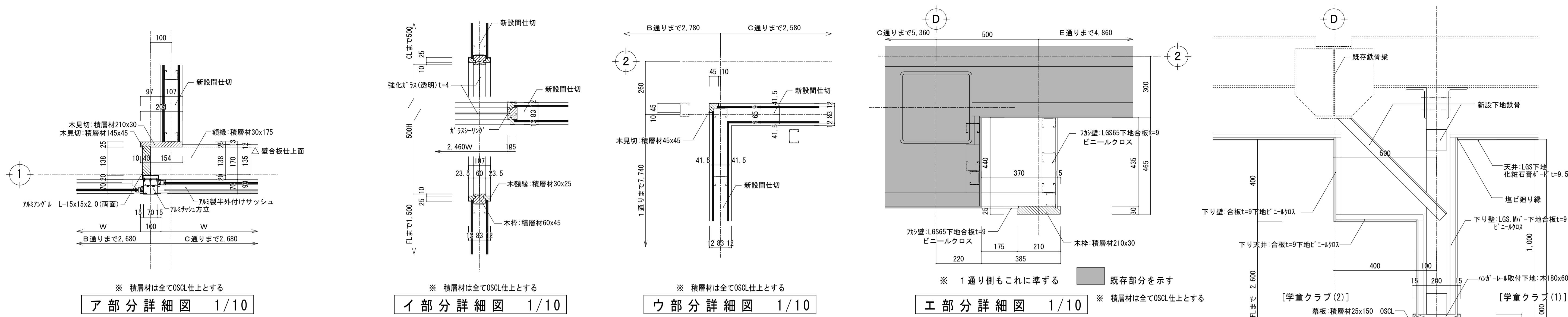
【外部仕上表】

部 位	現況仕上名	改修工事	
既存部分	基礎	化粧合板型枠コンクリート打ち 補修	
	外壁	鉄骨下地 透湿防水シート張り 窯業系サイディング張りt=16 通気工法	外部建具取替に係る部分:撤去及び復旧
	屋根	フッ素鋼板t=0.6 ハゼ式折板葺きH90 (フナエ-1t4裏貼り)	
	軒天	有孔無孔ケイ酸板t6 目透し張り EP塗装	
	外部建具	中低層用カラ-アルミ製サッシ	南面引き違い連窓取替(4か所)
	笠木	フッ素鋼板t=0.6 曲げ加工	
新設テラス	樋	軒樋:高圧木毛セメント板t20 コムアル-フイック 塩ビ被覆鋼板t0.4 縦樋:カラ-VP100φ	
	庇	アルミ製柱無タイプ(積雪50cm型)間口3.66x奥行1.18x6連(LIXIL:スピーネF型同等品) 【下地補強:PL-4.5-300x600/箇所DP】	

【内部仕上表】

室名	部 位	床			幅 木			壁			天 井			備考・その他
		仕 上			高さ	下地	腰壁仕上		壁仕上	下地	仕 上		廻線	
現況	器具庫1	土間コンクリート金コ下地 長尺塩ビ床シート2.0 撤去			105	LGS	合板t9張り 一部撤去	合板t9張り 一部撤去	LGS	化粧石膏ボードt=9.5張り 一部撤去	塩ビ	3,000		棚撤去
	ミーティング室	土間コンクリート金コ下地 タイルカーペット貼り			105	LGS	合板t9捨張り 銘木合板t6 目透し張り	合板t9張り ビニルクロス貼り一部撤去	LGS	化粧石膏吸音ボードt=9.5張り 一部撤去	塩ビ	3,000		カーテン(レース+レースマット)一部撤去 フック・イオンカーテン撤去 間仕切り一部撤去(建具共)
	男子更衣室	土間コンクリート金コ下地 複層塩ビ床タイルt=2.5			75	LGS	合板t9張り一部撤去 ビニルクロス貼り一部撤去	同左	LGS	化粧石膏吸音ボードt=9.5張り	塩ビ	2,600		間仕切り一部撤去
改修後	学童クラブ(1)	既存のまま 一部補修			105	LGS	(新設間仕切部分)合板t9下地 銘木合板t=6 目透し張り	(新設間仕切部分)合板t9下地 ビニルクロス貼り	LGS	既存のまま 一部補修	塩ビ	3,000		カーテンル復旧 間仕切り一部新設(建具新設共)
	静養コーナー	既存のまま 一部補修			105	LGS	既存のまま 一部補修	既存のまま 一部補修	LGS	既存のまま	塩ビ	2,600		
	学童クラブ(2)	(旧器具庫部分)タイルカーペット敷 (現況部分)一部補修			105	LGS	(新設間仕切部分)合板t9下地 銘木合板t=6 目透し張り	(新設間仕切部分)合板t9下地 ビニルクロス貼り	LGS	既存のまま 一部補修	塩ビ	3,000		カーテンル復旧 間仕切り一部新設(建具共)
	学童クラブ(3)	タイルカーペット敷			105	LGS	(既存部分)既存合板t9下地 銘木合板t=6 目透し張り (新設間仕切部分)同上	(既存部分)既存合板t9下地 ビニルクロス貼り (新設間仕切部分)同上	LGS	既存のまま 一部補修	塩ビ	3,000		カーテンル新設 ホワイトボード新設・児童用ロッカー新設

 現況部分を示す



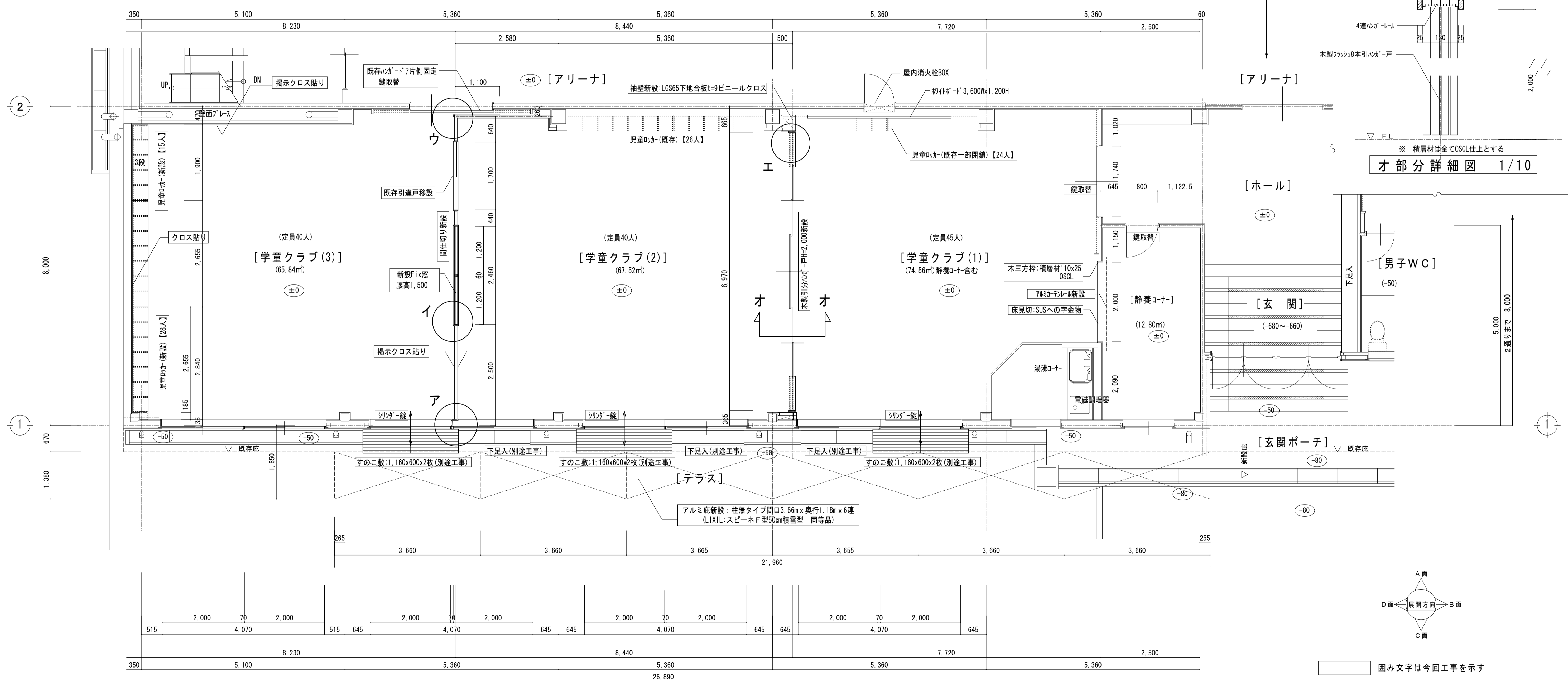
ア部分詳細図 1/10

イ部分詳細図 1/10

ウ部分詳細図 1/10

エ部分詳細図 1/10

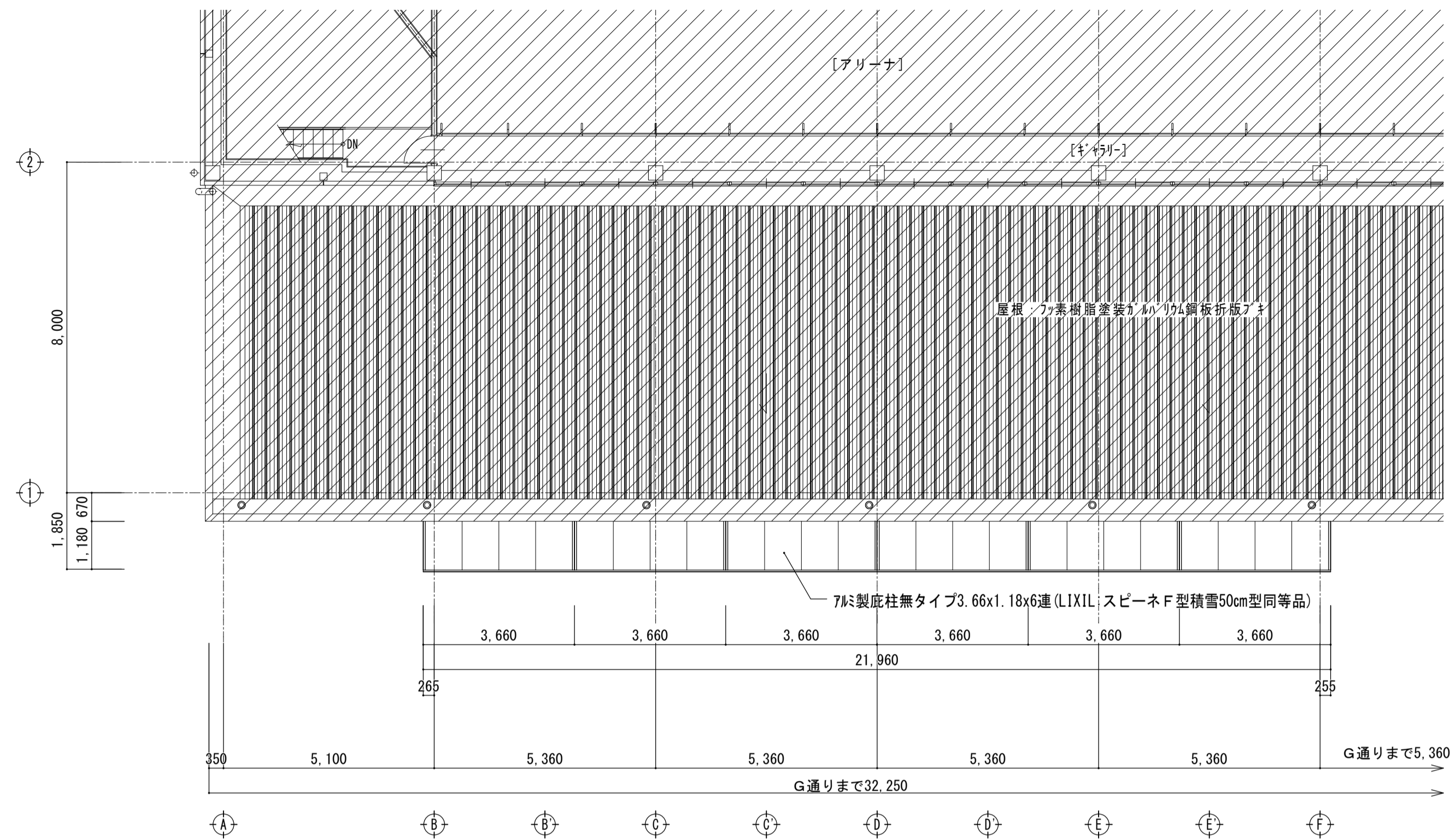
オ部分詳細図 1/10



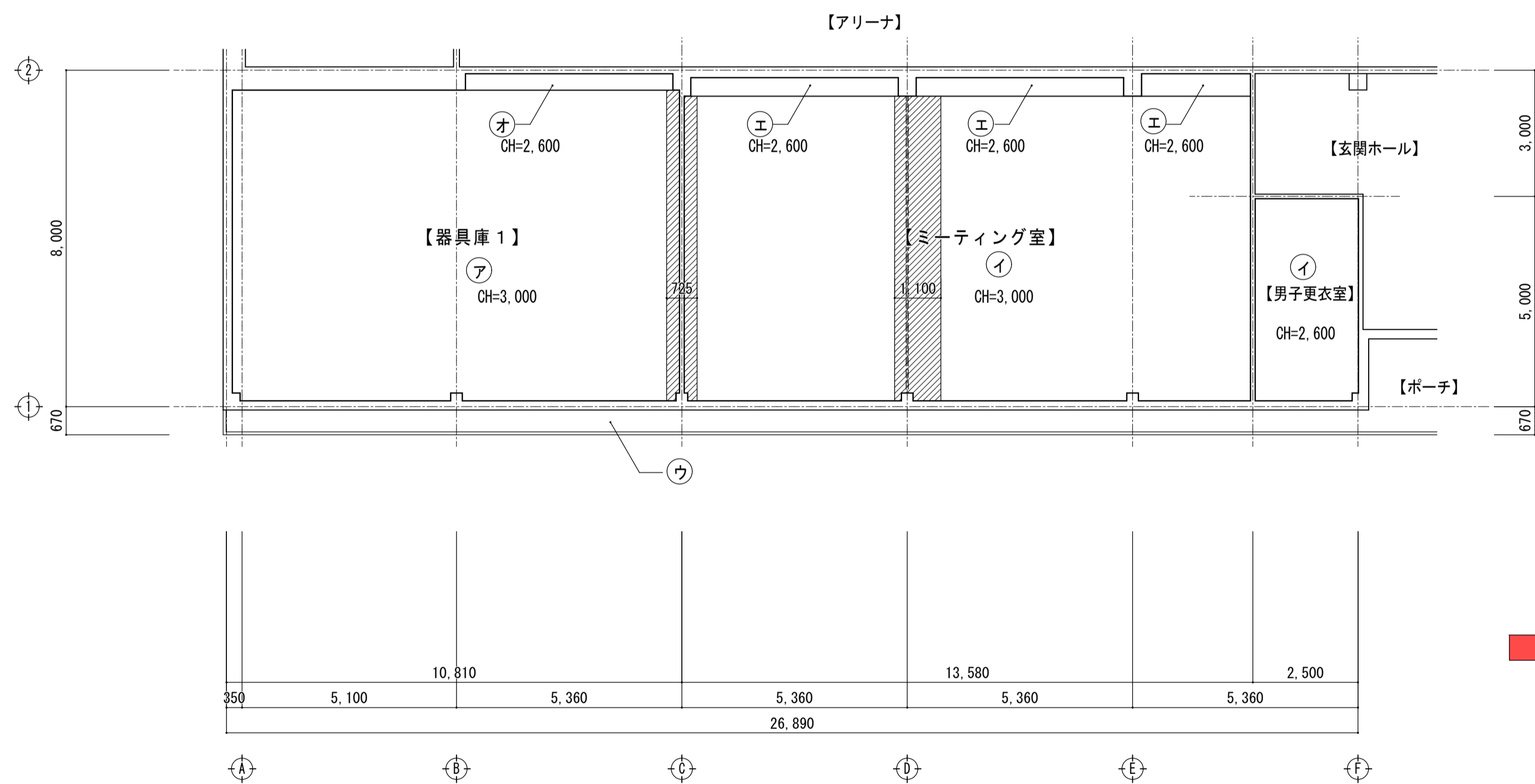
オ部分詳細図 1/10

改修後 平面詳細図 1/50

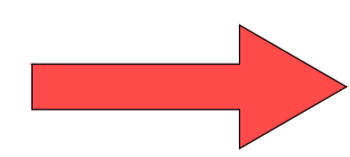
MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	<h1>箕輪町</h1>	SHEET NO.
	令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事	改修後平面詳細図・部分詳細図	1/50	H32.2		A-09
			A3縮小時は50%			



屋根伏図 1/100

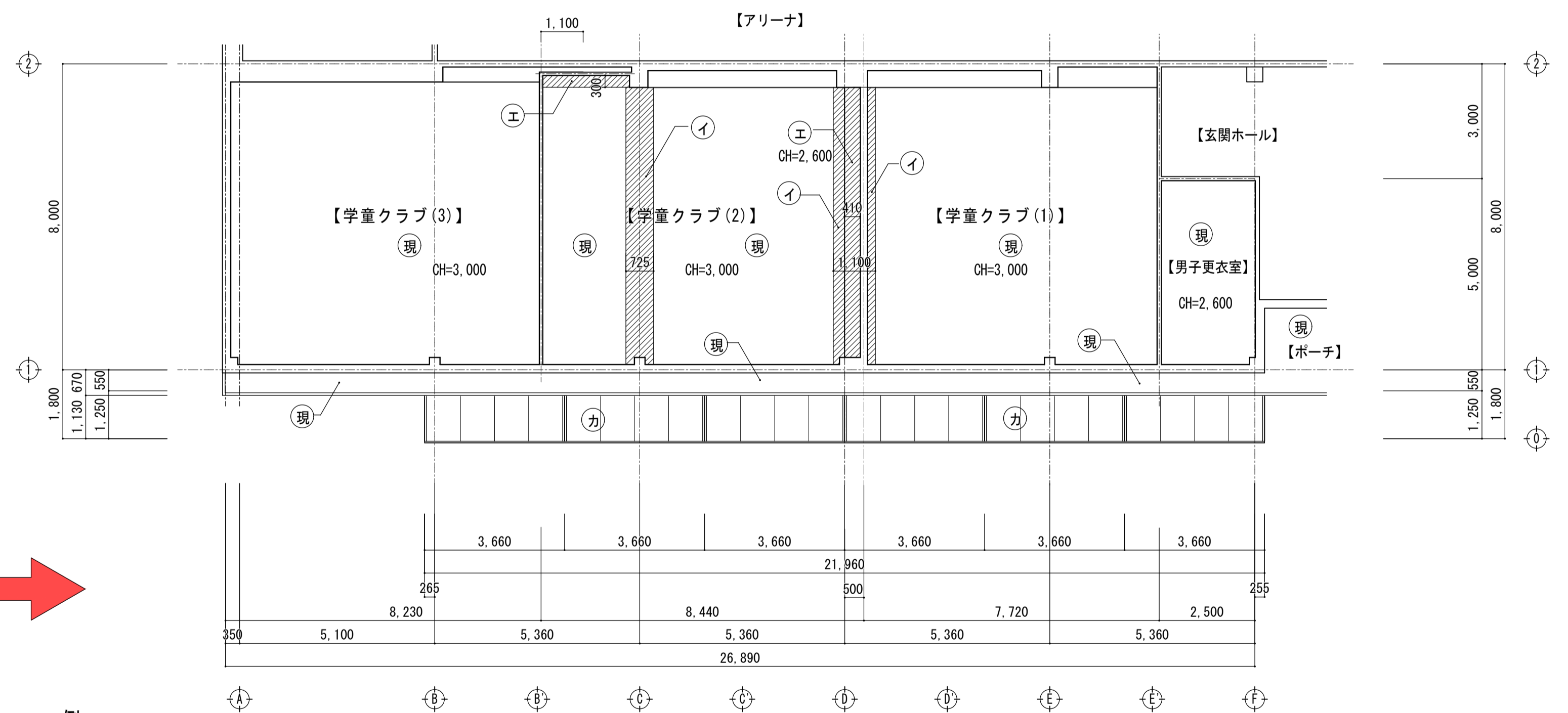


現況天井伏図 1/100

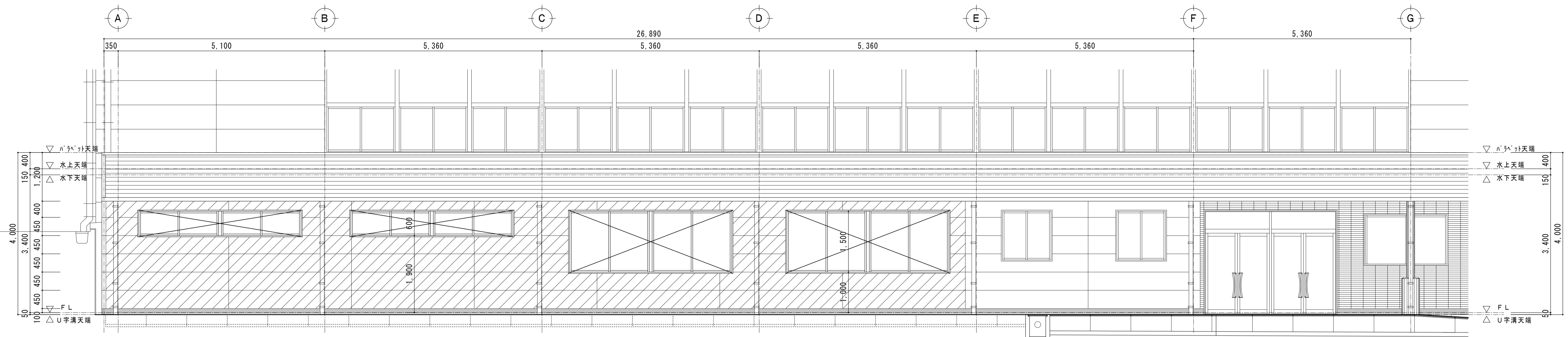


凡例

ア	化粧石膏ボードt=9.5	—	塩ビ廻り縁
イ	化粧石膏吸音ボードt=9.5	カ	7#製応柱無タイプ3.66x1.18x6連(LIXIL:スピーネF型積雪50cm型同等品)
ウ	ケイ酸カルシウム板t=6(一部有孔板)目透し張りEP		
エ	ビニルクロス貼り		
オ	合板t=9		
現	現況のまま		

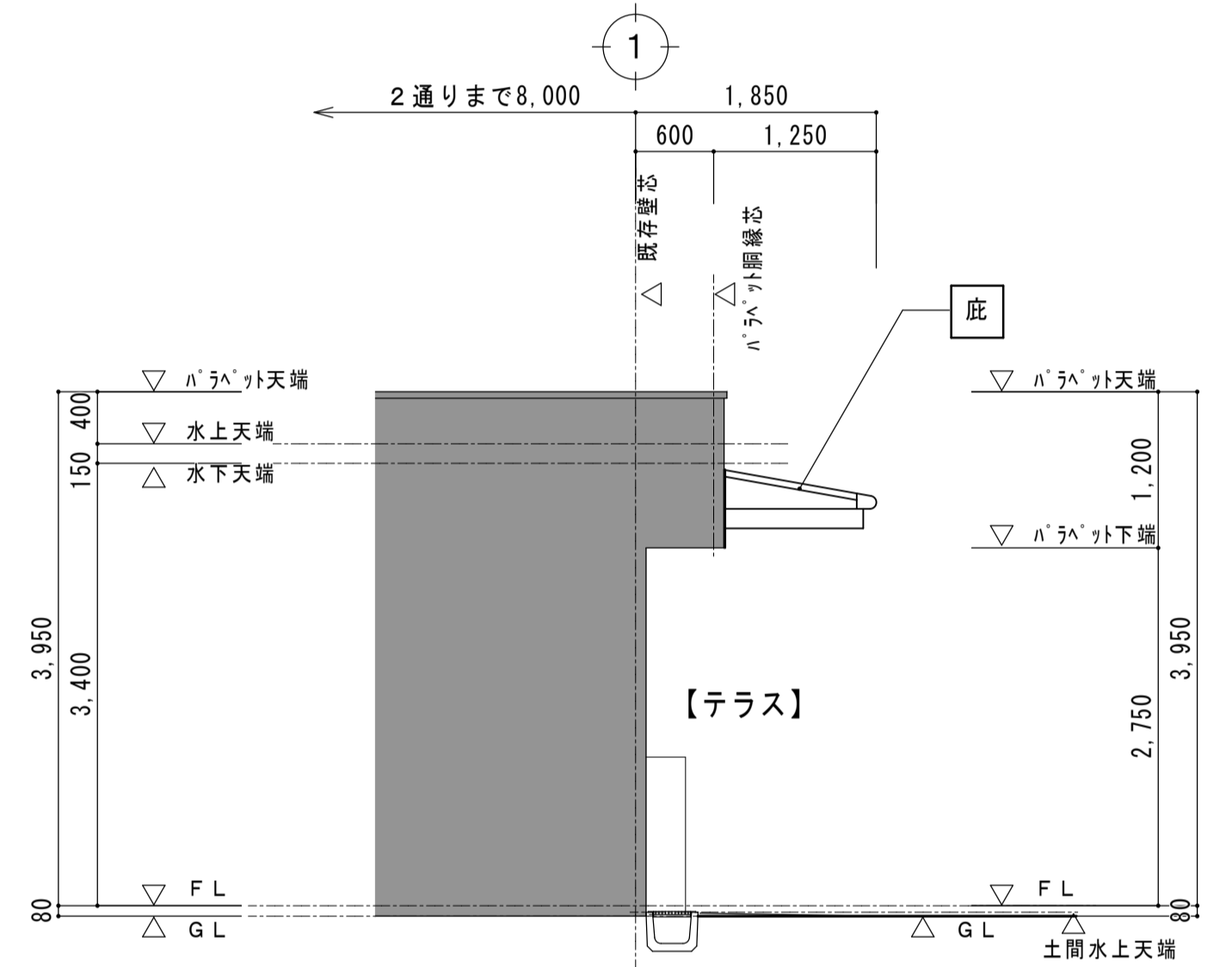


改修後天井伏図 1/100

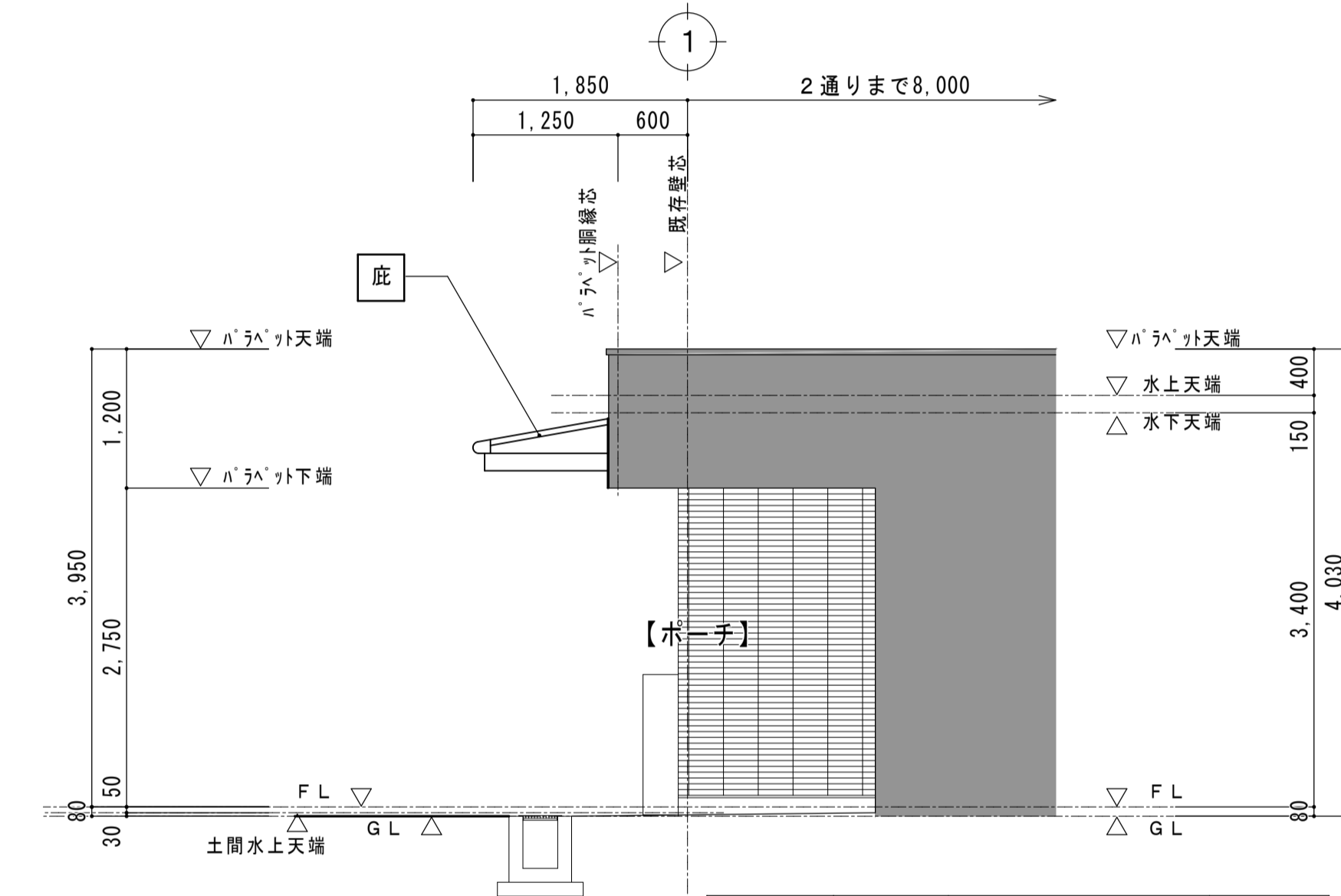


現況南立面図 S=1:50

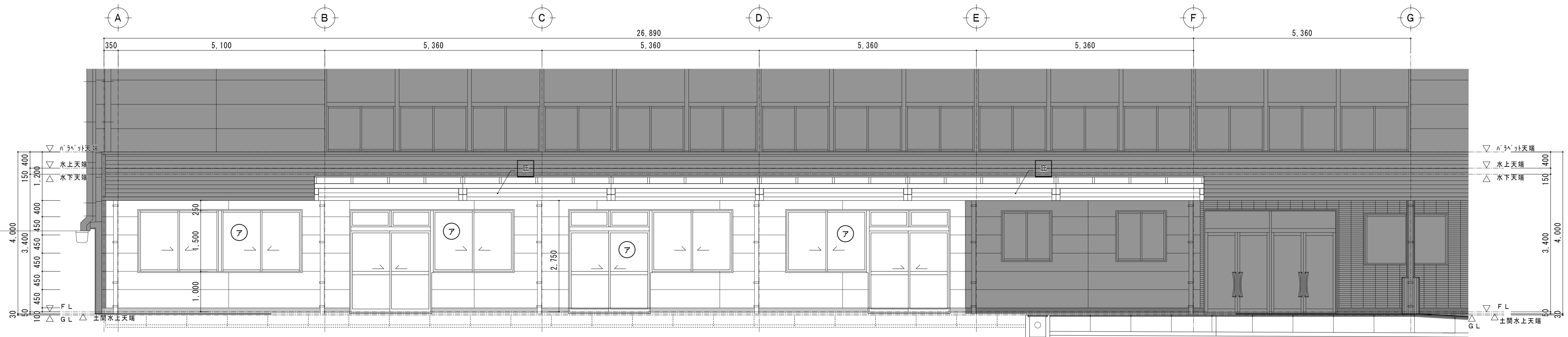
現況立面図 凡例		改修後立面図 凡例	
	外壁材撤去範囲(下地透湿シート共)		壁張替範囲: 窯業系サイディング t=16通気工法 (下地透湿シート・鉄骨胴縁補修共)
	撤去アルミ製建具(枠共)		新設アルミ製建具
			7#製底柱無タイプ間口3.66m×奥行1.18m×6連 (LIXIL:スピーネF型積雪50cm型同等品)
			非改修部分を示す



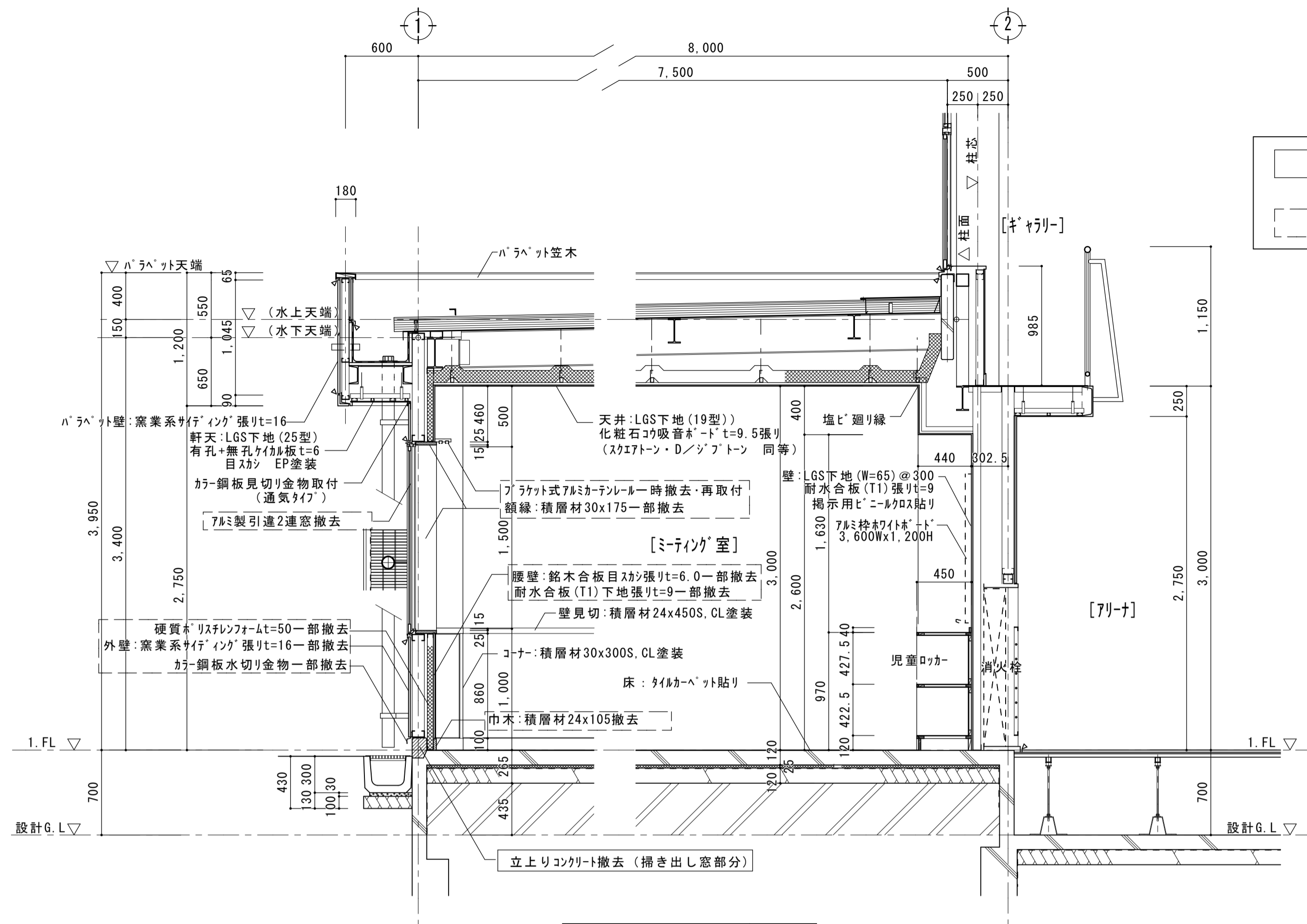
改修後西面立面図 S=1:50



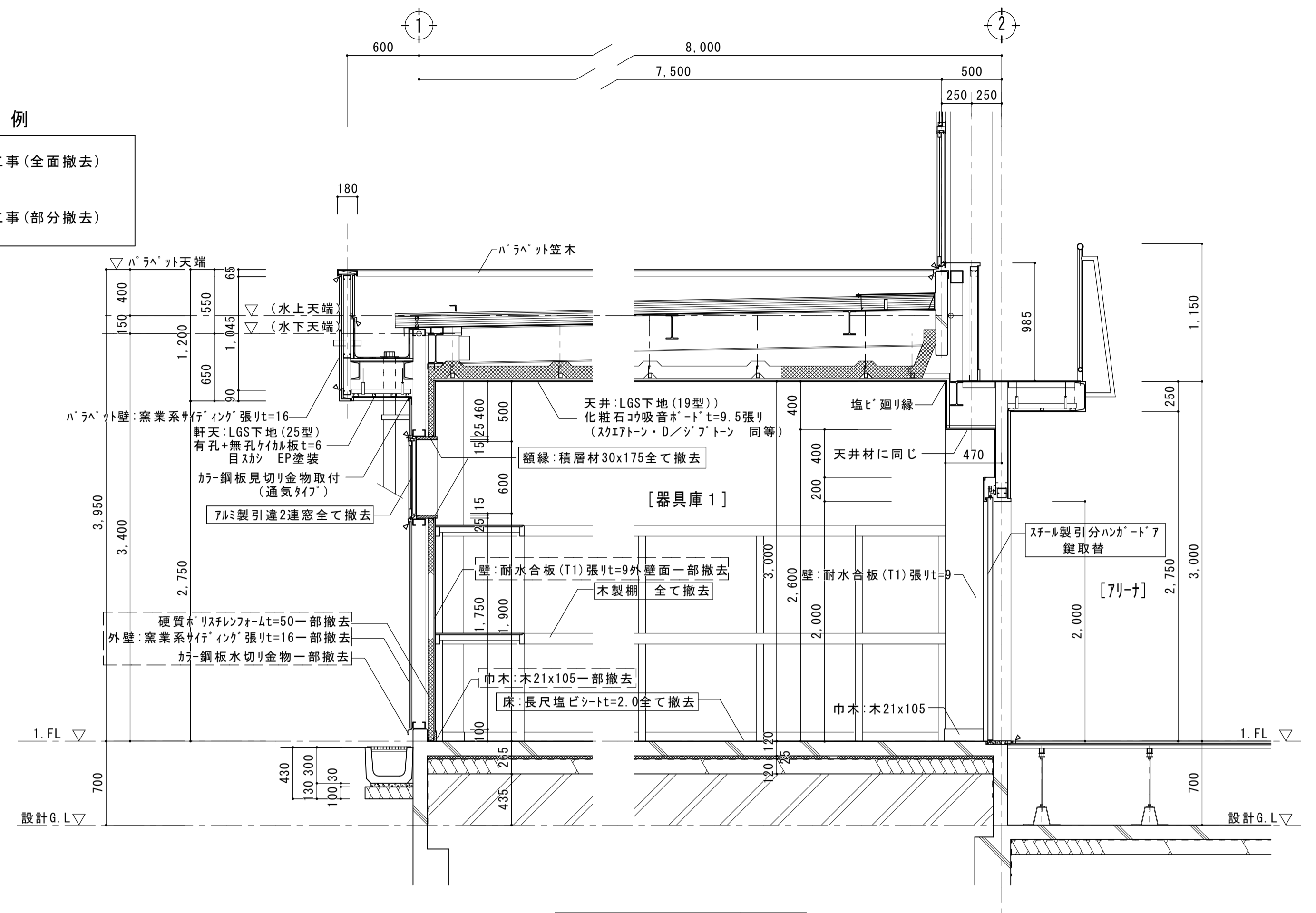
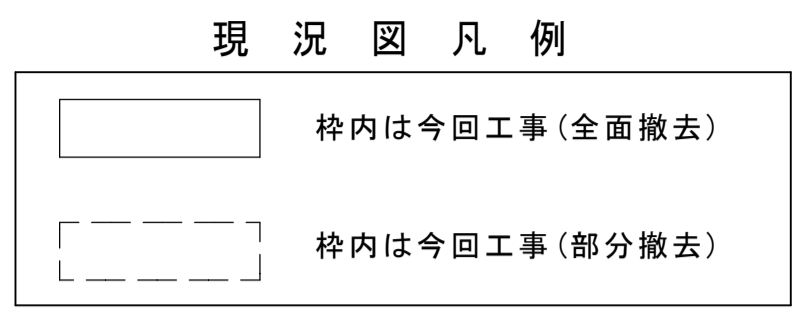
改修後東面立面図 S=1:50



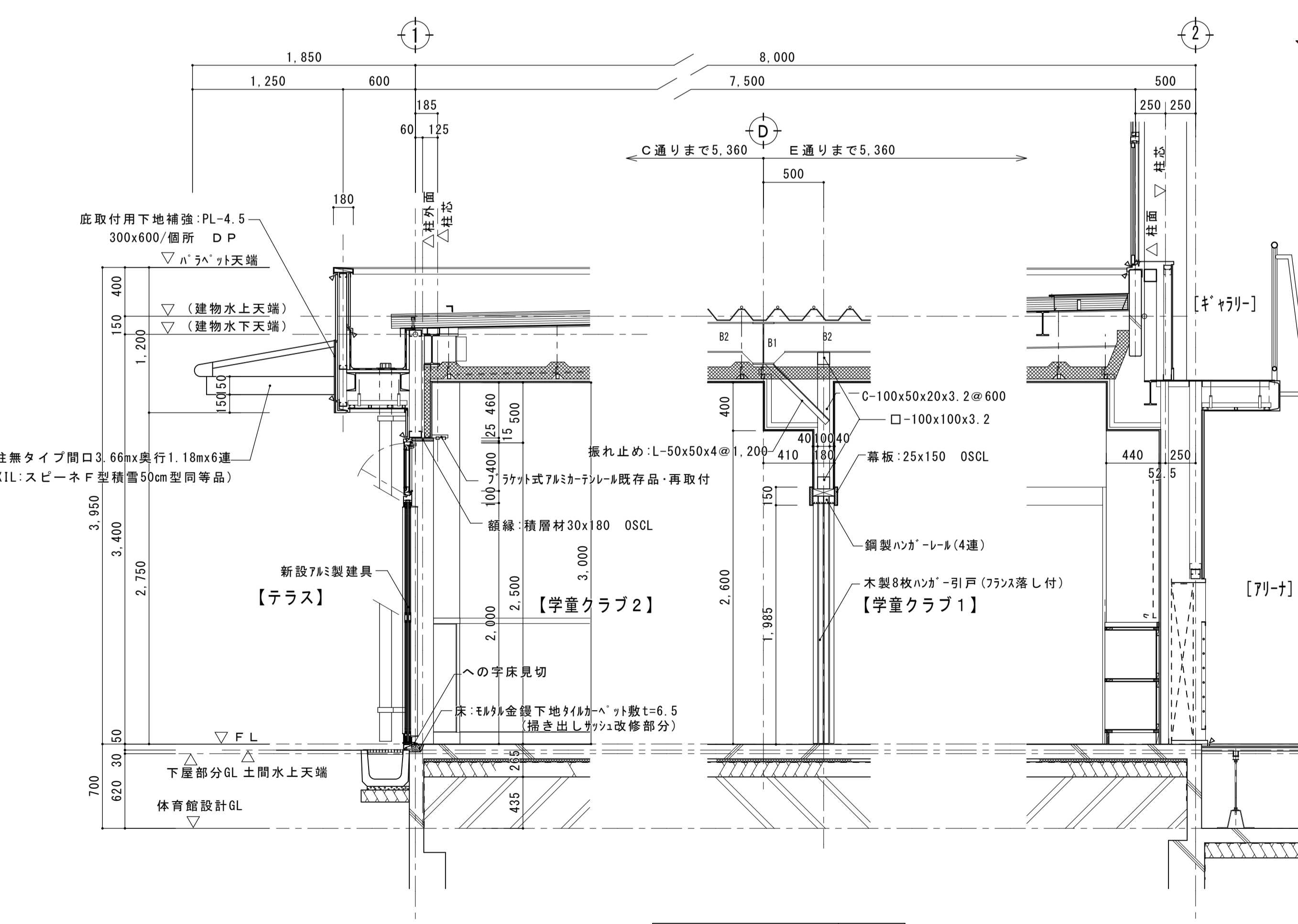
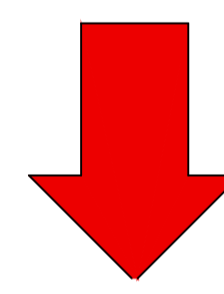
改修後南立面図 S=1:50



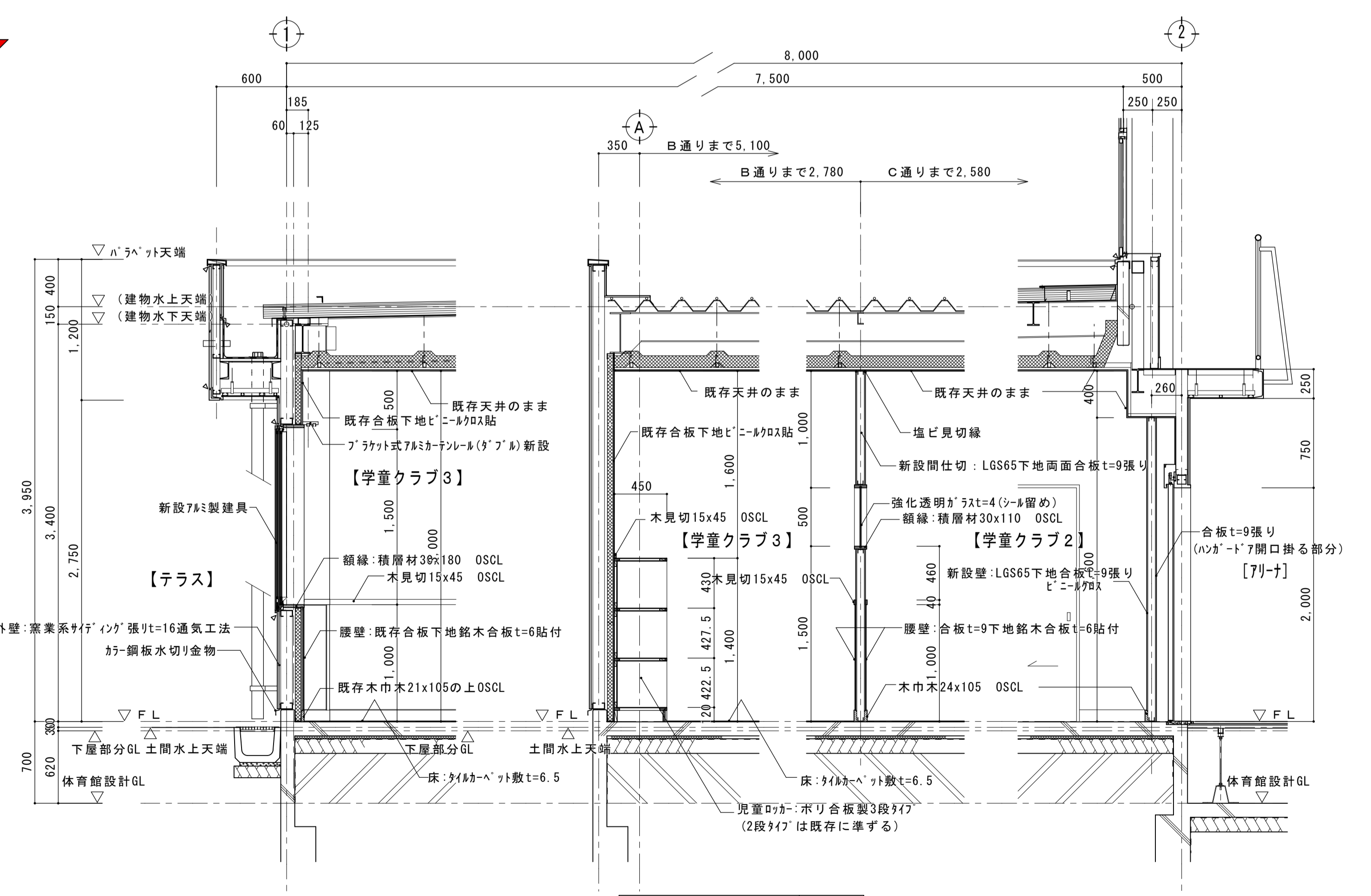
現況矩計図 S=1:30



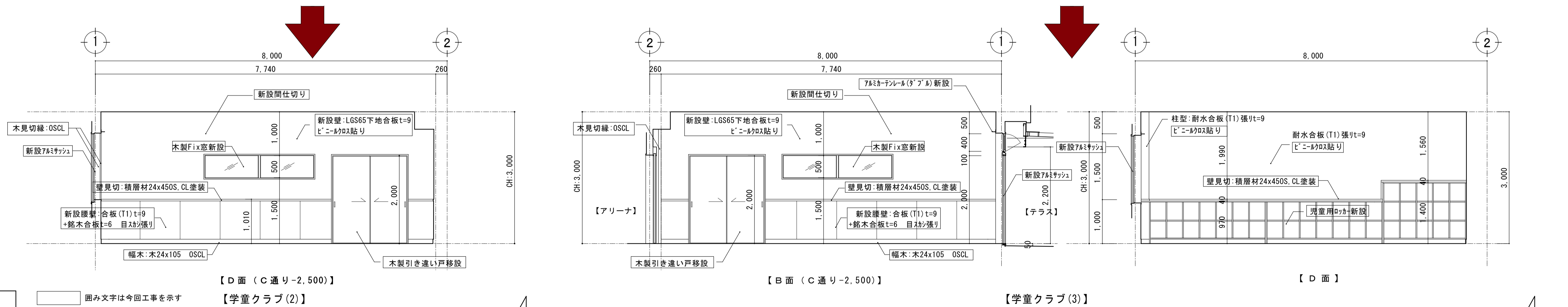
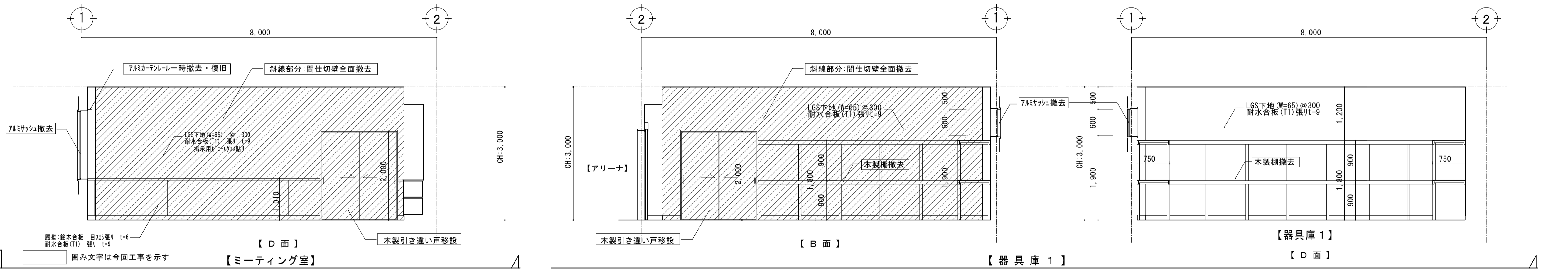
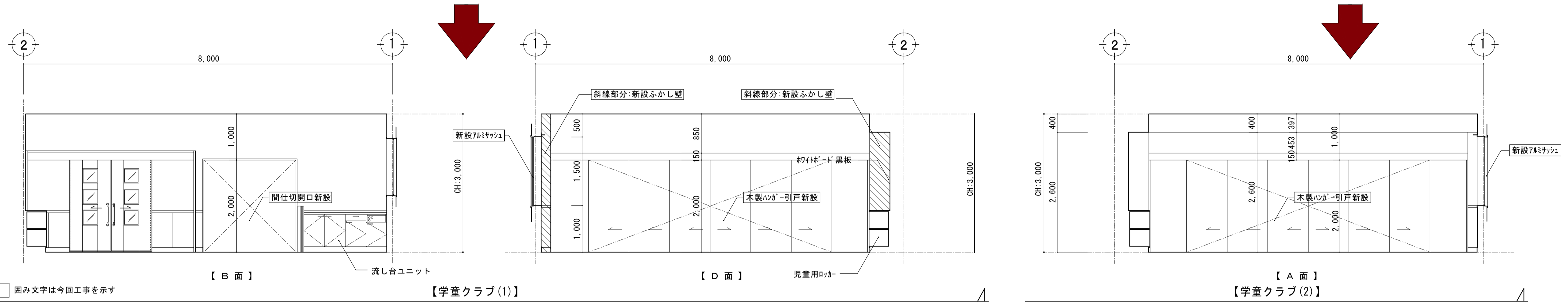
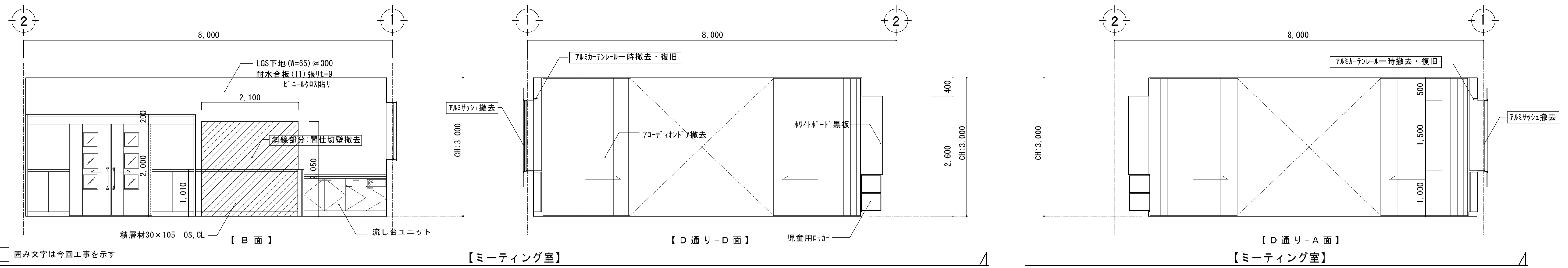
現況矩計図 S=1:30

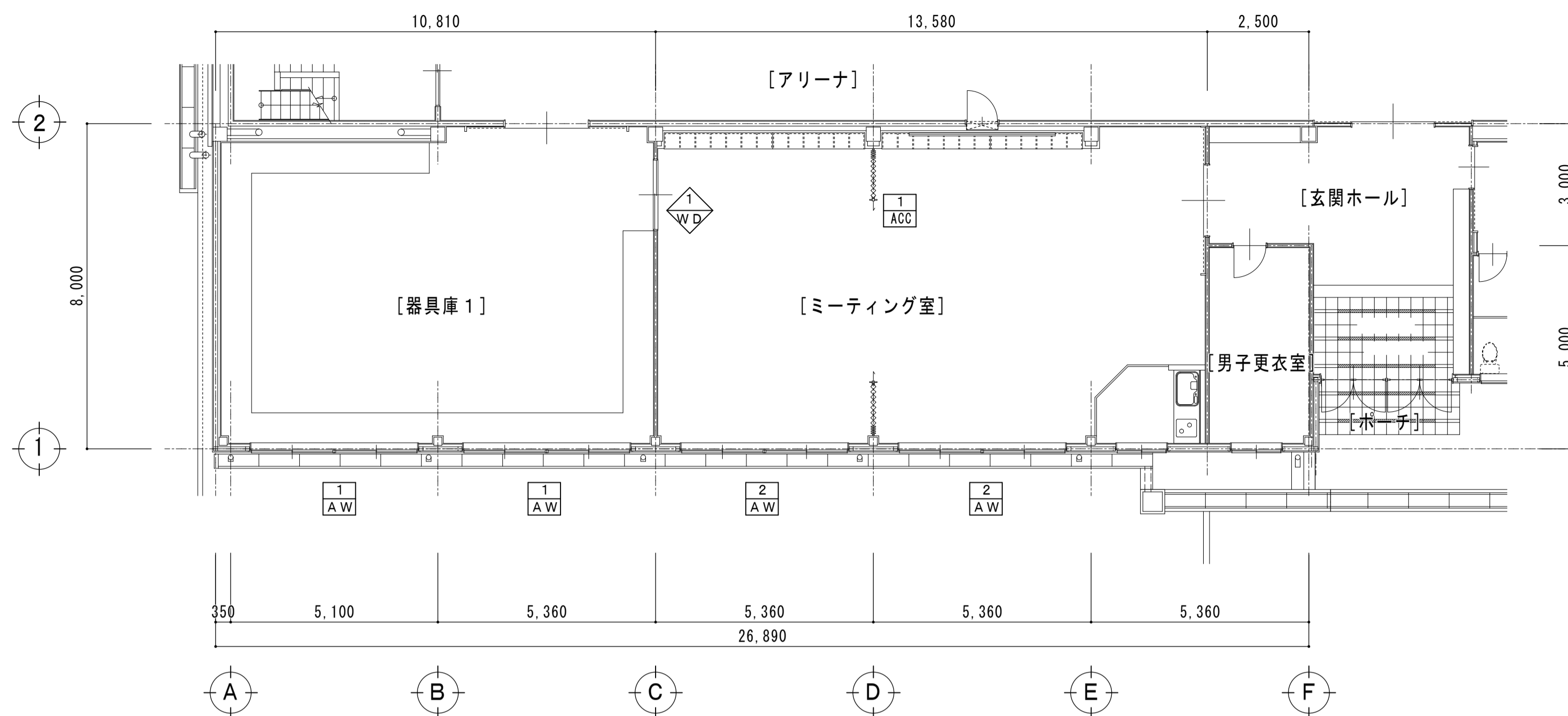


改修後矩計図 S=1:30

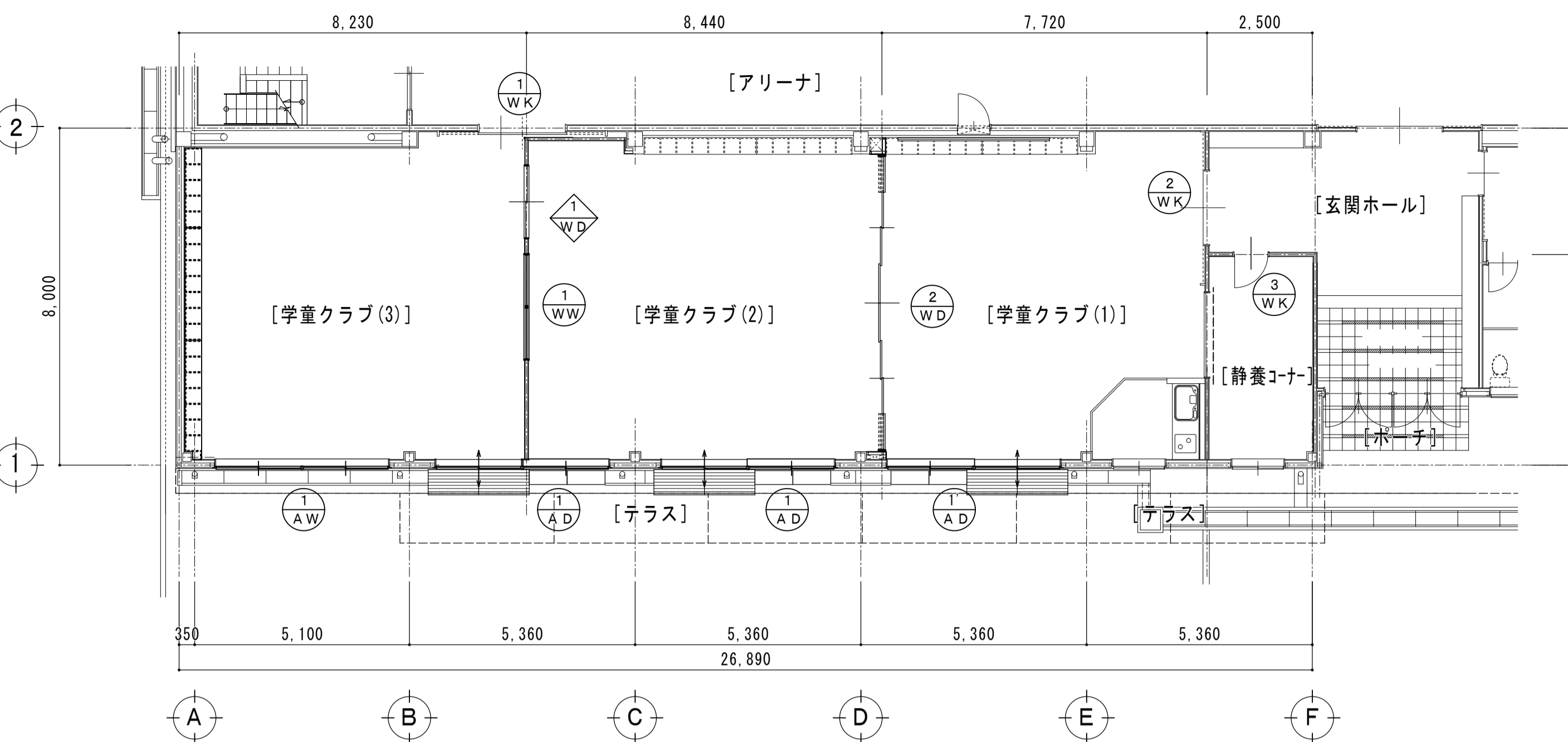


改修後矩計図 S=1:30





現況撤去建具キープラン 1/100



改修後建具キープラン 1/100

撤去建具表 S=1:50

符号	AW-1 2ヶ所 器具庫1	AW-2 2ヶ所 ミーティング室
姿図 (内観図)		
型式	鉄骨用半外付け7mmサッシ 引違い2連窓	鉄骨用半外付け7mmサッシ 引違い2連窓
ガラス	強化ガラス厚4mm	強化ガラス厚4mm
金物	付属金物一式	付属金物一式
備考	網戸付	網戸付

改修建具表 S=1:50

※WK-2, 3は既存木製建具のシリンダ錠取替工事

符号	AD-1, 1' 2ヶ所, 1か所 (AD-1'は左右反転形) 学童クラブ(2),(3), 学童クラブ(1)	AW-1 1ヶ所 学童クラブ(3)	WD-1 1ヶ所 学童クラブ(2)
姿図 (内観図)			
型式	鉄骨用半外付け7mmサッシ 腰パネル掃出し引違イ戸(フラットレール付) 欄間外倒し2連窓+引違窓	鉄骨用半外付け7mmサッシ 引違い2連窓	木製ポリ合板フラッシュ引き違い戸
ガラス	強化ガラス厚4mm	強化ガラス厚4mm	-
金物	7mmサッシウイッチ腰パネル・シリンダ錠・ラマ ワンタッチ開放式・付属金物一式	付属金物一式	引手・Uステンレール
備考	網戸付	網戸付	既存品再使用

符号	ACC-1 1ヶ所 ミーティング室	WD-1 1ヶ所 ミーティング室
姿図 (内観図)		
型式	引分7mmウイッチカーテン	木製ポリ合板フラッシュ引き違い戸
ガラス	-	-
金物	付属金物一式	引手・Uステンレール
備考	天上露出型レール	移設再使用有

符号	WD-2 1ヶ所 学童クラブ(1)	WW-1 1ヶ所 学童クラブ(2)	WK-1 1ヶ所 学童クラブ(3)
姿図 (内観図)			
型式	木製ポリ合板フラッシュ28引きハンガ-戸	2連木製ガラスFix窓	木製引分ハンガ-戸
ガラス	-	強化ガラス厚4mm	-
金物	引手・4連ハンガ-レール・フランス落し		引手・ハンガ-レール・シリンダ錠
備考		ガラス周囲シーリング	

MEMORANDUM

TITLE

令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事

ITEM

建具表

SCALE

1/100

1/50

A3縮小時は50%

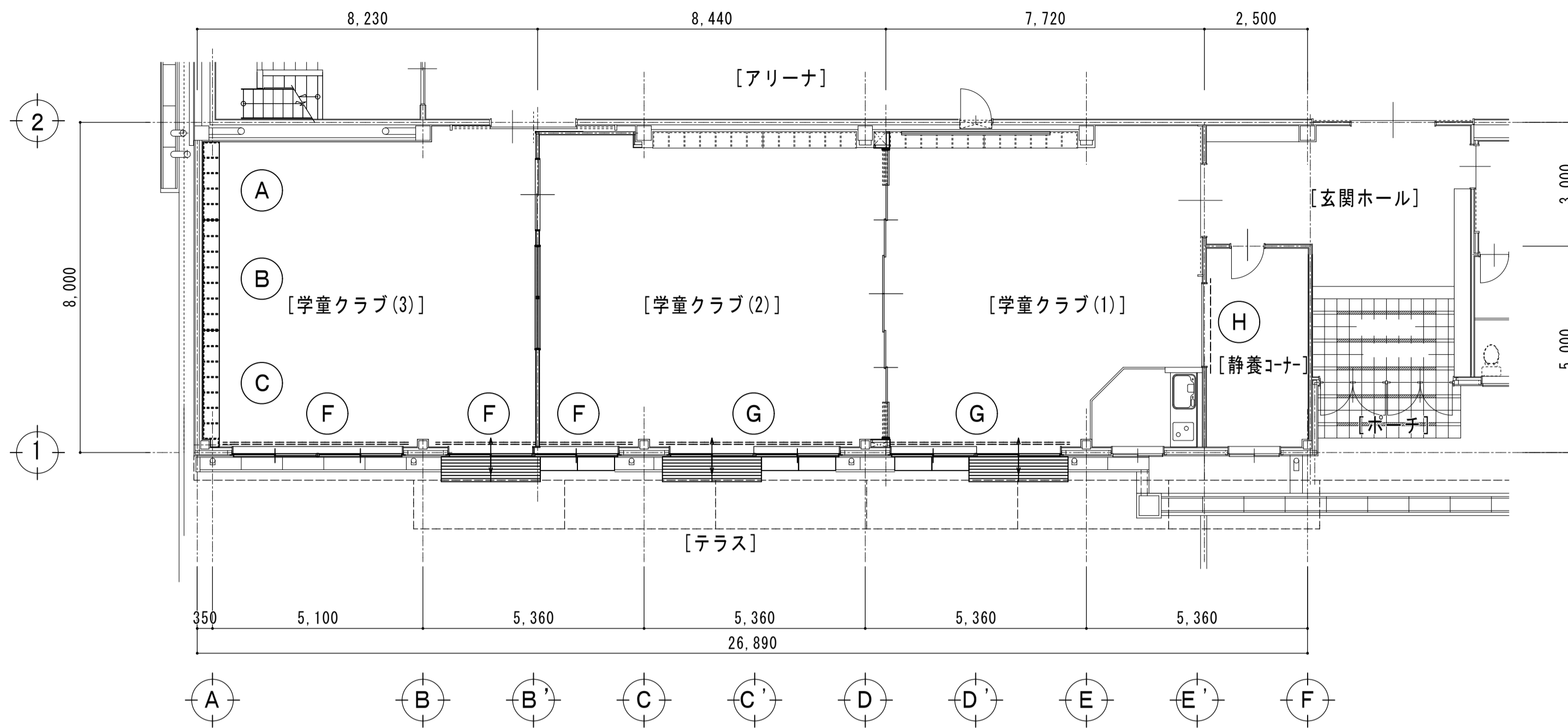
DATE

H32.2

箕輪町

SHEET NO.

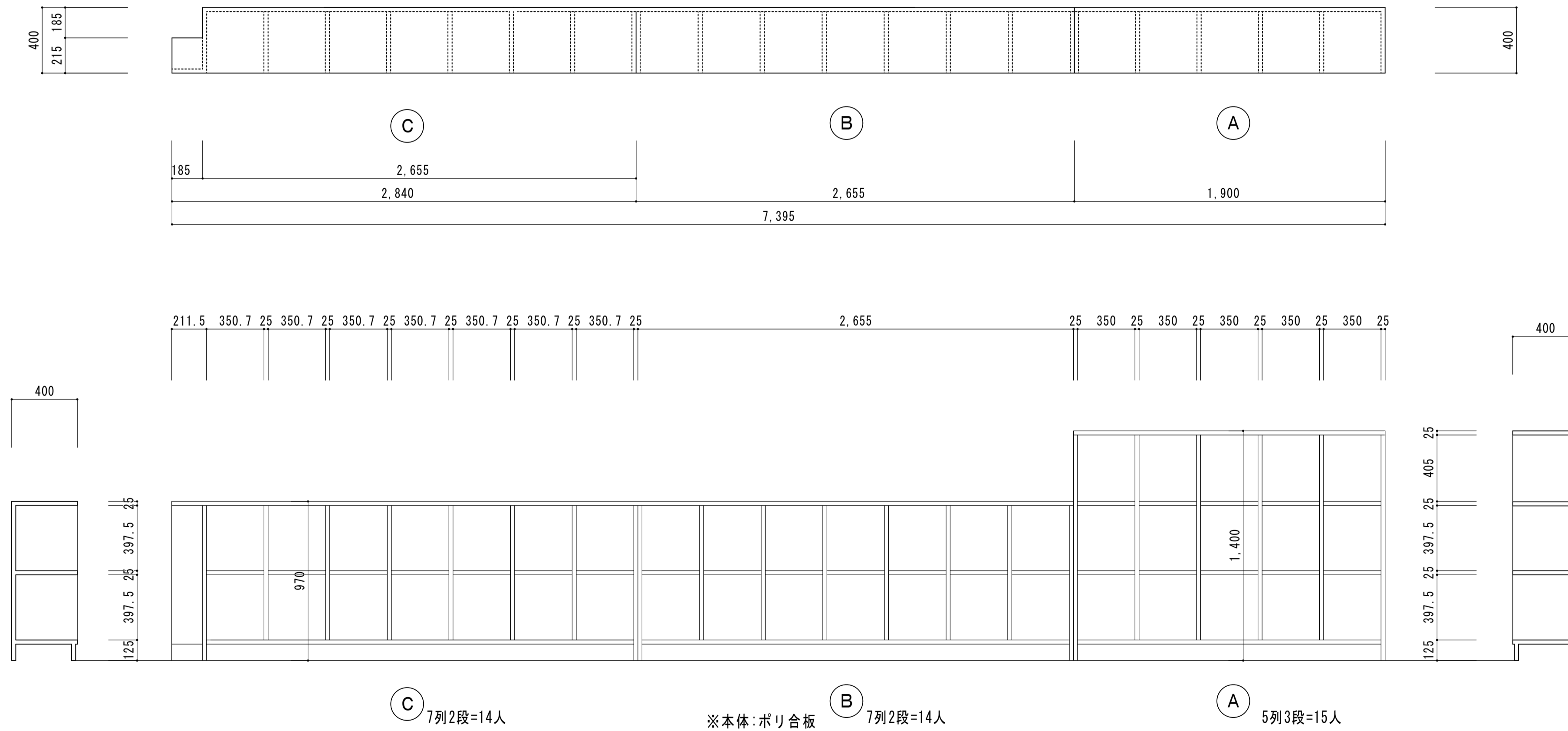
A-16



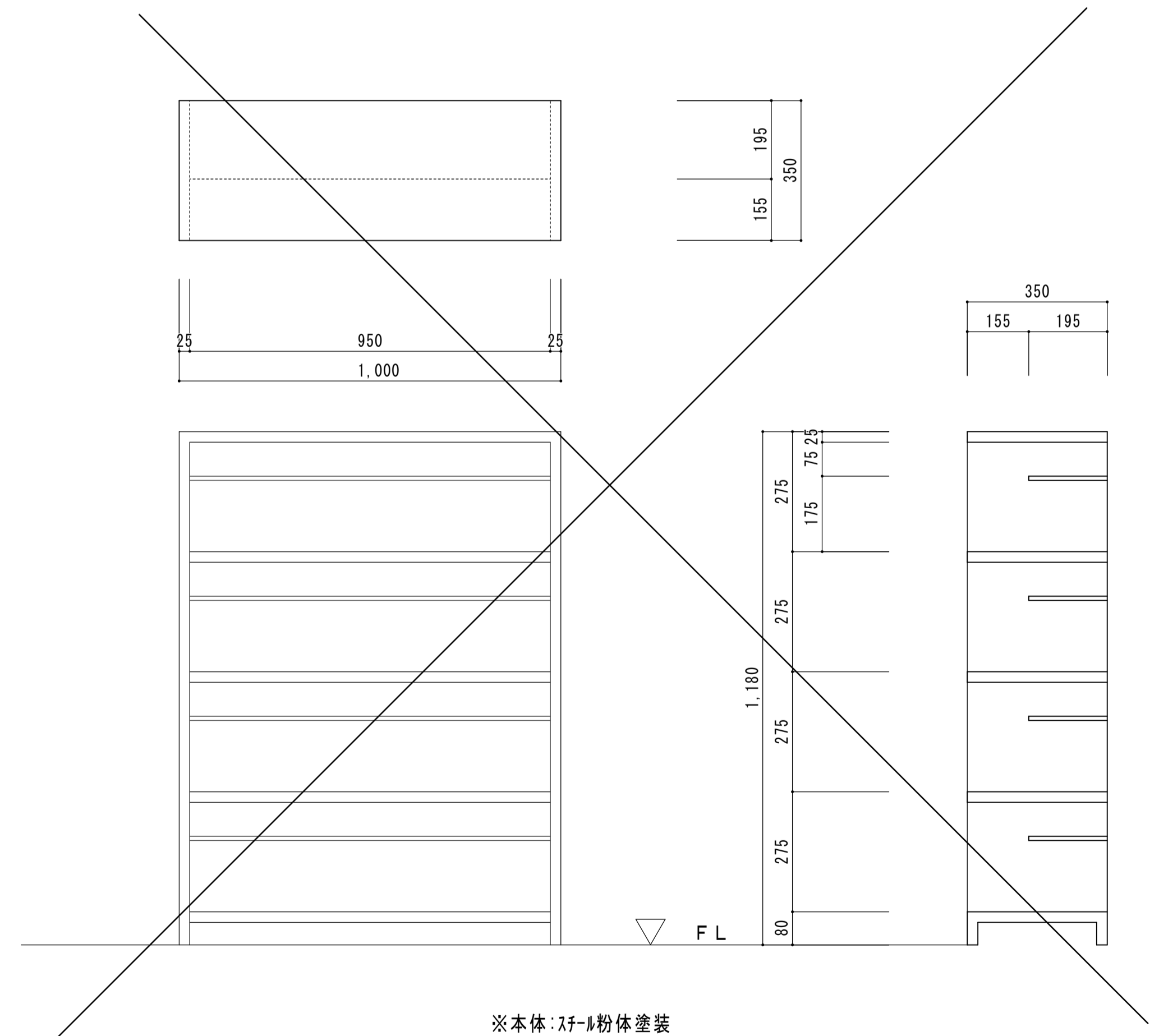
一般図 キープラン 1/100

凡 例

符 号	名 称	備 考
Ⓐ	児童用ロッカ(15人用)	ポリ合板製 1,900Wx400Dx1,400H 5列3段
Ⓑ	児童用ロッカ(14人用)	ポリ合板製 2,655Wx400Dx970H 7列2段
Ⓒ	児童用ロッカ(14人用)	ポリ合板製 2,655(2,840)Wx400Dx970H 7列2段
Ⓓ	スノコ(塩ビ樹脂製木調品) 別途工事	1,160Lx600Wx2枚/個所(テラト同等品)
Ⓔ	スチール製シューズボックス(4段オープンタイプ) 別途工事	1,000Wx350Dx1,180Hx2台/個所(オフィス同等品) ケージ購入法適用品・粉体塗装品
Ⓕ	アルミ製カーテンレール(ダブル)	フック型 L=開口幅+300程度
Ⓖ	既存アルミ製カーテンレール(ダブル)再取付	フック型
Ⓗ	アルミ製カーテンレール(シングル)	フック型 L=2,300



児童用ロッカ詳細図 1/20



シューズボックス詳細図(参考) 1/10

令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事

電気設備工事特記仕様書

1 工事概要

1 工事場所 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪 4 7 5

2 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
北小学校屋内運動場	S	2	1,492.39	(7)	棟床部分195.12㎡

3 工事種目 (○印のついたものを適用する。)

工事種目	項目	建物別及び屋外			
		小学校			
電灯設備		○			
動力設備	幹線、分岐	○			
電気熱設備	幹線、分岐				
雷保護設備					
受変電設備					
電気貯蔵設備					
静止形電源設備	直流電源装置				
発電設備					
構内情報通信網設備	LAN				
構内交換設備	配線・機器別途				
情報表示設備	時計設備				
映像・音響設備					
拡声設備		○			
誘導支援設備	トイレ呼出し設備				
テレビ共同受信設備		○			
監視カメラ設備					
駐車場管制設備					
防犯・入退室管理設備	予備配管				
自動火災報知設備		○			
自動閉鎖設備					
非常警報設備	非常放送装置				
ガス漏れ警報設備					
中央監視制御設備					
構内配電線路					
構内通信線路					
昇降機設備					

4 図面目録

番号	図面名称	番号	図面名称
1	電気設備工事特記仕様書	21	
2	動力分電盤・照明器具要図	22	
3	幹線設備図	23	
4	動力・コンセント設備図	24	
5	電灯設備図	25	
6	弱電・自動火災報知設備図	26	
7		27	
8		28	
9		29	
10		30	
11		31	
12		32	
13		33	
14		34	
15		35	
16		36	
17		37	
18		38	
19		39	
20		40	

II 工事仕様

1 共通仕様

- 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁審議部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成25年版)」(以下、「標準仕様書」という。),「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成25年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)&及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(平成25年版)」(以下、「標準図」という。)による。
- 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
(参考図書：長野県建築工事の手引き(以下、「手引き」という。)(平成22年版)長野県建設部施設課監修

2 特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書(共通事項)」によるほか次の各項目による。

- 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項目	特記事項																				
① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。																				
② 機材の品質・性能証明	下表に示す材料・機材等(○印のもの)の製造者等は次の1)から6)のすべての事項を満たすものとし、この証明となる資料または外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し監督員の承諾を受ける。 <table><thead><tr><th>材料・機材名</th><th>材料・機材名</th></tr></thead><tbody><tr><td>・LED照明器具</td><td>・電気錠</td></tr><tr><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・</td><td>○ その他、監督員の指示によるもの</td></tr></tbody></table> ○(社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材	材料・機材名	材料・機材名	・LED照明器具	・電気錠	・	・	・	○ その他、監督員の指示によるもの												
材料・機材名	材料・機材名																				
・LED照明器具	・電気錠																				
・	・																				
・	○ その他、監督員の指示によるもの																				
3 化学物質を発生する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。 <ol style="list-style-type: none">合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。保温材、断熱材、断熱材はホルムアルデヒド及びビスチレンを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。なお、ホルムアルデヒドを放射しないものとは放射量が規制対象外のもの、ホルムアルデヒドの放射が極めて少ないものとは放射量が第三種のもの、原則として規制対象外のものを使用するものとする。ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。また、「ホルムアルデヒドの放射量」は、次のとおりとする。<table><thead><tr><th>ホルムアルデヒドの放射量</th><th>該当する建築材料</th></tr></thead><tbody><tr><td>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品</td><td></td></tr><tr><td>②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品</td><td></td></tr><tr><td>③下記表示のあるJAS規格品</td><td></td></tr><tr><td>a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用</td><td></td></tr><tr><td>b 接着剤等不使用</td><td></td></tr><tr><td>c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない材料使用</td><td></td></tr><tr><td>d ホルムアルデヒドを放射させない塗料等使用</td><td></td></tr><tr><td>e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない塗料使用</td><td></td></tr><tr><td>f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない塗料等使用</td><td></td></tr></tbody></table>第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのE○規格品 ④旧JASのF○規格品	ホルムアルデヒドの放射量	該当する建築材料	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品		②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品		③下記表示のあるJAS規格品		a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用		b 接着剤等不使用		c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない材料使用		d ホルムアルデヒドを放射させない塗料等使用		e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない塗料使用		f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない塗料等使用	
ホルムアルデヒドの放射量	該当する建築材料																				
①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品																					
②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品																					
③下記表示のあるJAS規格品																					
a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用																					
b 接着剤等不使用																					
c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない材料使用																					
d ホルムアルデヒドを放射させない塗料等使用																					
e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない塗料使用																					
f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない塗料等使用																					

4 施工条件明示項目	○公共建築工事積算基準の解説(設備工事編)の「執務並行改修」
5 電気保安技術者	工事現場の電気工作物(電路、自動扉、自動シャッター、電動機等も含む)の保安業務を行うものとする。
6 電気工事士	契約電力500kV以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。
7 実施工程表及び施工計画書	(1)実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。 (2)工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を受けること。
⑧ 使用材料発注先調書	使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調書を作成し提出する。
⑨ 発生材の処理	(1)引渡しを要するもの ○無 ・有 () (2)引渡しを要するもの以外 ○構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。 (3)特別管理産業廃棄物 ・無 ・有 (PC使用機器：関連法令により適切に処理し建物管理者に引き渡す。) (4)再利用又は再資源化を図るもの ○無 ・有 (・廃蛍光管 ・コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類)
⑩ 監督員事務所	○設けない ・設ける(規模：)
⑪ 工事用仮設物	すべて請負者の負担とする。 構内に作ることが ・できる ・できない
12 足場・さん橋類	○別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。 ○本工事で設置する。 ○内部仮設足場等(・架台足場 ・移動式足場 ・移動式室内足場 ・外部足場 (・A種 [施工箇所内に特組足場を設ける。] ・B種 [施工箇所内に単管本足場を設ける。] ・C種 [仮設ゴンドラを使用する。])
13 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。

項目	特記事項																																																										
14 工事写真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。																																																										
15 しゅん工時提出物	標準仕様書及び別表による。																																																										
16 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。																																																										
17 耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(監修(独)建築研究所)による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 (1)設計用水平地震力 機器の重量[kgf]に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。 設計用標準水平地震度 <table><thead><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">○特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">上層階、屋上及び塔屋</td><td>機 器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td>水槽類(※1)</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td rowspan="3">中間階</td><td>機 器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水槽類(※1)</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td rowspan="3">地下・1階</td><td>機 器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水槽類(※1)</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></tbody></table> (※1)水槽類にはオイルタンク等を含む。 ◎重要機器の定義は次による。 ・受変電設備 ・発電設備 ・直流電源設備 ・交流無停電電源装置 ・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置 ◎上層階の定義は次による。 2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。 (2)設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)8章2節8.2.4及び11節による。 確認試験は、・性能確認試験(本)・施工後確認試験(本)を確認強度 KNにて行う。 ・施工士の適用(第1種、第2種)あと施工アンカー-施工士による。 ◎(社)日本建築業と施工アンカー協会認定品 電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通箇所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。 (1)EM-EEFは紫外線による劣化を抑制する性能を持たせ、「ナイロ」(付)EM-EEF」と表記されたものを使用する。 (2)EM-UTPはJIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースにJIS規格によるEMケーブルの耐熱性ポリエチレンを用いたもの。 埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合は(25)を1本5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。 長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。 下記の露出配管は塗装を行う。 ○壁外 ○屋内(機械室) ・A種 [山砂の類：水締め、機器による締固め] ○B種 [根切り土の中の良質土：機器による締固め] ・C種 [地現場の建設発生土の中の良質土：機器による締固め] ・D種 [再生コンクリート砂：水締め、機器による締固め] ・管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める ・場外搬出処理 ・構内の指定場所に敷き均し (1) 地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。 ○鉄製 ・コンクリート製 (2) 低圧地中配線にあっても地中線埋設標識シートを敷設する。 (3) 配管埋設幅が750mmを超える場合は、地中線埋設標識シートは2条以上敷設する。 (1) 露出するブルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。 (2) 露出するブルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。 図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製 ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略称をつける。 タンブラスイッチは適用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として適用形とする。ただし、2口の場合は様式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。 本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。 ・測定場所： ・各室(測定箇所数 箇所) ・廊下 ・階段 用 途： ○ 非常用照明 ・ 一般照明 ・ 学校施設における室内照度測定(測定教室： 箇所、測定黑板面： 箇所) ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する (1) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。 長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> ・照明制御システム ○変圧器 ・() <建設機器> ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器 工事区分表(平成 年版)による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。 ・ 保険等の各種措置及び電子納品については、別途「特記仕様書(共通事項)」による。(長野県公共ホームページ(電子入札システム)に掲載される。当該入札公告の添付図書) ・ 施工制約条件	設置場所	機器種別	○特定の施設		一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水槽類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0	中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類(※1)	1.5	1.0	0.6	0.4	地下・1階	機 器	1.0	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
設置場所	機器種別			○特定の施設		一般の施設																																																					
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																						
上層階、屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																						
	水槽類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																						
	水槽類(※1)	1.5	1.0	0.6	0.4																																																						
地下・1階	機 器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																						
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																						
	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
21 予備配管	埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合は(25)を1本5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上げる。																																																										
22 呼び線	長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。																																																										
23 金属製電線管の塗装	下記の露出配管は塗装を行う。 ○壁外 ○屋内(機械室)																																																										
24 埋め戻し土	・A種 [山砂の類：水締め、機器による締固め] ○B種 [根切り土の中の良質土：機器による締固め] ・C種 [地現場の建設発生土の中の良質土：機器による締固め] ・D種 [再生コンクリート砂：水締め、機器による締固め] ・管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める ・場外搬出処理 ・構内の指定場所に敷き均し																																																										
25 建設発生土の処理	(1) 地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。 ○鉄製 ・コンクリート製 (2) 低圧地中配線にあっても地中線埋設標識シートを敷設する。 (3) 配管埋設幅が750mmを超える場合は、地中線埋設標識シートは2条以上敷設する。																																																										
26 ケーブル埋設票	(1) 露出するブルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。 (2) 露出するブルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。																																																										
27 ブルボックス	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製 ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略称をつける。 タンブラスイッチは適用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として適用形とする。ただし、2口の場合は様式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。 本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。 ・測定場所： ・各室(測定箇所数 箇所) ・廊下 ・階段 用 途： ○ 非常用照明 ・ 一般照明 ・ 学校施設における室内照度測定(測定教室： 箇所、測定黑板面： 箇所) ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する (1) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。 長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> ・照明制御システム ○変圧器 ・() <建設機器> ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器 工事区分表(平成 年版)による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。 ・ 保険等の各種措置及び電子納品については、別途「特記仕様書(共通事項)」による。(長野県公共ホームページ(電子入札システム)に掲載される。当該入札公告の添付図書) ・ 施工制約条件																																																										
28 フラッシュプレート	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製 ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略称をつける。 タンブラスイッチは適用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として適用形とする。ただし、2口の場合は様式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。 本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。 ・測定場所： ・各室(測定箇所数 箇所) ・廊下 ・階段 用 途： ○ 非常用照明 ・ 一般照明 ・ 学校施設における室内照度測定(測定教室： 箇所、測定黑板面： 箇所) ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する (1) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。 長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> ・照明制御システム ○変圧器 ・() <建設機器> ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器 工事区分表(平成 年版)による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。 ・ 保険等の各種措置及び電子納品については、別途「特記仕様書(共通事項)」による。(長野県公共ホームページ(電子入札システム)に掲載される。当該入札公告の添付図書) ・ 施工制約条件																																																										
29 プレートの用途表示	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製 ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略称をつける。 タンブラスイッチは適用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として適用形とする。ただし、2口の場合は様式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。 本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。 ・測定場所： ・各室(測定箇所数 箇所) ・廊下 ・階段 用 途： ○ 非常用照明 ・ 一般照明 ・ 学校施設における室内照度測定(測定教室： 箇所、測定黑板面： 箇所) ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する (1) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。 長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> ・照明制御システム ○変圧器 ・() <建設機器> ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器 工事区分表(平成 年版)による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。 ・ 保険等の各種措置及び電子納品については、別途「特記仕様書(共通事項)」による。(長野県公共ホームページ(電子入札システム)に掲載される。当該入札公告の添付図書) ・ 施工制約条件																																																										
30 配線器具	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製 ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略称をつける。 タンブラスイッチは適用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として適用形とする。ただし、2口の場合は様式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。 本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。 ・測定場所： ・各室(測定箇所数 箇所) ・廊下 ・階段 用 途： ○ 非常用照明 ・ 一般照明 ・ 学校施設における室内照度測定(測定教室： 箇所、測定黑板面： 箇所) ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する (1) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。 長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> ・照明制御システム ○変圧器 ・() <建設機器> ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器 工事区分表(平成 年版)による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。 ・ 保険等の各種措置及び電子納品については、別途「特記仕様書(共通事項)」による。(長野県公共ホームページ(電子入札システム)に掲載される。当該入札公告の添付図書) ・ 施工制約条件																																																										
31 機器への接続	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製 ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略称をつける。 タンブラスイッチは適用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として適用形とする。ただし、2口の場合は様式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。 本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。 ・測定場所： ・各室(測定箇所数 箇所) ・廊下 ・階段 用 途： ○ 非常用照明 ・ 一般照明 ・ 学校施設における室内照度測定(測定教室： 箇所、測定黑板面： 箇所) ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する (1) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。 長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> ・照明制御システム ○変圧器 ・() <建設機器> ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器 工事区分表(平成 年版)による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。 ・ 保険等の各種措置及び電子納品については、別途「特記仕様書(共通事項)」による。(長野県公共ホームページ(電子入札システム)に掲載される。当該入札公告の添付図書) ・ 施工制約条件																																																										
32 照度測定	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製 ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略称をつける。 タンブラスイッチは適用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として適用形とする。ただし、2口の場合は様式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。 本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。 ・測定場所： ・各室(測定箇所数 箇所) ・廊下 ・階段 用 途： ○ 非常用照明 ・ 一般照明 ・ 学校施設における室内照度測定(測定教室： 箇所、測定黑板面： 箇所) ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する (1) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。 長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> ・照明制御システム ○変圧器 ・() <建設機器> ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器 工事区分表(平成 年版)による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。 ・ 保険等の各種措置及び電子納品については、別途「特記仕様書(共通事項)」による。(長野県公共ホームページ(電子入札システム)に掲載される。当該入札公告の添付図書) ・ 施工制約条件																																																										
33 盤類	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製 ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略称をつける。 タンブラスイッチは適用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として適用形とする。ただし、2口の場合は様式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。 本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。 ・測定場所： ・各室(測定箇所数 箇所) ・廊下 ・階段 用 途： ○ 非常用照明 ・ 一般照明 ・ 学校施設における室内照度測定(測定教室： 箇所、測定黑板面： 箇所) ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する (1) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。 長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> ・照明制御システム ○変圧器 ・() <建設機器> ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器 工事区分表(平成 年版)による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。 ・ 保険等の各種措置及び電子納品については、別途「特記仕様書(共通事項)」による。(長野県公共ホームページ(電子入札システム)に掲載される。当該入札公告の添付図書) ・ 施工制約条件																																																										
34 グリーン購入の推進	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製 ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略称をつける。 タンブラスイッチは適用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として適用形とする。ただし、2口の場合は様式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。 本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。 ・測定場所： ・各室(測定箇所数 箇所) ・廊下 ・階段 用 途： ○ 非常用照明 ・ 一般照明 ・ 学校施設における室内照度測定(測定教室： 箇所、測定黑板面： 箇所) ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する (1) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。 長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> ・照明制御システム ○変圧器 ・() <建設機器> ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器 工事区分表(平成 年版)による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。 ・ 保険等の各種措置及び電子納品については、別途「特記仕様書(共通事項)」による。(長野県公共ホームページ(電子入札システム)に掲載される。当該入札公告の添付図書) ・ 施工制約条件																																																										
35 他工事又は他工種との取扱い	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製 ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略称をつける。 タンブラスイッチは適用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として適用形とする。ただし、2口の場合は様式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。 本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。 ・測定場所： ・各室(測定箇所数 箇所) ・廊下 ・階段 用 途： ○ 非常用照明 ・ 一般照明 ・ 学校施設における室内照度測定(測定教室： 箇所、測定黑板面： 箇所) ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する (1) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。 長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> ・照明制御システム ○変圧器 ・() <建設機器> ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器 工事区分表(平成 年版)による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。 ・ 保険等の各種措置及び電子納品については、別途「特記仕様書(共通事項)」による。(長野県公共ホームページ(電子入札システム)に掲載される。当該入札公告の添付図書) ・ 施工制約条件																																																										
36 その他及び電子納品	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製 ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略称をつける。 タンブラスイッチは適用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として適用形とする。ただし、2口の場合は様式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。 本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。 ・測定場所： ・各室(測定箇所数 箇所) ・廊下 ・階段 用 途： ○ 非常用照明 ・ 一般照明 ・ 学校施設における室内照度測定(測定教室： 箇所、測定黑板面： 箇所) ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する (1) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。 長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> ・照明制御システム ○変圧器 ・() <建設機器> ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器 工事区分表(平成 年版)による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。 ・ 保険等の各種措置及び電子納品については、別途「特記仕様書(共通事項)」による。(長野県公共ホームページ(電子入札システム)に掲載される。当該入札公告の添付図書) ・ 施工制約条件																																																										
37 その他	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製 ブルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示した略称をつける。 タンブラスイッチは適用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として適用形とする。ただし、2口の場合は様式を使用して良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。 本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。 ・測定場所： ・各室(測定箇所数 箇所) ・廊下 ・階段 用 途： ○ 非常用照明 ・ 一般照明 ・ 学校施設における室内照度測定(測定教室： 箇所、測定黑板面： 箇所) ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する (1) 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。 長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> ・照明制御システム ○変圧器 ・() <建設機器> ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器 工事区分表(平成 年版)による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。 ・ 保険等の各種措置及び電子納品については、別途「特記仕様書(共通事項)」による。(長野県公共ホームページ(電子入札システム)に掲載される。当該入札公告の添付図書) ・ 施工制約条件																																																										

(別表) しゅん工時提出物 (・に○印のついたものを提出する。)

區別提出物	一括提出物
1 完成図 ・ 原図(A1版 ケース入り) ○ 隔面(A1版 2つ折り製本 1部) ○ CADデータ(jww及びpdf形式)	5 機器完成図 6 工事写真 7 完成写真 8 工事記録 (打合せ簿、工事日誌、協議書) 9 機材の試験成績書 10 施工の試験成績書 11 社内試験成績書 12 発生材処理報告書 (廃棄物処理実施書、運搬及び処理の委託契約書の写し、マニフェストの写し、フロ-図)
2 設計図 ○ CADデータ	13 納入品一覧表 14 官公署手続、検査書(管理者用正本、写し) 15 保全に関する資料(取扱い説明書も含む)
3 引渡書	
4 納入品 ○ 予備品 ○ 盤類の鍵 ・ ハンドホールフック、ジャッキ	

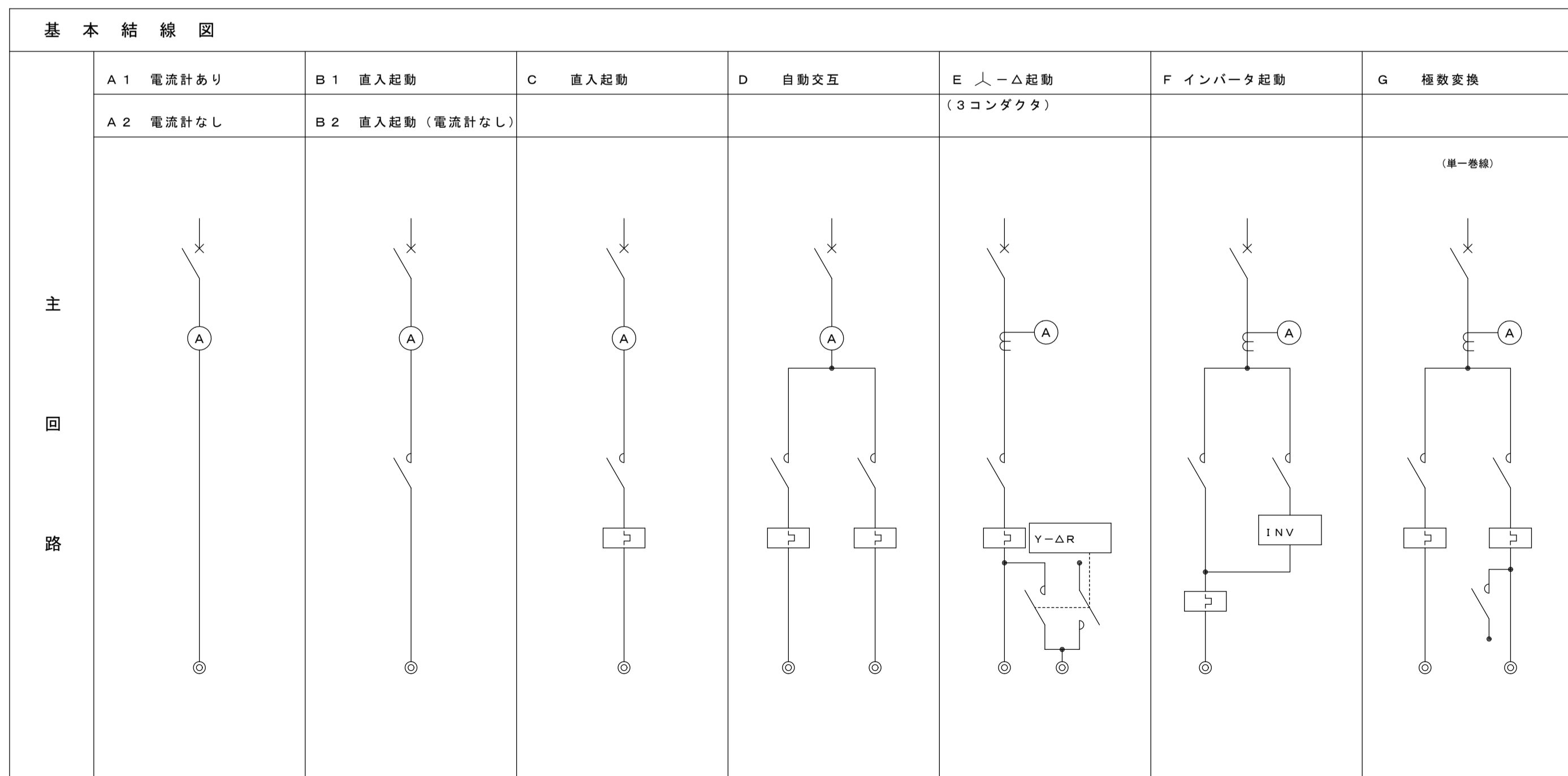
3 ハンドホール

下表による。(梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。)
ブロックハンドホール(寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。)
・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。
・ブロックの仕様は国土交通省仕様にするものとする。
・ハンドホールにメックアウト部分をつけてはならない。
・配管貫通部は、原則として根巻きワリ- (F=18N/mm以上)とし、差し筋D10タテコ#200で補強する。
・補強方法については、あらかじめ監督員にnd-nd-nd製作図を提出して承諾を受けて施工する。

	ハンドホール No.-	1、500×1、500×1、500D	底 部	GL-1、740以上
		蓋 WPM-60A	(Eマーク入)	(アルミ梯子付)
	ハンドホール No.-	1、200×1、200×1、500D	底 部	GL-1、700以上
		蓋 WPM-60A	(Eマーク入)	(アルミ梯子付)
	ハンドホール No.-	1、000×1、000×1、400D	底 部	GL-1、600以上
		蓋 WPM-60A	(Eマーク入)	(アルミ梯子付)
	ハンドホール No.-	1、000×1、000×1、100D	底 部	GL-1、300以上
		蓋 WPM-60A	(Eマーク入)	(アルミ梯子付)
	ハンドホール No.-	1、000×1、000×900D	底 部	GL-1、060以上

動力制御盤リスト																		
盤名称	幹線番号 結線	負荷				分岐開閉器容量				基本結線図記号		本制御盤		警報盤				
		機器番号	機器名称	設置階	容量(KW)	制御盤二次側配線 最大需要電力kVA(需要率%)	種類	P	A	F	A	T	主回路	操作回路	操 作	表 示	操 作	表 示
RP-4 屋内型 露出埋込兼用	CET38, E5.5 MCCB 3P 225AF/125AT	1	AC		1	8.13	CE8-4C	(E31)	ELCB	3	100	75	A2					
		2	AC	スハ-ス		1	8.13	CE8-4C	(E31)	ELCB	3	100	75	A2				
		TOTAL 16.26KW																

照明器具姿図	
A	B
iDシリーズ 直付形40形Dスタイル 6900lm	LEDケオ-ルライト20形
<p>一般タイプ、6900lmタイプ 定格出力型、電圧100~242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命：40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p>	<p>防湿型・防雨型 器具光束1020lm、消費電力10.2W、電圧100~242V 5000K、Ra83、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 天井直付型・壁直付型</p>
A' FHF 32Wx2 【既設移設】	



シンボル表・凡例			
記号	仕様	記号	仕様
	電灯分電盤		埋込コンセント 2P15A x 2
	動力分電盤		埋込コンセント 2PE15/20A x 1
	ブルボックス		天井埋込スピーカ
	アウトレットボックス・ジョイントボックス		天井埋込スピーカ ATT付
	空調機器（接続のみ）		アッテネータ
	照明器具 蛍光灯		埋込テレビコンセント
	照明器具 壁付蛍光灯		ジョイントボックス（カバープレート）
	照明器具 ダウンライト		総合盤（埋込）
	照明器具 誘導灯		差動式スポット感知器 2種
	リモコンスイッチ nL		定温式スポット感知器 特種
	埋込スイッチ 1P		煙スポット感知器 2種
	埋込スイッチ 3W		換気扇（接続のみ）
	埋込スイッチ PL1P		
	防水埋込スイッチ 1P		

凡例

特記なき配線は下記の通りとする

【動力】

--- CE8-3C, E3.5

【電灯】

--- EEF 1.6-3C
 --- EEF 2.0-3C
 --- EEF 1.6-2Cx2
 --- EEF 1.6-2C+3C
 --- EEF 1.6-3Cx2
 --- EEF 1.6-2Cx2+3C

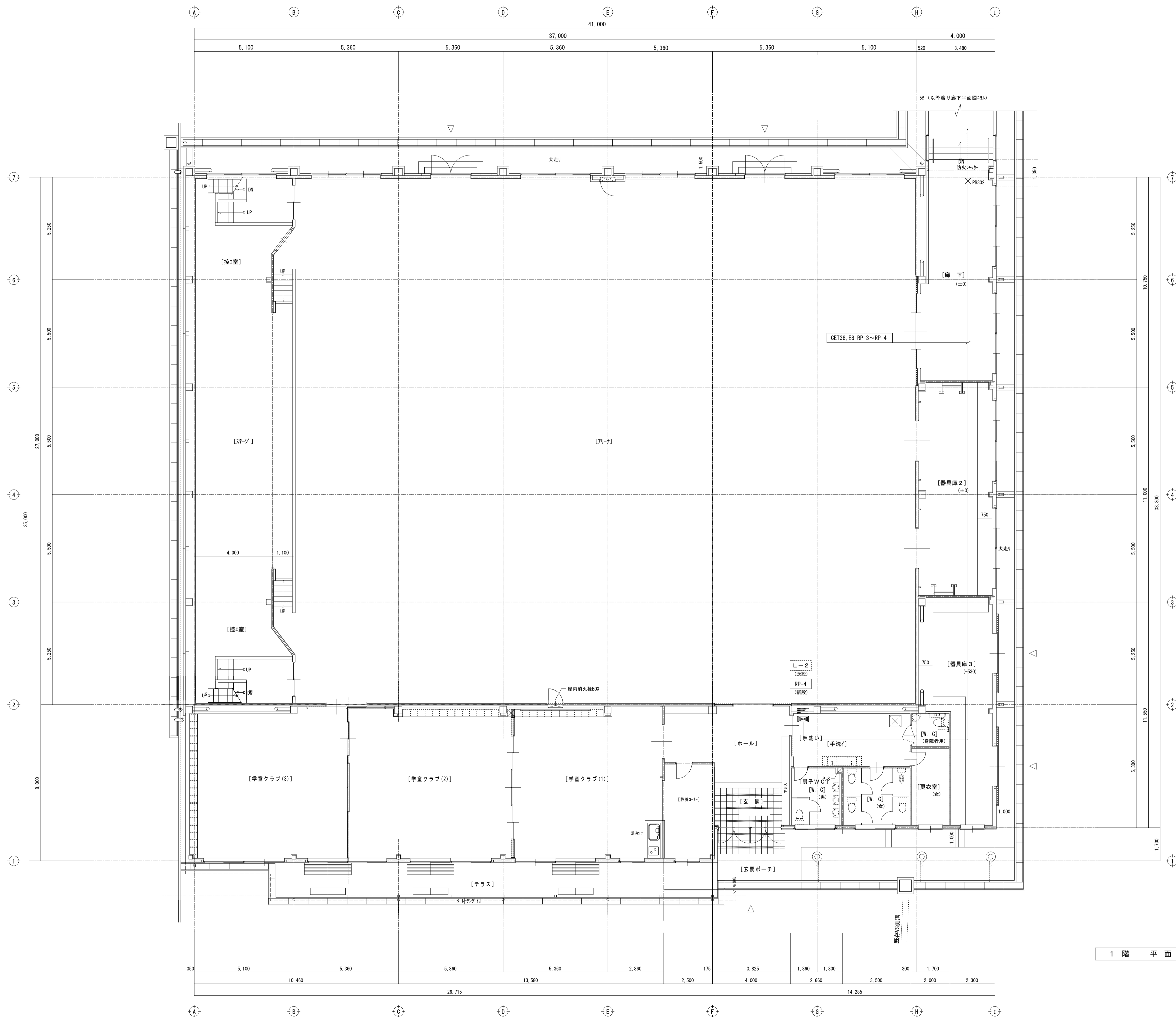
【弱電】

--- EM-S-5C-FB
 --- EM-HP 1.2-3C

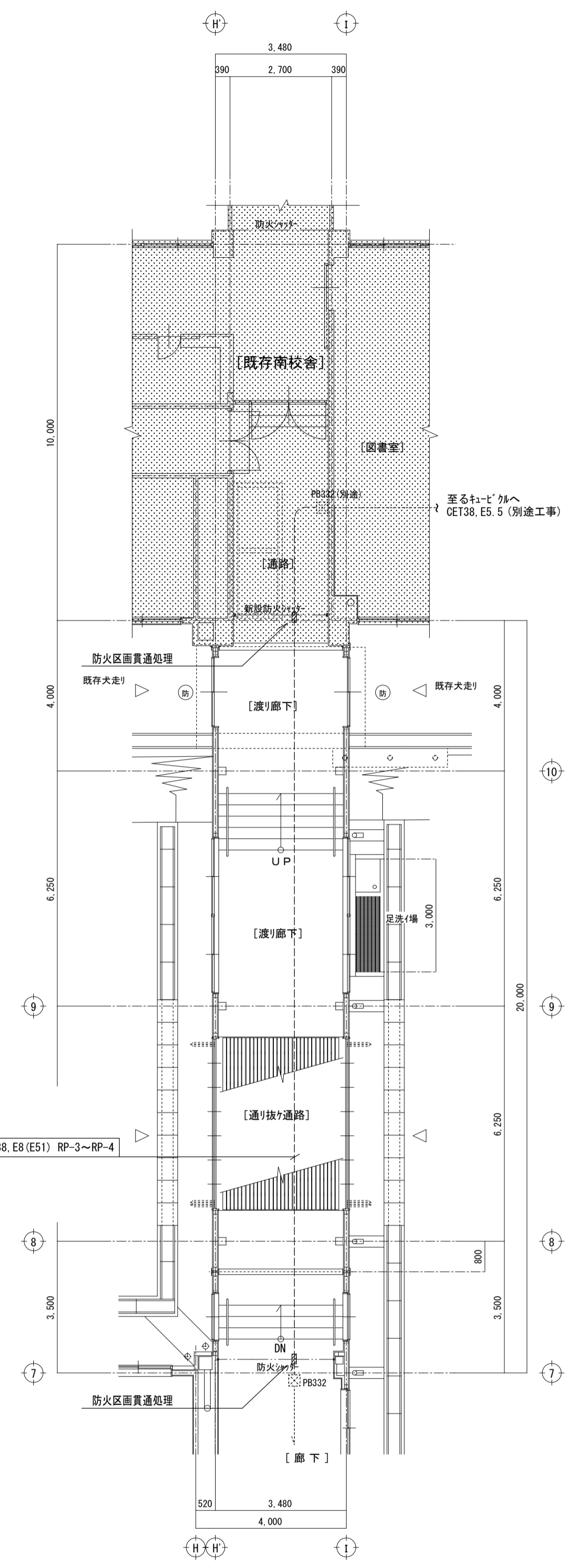
【火報】

--- EM-AE 0.9-2C

・防火区画貫通箇所は、法に適した処理を施すこと。
 ・立下げ部で保護の必要な箇所は、配管にて保護すること。
 ・撤：撤去 再：撤去・再取付 移：移設 新：新設
 表記とする。
 ・実線：工事範囲 点線：既設 x：撤去

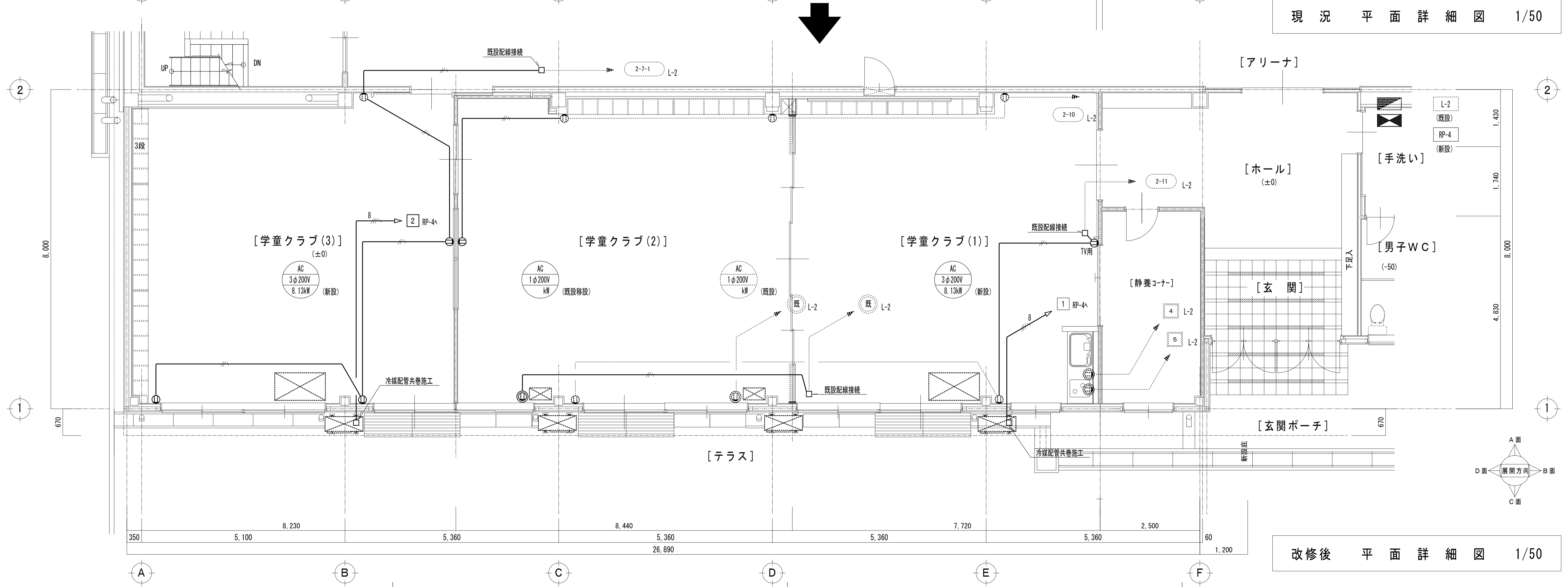
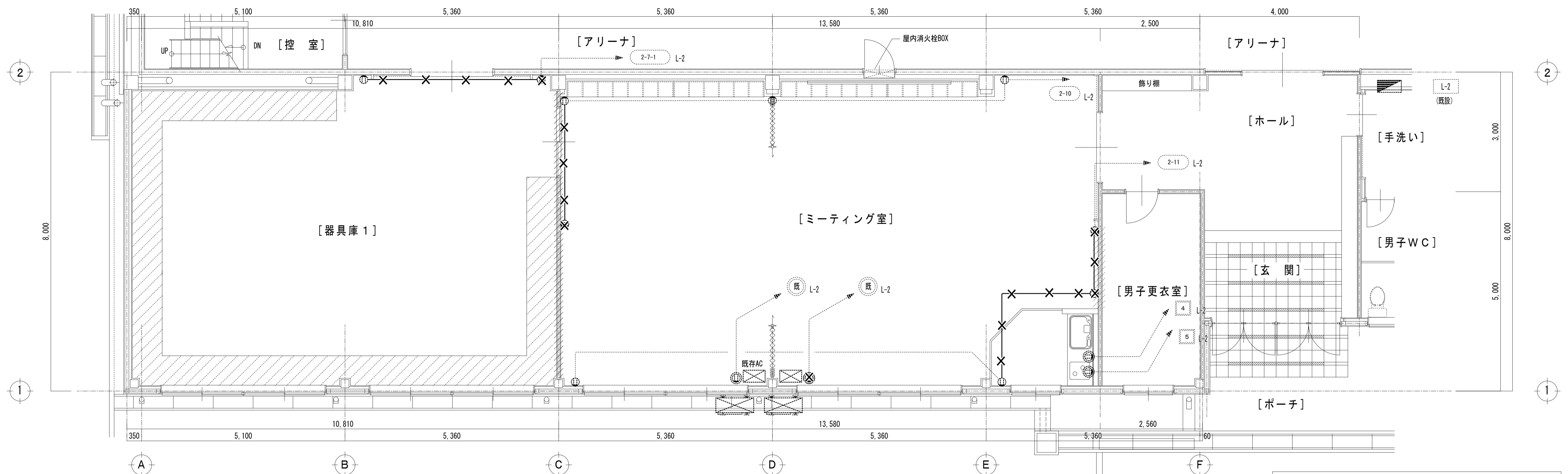


1階 平面図 S=1:100

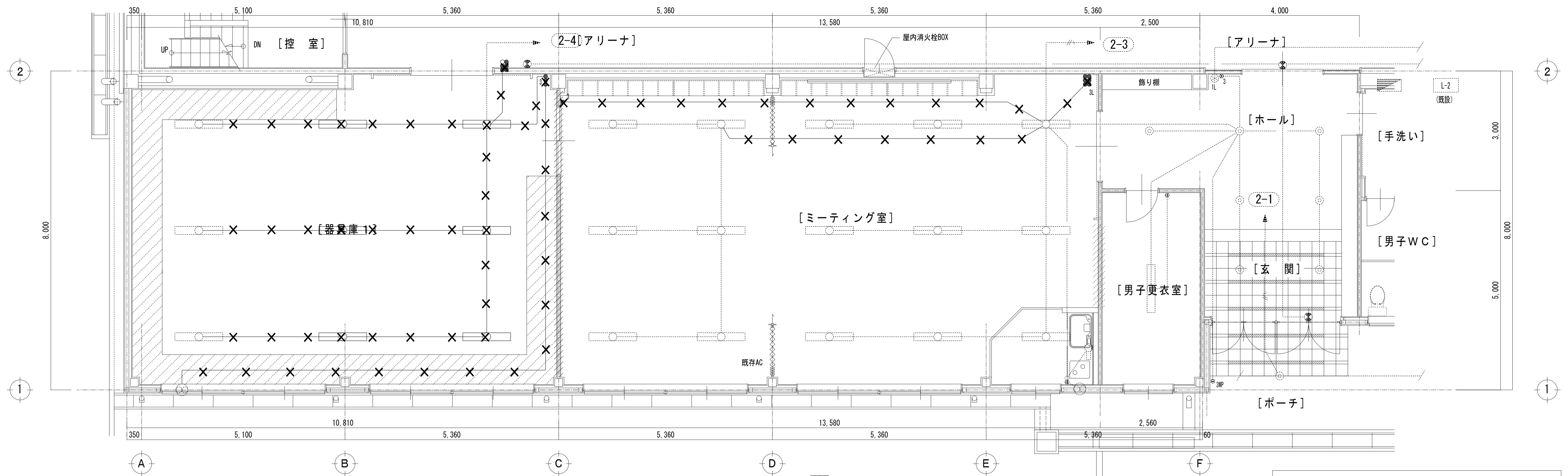


渡り廊下 平面図 S=1:100

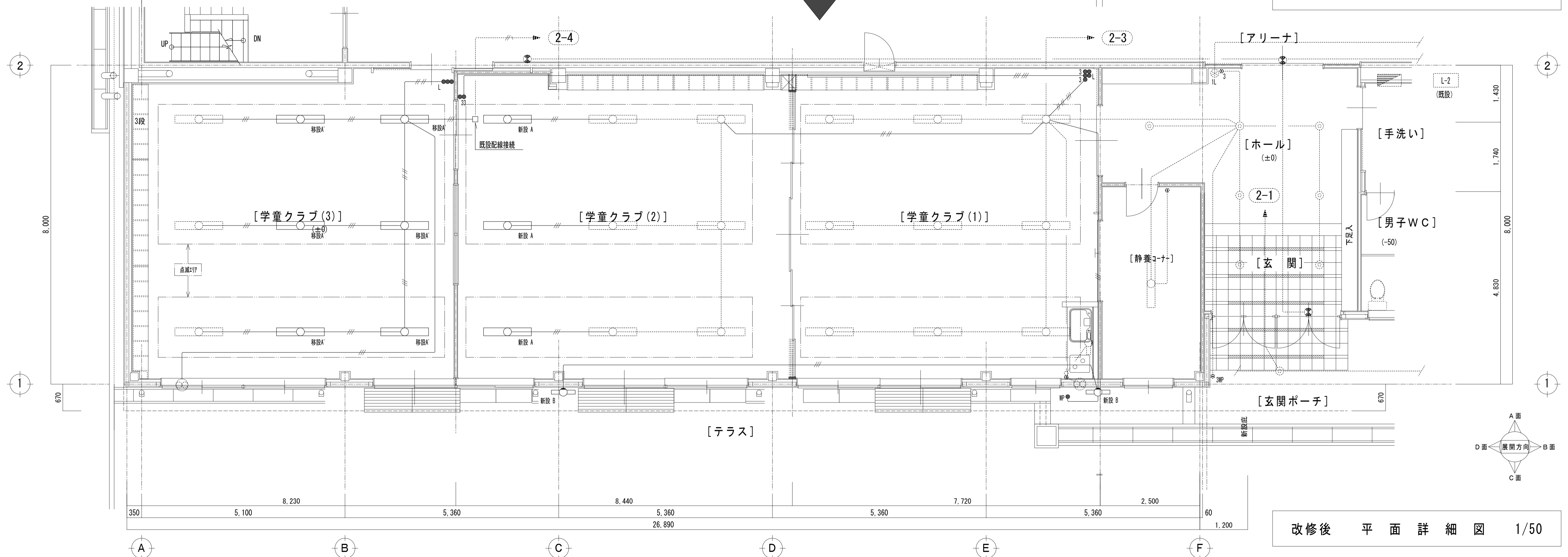
MEMORANDUM	TITLE 令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事	ITEM 幹線設備図	SCALE 1/100 A3縮小時は50%	DATE H32.2	箕輪町	SHEET NO. E-03
------------	------------------------------	---------------	-----------------------------	---------------	-----	-------------------



MEMORANDUM	TITLE 令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事	ITEM 動力・コンセント設備図	SCALE 1/50 A3縮小時は50%	DATE H32・2	箕輪町	SHEET NO. E-04
------------	------------------------------	---------------------	----------------------------	---------------	-----	-------------------

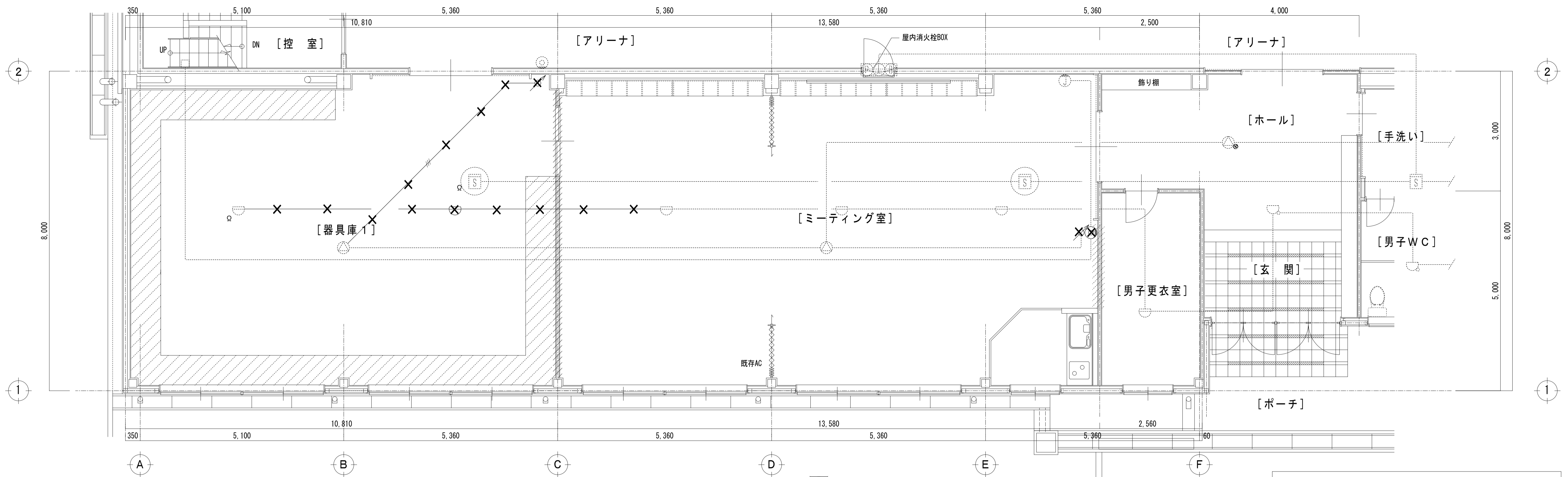


現況平面詳細図 1/50

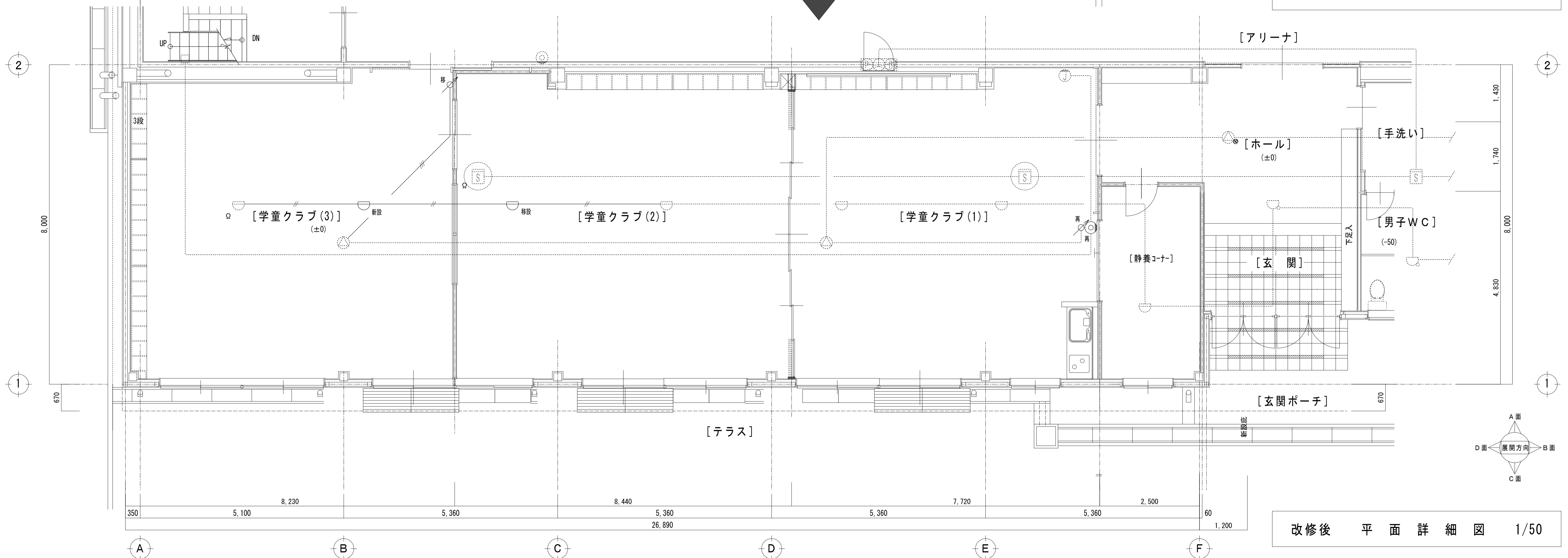


改修後平面詳細図 1/50

MEMORANDUM	TITLE 令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事	ITEM 電灯設備図	SCALE 1/50 A3縮小時は50%	DATE H32・2	箕輪町	SHEET NO. E-05
------------	------------------------------	---------------	----------------------------	---------------	-----	-------------------

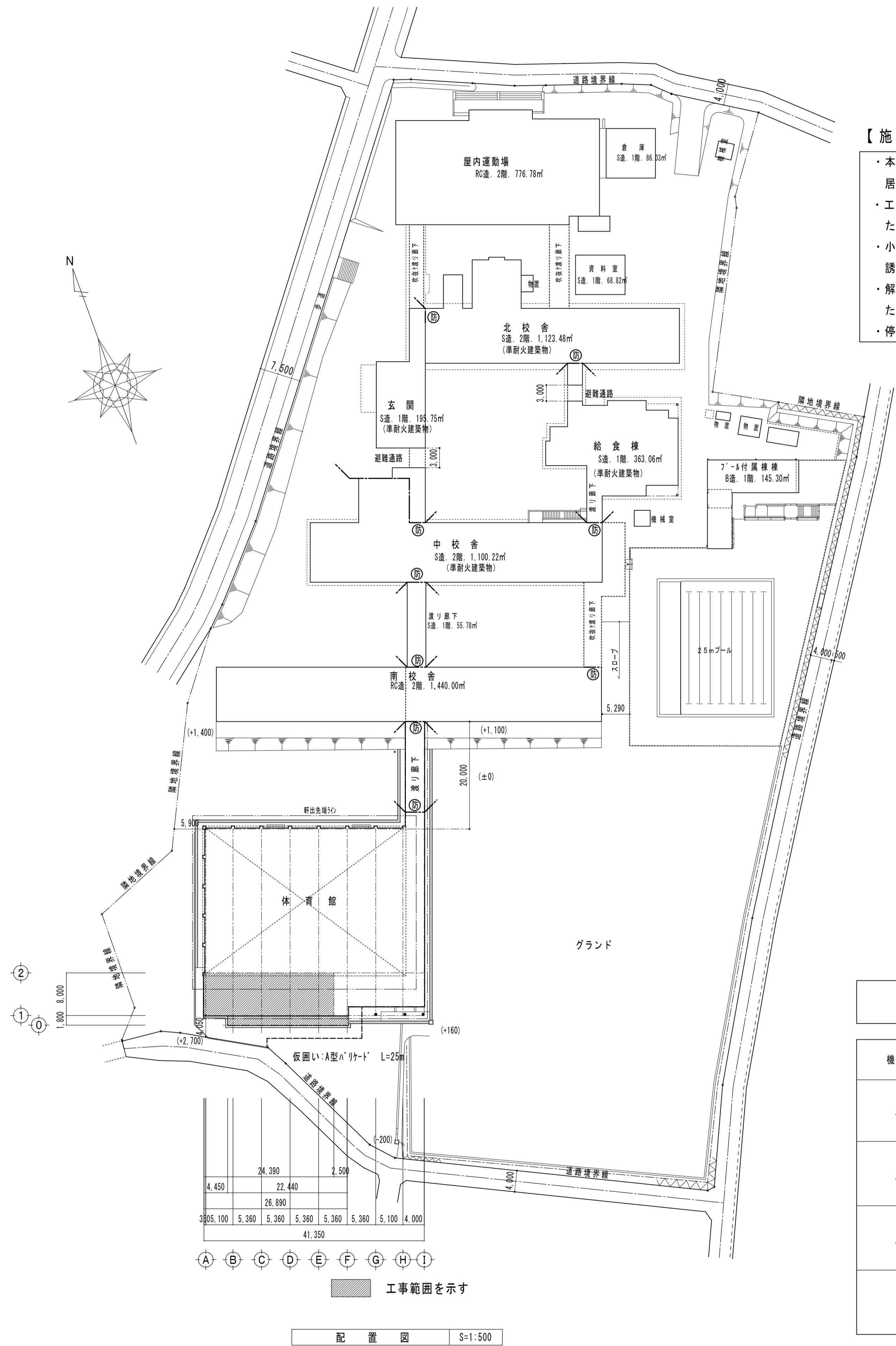


現況平面詳細図 1/50



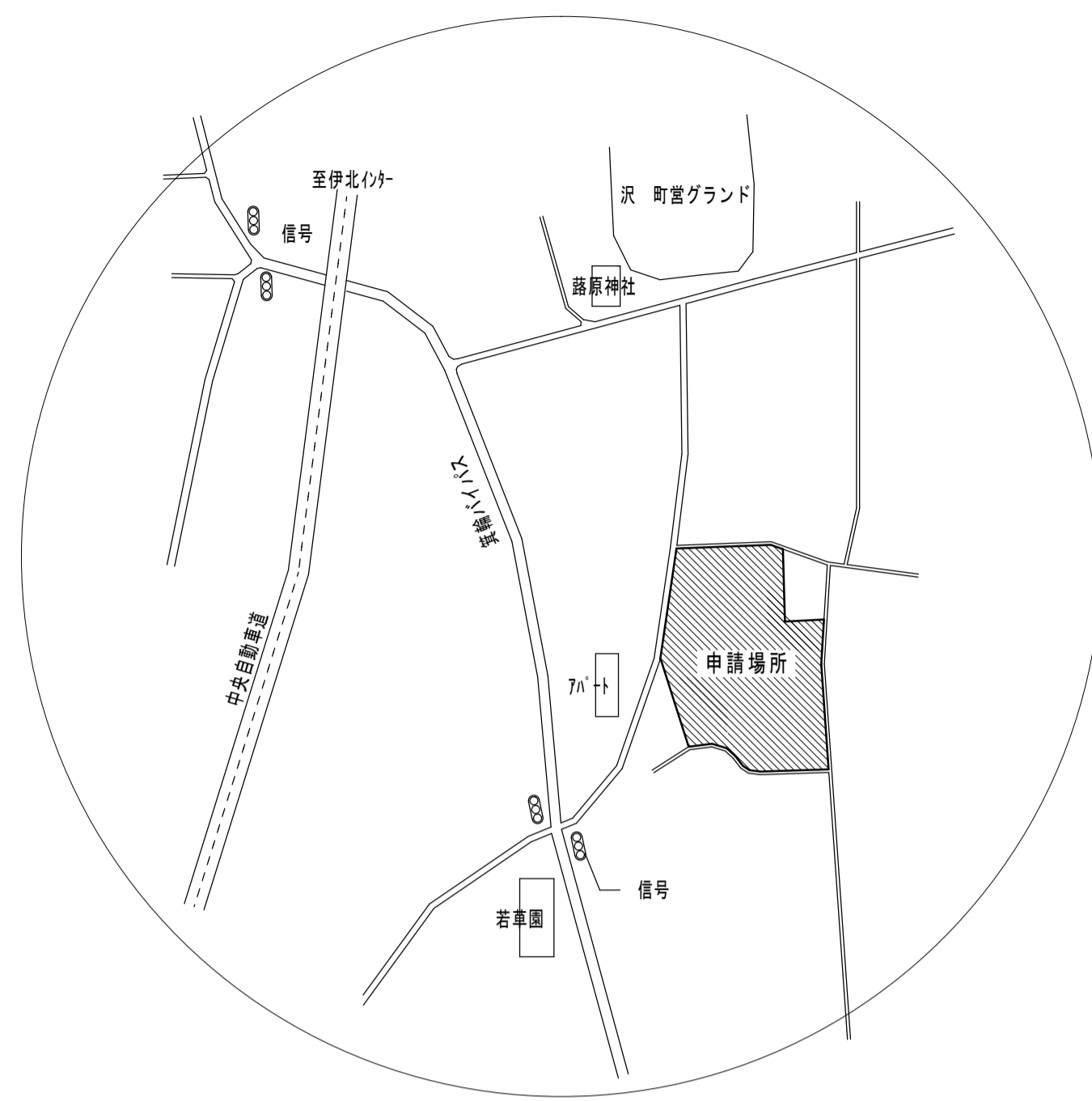
改修後平面詳細図 1/50

MEMORANDUM	TITLE 令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事	ITEM 弱电・自動火災報知設備図	SCALE 1/50 A3縮小時は50%	DATE H32・2	箕輪町	SHEET NO. E-06



【施工条件】

- ・本工事は小学校の屋内運動場の一部を改修する工事であり通常の学習活動を行っている中での居ながら工事である為、児童の安全確保・授業中の騒音等に特に留意する。
- ・工事期間中は学童クラブの活動は別室にて予定しているため、仮間仕切等の仮設は不要とする。ただし工事範囲以外の部分との取合部の工事は土日祝日等の休校日または放課後の施工とする。
- ・小学校の登下校時と工事車両の搬出入が重複しないよう時間帯の分離を図ると共に必要により誘導員等を配置し安全確保に努める。
- ・解体撤去工事等の騒音を伴う工事については、土日祝日等の休校日の作業を基本とする。ただしやむをえない場合は学校側を含め監督員・監理者と協議を行い決定する。
- ・停電及び断水を伴う工事については、事前に学校側と協議を行い日程を確認すること。



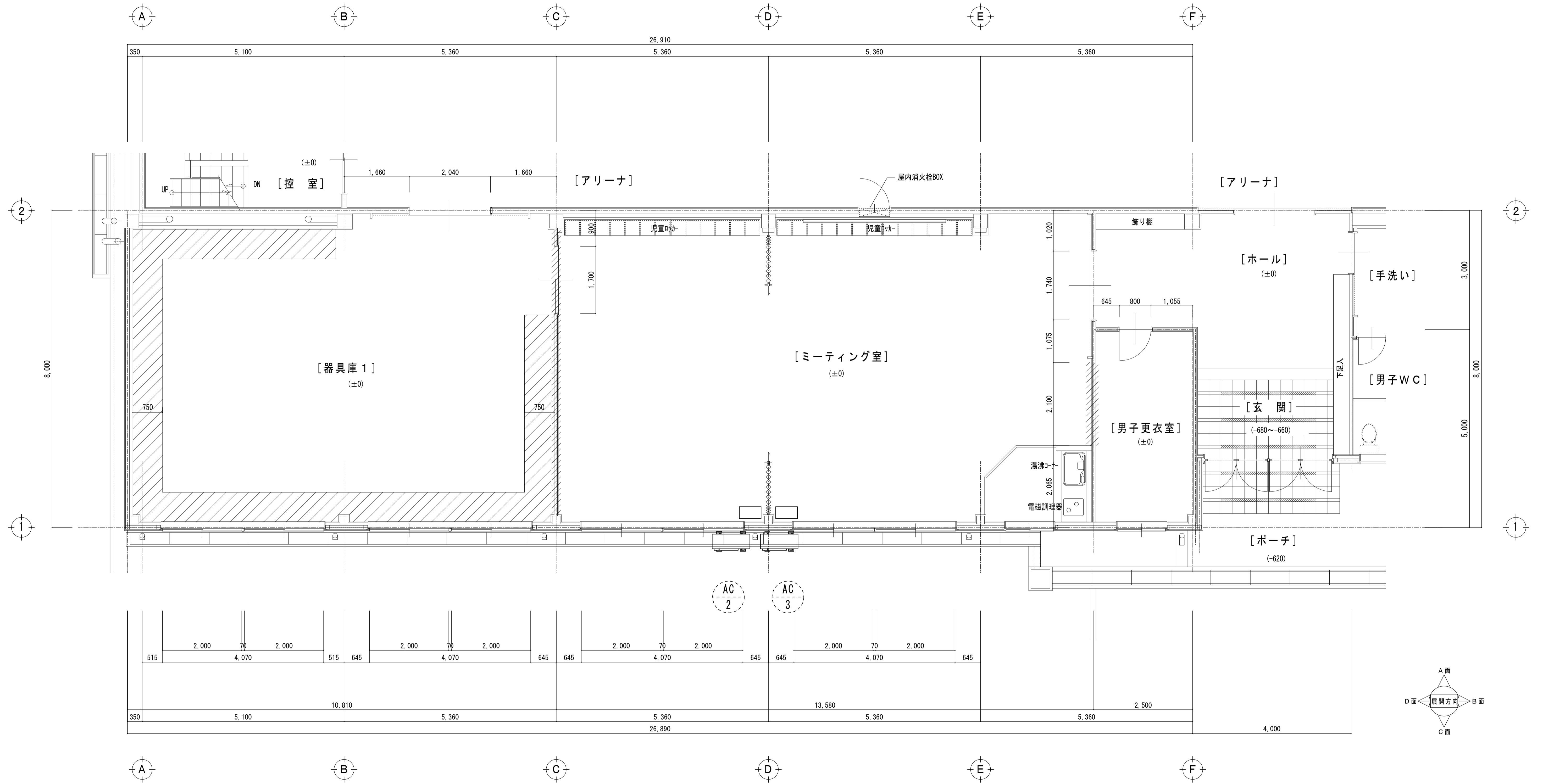
付近見取図

凡例

記号	名称	仕様	規格
— R —	冷媒管	屋内一般 冷媒用銅管(断熱材被覆銅管)	製造者標準品
— D —	ドレン管	屋内一般 硬質塩化ビニル管	JIS K 6741 (VP)
— — —	給水管	屋外埋設 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管	JWWA K 129 (H1VP)
		屋内埋設 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 116 (SGP-VD) 管端防食継手
— — —	屋外排水管	地中配管 硬質塩化ビニル管	JIS K 6741 (VU)

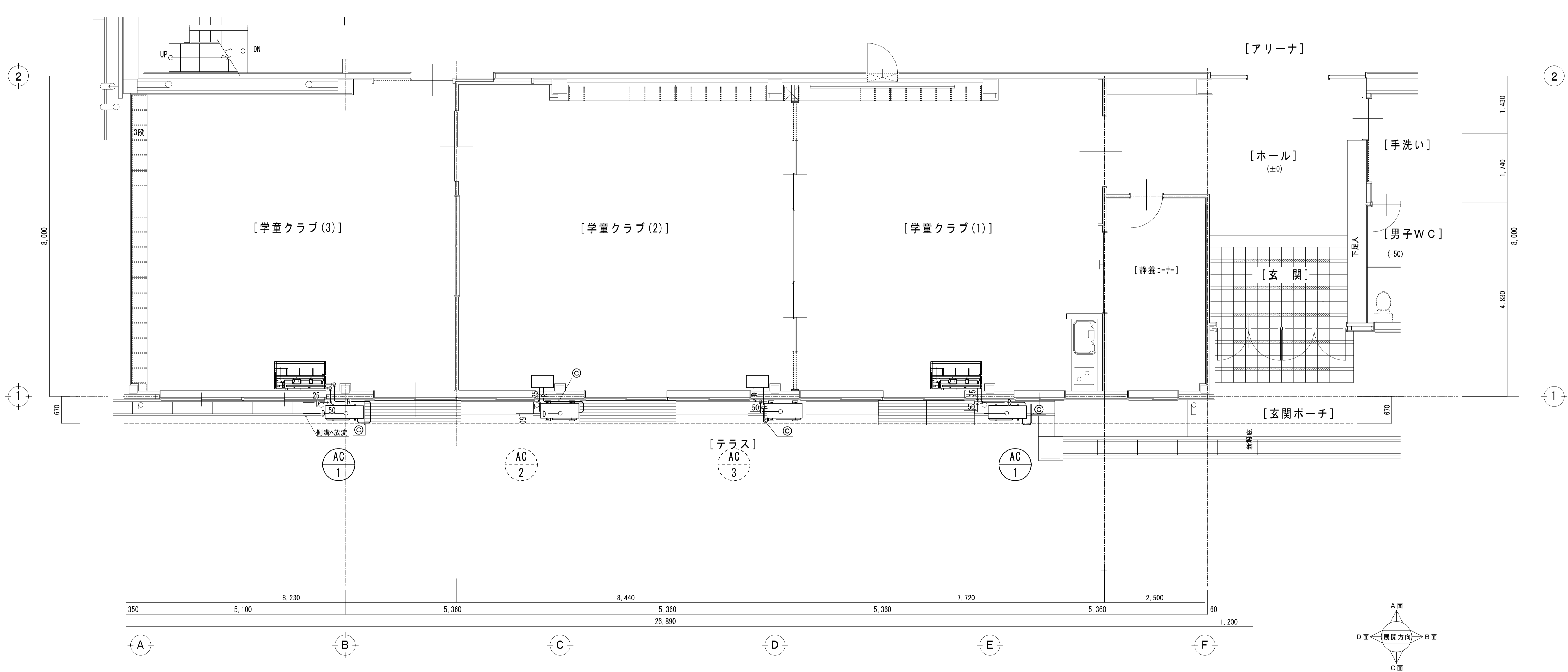
機器表

機器記号	名称	機器仕様	電気特性 60HZ				設置場所 室名	数量	参考型番	備考
			相φ	電圧V	電力	適用				
A C-1	空冷式ヒートポンプ パッケージエアコン 天吊型 (寒冷地仕様) 付属品: 7ヶ所リモコン	冷房能力: 標準 14.0kW	3	200	8.35kW	圧縮機 FAN(外) FAN(内)	学童クラブ1 学童クラブ3	2	PCZ-HRMP160KLR	
		暖房能力: 標準 16.0kW 冷媒: R32Φ9.6/Φ15.9								
A C-2	空冷式ヒートポンプ パッケージエアコン 床置き型 既存品移設 付属品: 本体リモコン	冷房能力: 標準 7.0kW	1	200	3.21kW	圧縮機 FAN(外) FAN(内)	学童クラブ2	1	既存品移設	
		暖房能力: 標準 8.0kW 冷媒: R32Φ9.6/Φ15.9								
A C-3	空冷式ヒートポンプ パッケージエアコン 床置き型 既存品 付属品: 本体リモコン	冷房能力: 標準 7.0kW	1	200	3.21kW	圧縮機 FAN(外) FAN(内)	学童クラブ2	1	既存取外し再取付	
		暖房能力: 標準 8.0kW 冷媒: R32Φ9.6/Φ15.9								



現況 機械設備平面図 1/50

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	SHEET NO.
	令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事	現況 機械設備平面図	1/50 A3縮小時は50%	H32.2	M-03
箕輪町					



改修後 機械設備平面図 1/50

冷媒配管サイズ		
液管	ガス管	記号
6.35	9.52	(A)
6.35	12.7	(B)
9.52	15.88	(C)
9.52	25.4	(D)
12.7	25.4	(E)
15.88	28.58	(F)
15.88	31.75	(G)